テレモア IP 取扱説明書
（WX-824ME-IP）

このたびは、TELEMORE-IPをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、お読みになったあとも本商品のそばなど、いつもお手もとに置いてお使いください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、お買い求めの販売店でお買い求めください。

本書中のマーク説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

注意
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本商品のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機がご不要となった場合は、NTT(局番なしの116番)にご連絡いただければ、「機器使用料金」は、不要となります。

- この電話機システムは日本国内用に設計されておりますので、海外ではご利用できません。
  This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、録音、通話料金管理、FAX通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店等へお申しつけください。

⚠警告

●万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

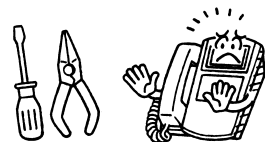
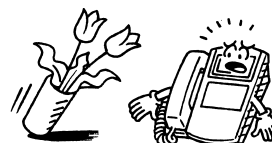
●万一、主装置を倒したり、主装置キャビネットを破損した場合、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●主装置から異常音がしたり、主装置キャビネットが熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。

●主装置や電話機などをぬれた手でさわったり、水をかけないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

●主装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

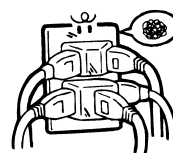
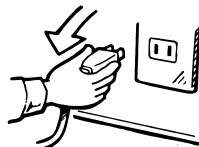
●万一、主装置内部に水などの液体が入った場合は、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●主装置や電話機などを分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・清掃・修理はお買い求めの販売店にご依頼ください（分解、改造された主装置や電話機などは修理に応じられない場合があります）。

●主装置や電話機などのそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

●ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●主装置からの電源コードおよび電話機までの配線を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードおよび電話機までの配線が破損し、火災・感電の原因となります。電源コードおよび電話機までの配線が傷んだら、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告

●お客さまによる主装置の工事・修理などは危険ですから絶対におやめください。主装置の工事・修理などを行うときは、お買い求めの販売店にご依頼ください。

●主装置の電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。

⚠注意

●主装置は直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

●主装置や電話機などを調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●主装置などはぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、主装置などの上に重いものを乗せないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

●電話機を壁掛用に取り付ける場合は、電話機の重みにより落下しないよう堅固に取り付け、設置してください。落下してけがの原因となることがあります。

●電話機底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

●電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●近くに雷が発生したときは、すぐに主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

●主装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。主装置キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●主装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと主装置の内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。

- 主装置を仰向けや横倒し、逆さまにする。
- 主装置を収納棚や本箱などの風通しの悪い狭いところに押し込む。
- 主装置をじゅうたんや布団の上に置く。
- 主装置にテーブルクロスなどをかける。

⚠注意

●長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず主装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●万一、電話機内部に水などの液体が入った場合は、すぐに電話機を電話機コードから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●電話機パネルの取り外しには先のとがったものを利用してください。指や爪で行うとけがをするおそれがあります。

お願い

●主装置や電話機などをぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。主装置や電話機などの変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

●電話機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

●電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

●停電中に主装置の電源スイッチを切らないでください。停電復旧時に使用できなくなります。

●停電のときは、停電用電話機を使用してください。
- 他の内線電話機は使えません。
- ドアホンは使えません。

●故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。
- 製氷倉庫などの特に温度が下がる場所。
- 塵・ほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所。

●電気製品・AV機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、主装置や電話機などの設置場所を移動してみてください。

●硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、主装置や電話機などの寿命が短くなることがあります。

●電話機は平らな面に置いてお使いください。

もくじ（項目から探す場合は「さくいん」（➡200ページ）をご覧ください。）
（➡200ページ）

●はじめに

●お使いになる前に

●基本操作編

●応用操作編

●登録・設定編

※ 共通短縮ダイヤルの登録についてはシステム電話機からの操作をお読みください。

●システム電話機からの操作編

● 回線サービス編

● 単独電話機について

● 通話録音ユニット編

● オプション編

● 参　考

この取扱説明書は、11の章に分かれています。

はじめに

お使いになる前に必ずお読みください。

お使いになる前に

電話機を実際にお使いになる前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

基本操作編

電話をかけたり、受けたり、保留するなどの基本的な操作について説明しています。

応用操作編

より便利にお使いになれる操作について説明しています。

登録・設定編

電話帳に登録する操作や、その他の設定する操作について説明しています。

システム電話機からの操作編

特定の内線番号の電話機から設定する操作について説明しています。
システム電話機については10ページをお読みください。

回線サービス編

回線サービスをお使いの場合の操作について説明しています。

単独電話機について

単独電話機をお使いの場合の操作について説明しています。

通話録音ユニット編

通話録音ユニットをお使いの場合の操作について説明しています。

オプション編

ファクシミリ、ドアホンなどのオプションをお使いの場合の操作について説明しています。

参考

付属品や添付品についての説明や、故障かなとお困りのときの確認方法などを説明しています。

はじめに
お使いになる前に
基本操作編
応用操作編
登録・設定編
システム電話機からの操作編
回線サービス編
単独電話機について
通話録音ユニット編
オプション編
参考

この取扱説明書について

取扱説明書で使われているマーク、用語、表記について

操作説明ページで使われているマークについて

外線 ：外線でお使いになれる機能です。

内線 ：内線でお使いになれる機能です。

共通 ：外線、内線のどちらでもお使いになれます。

漢字 ：漢字表示付電話機(➡13ページ)で操作できます。
数字 ：数字表示付電話機(➡14ページ)で操作できます。
カナ ：カナ表示付電話機(➡14ページ)で操作できます。
大型 ：大型表示付電話機(➡14ページ)で操作できます。
システム ：システム電話機(➡下記)で操作できます。

これらのマークが記載されていない機能は、いずれの電話機でもお使いになれます。

取付け時設定 ：このマークのついている機能をお使いになる場合には、取り付け時の設定が必要です。設定を変更する際には、お買い上げの販売店にご相談ください。

：受話器を取る

：受話器を戻す

ISDN ：**TELEMORE-IP**をISDN回線でお使いの場合にのみご利用になれる機能です。

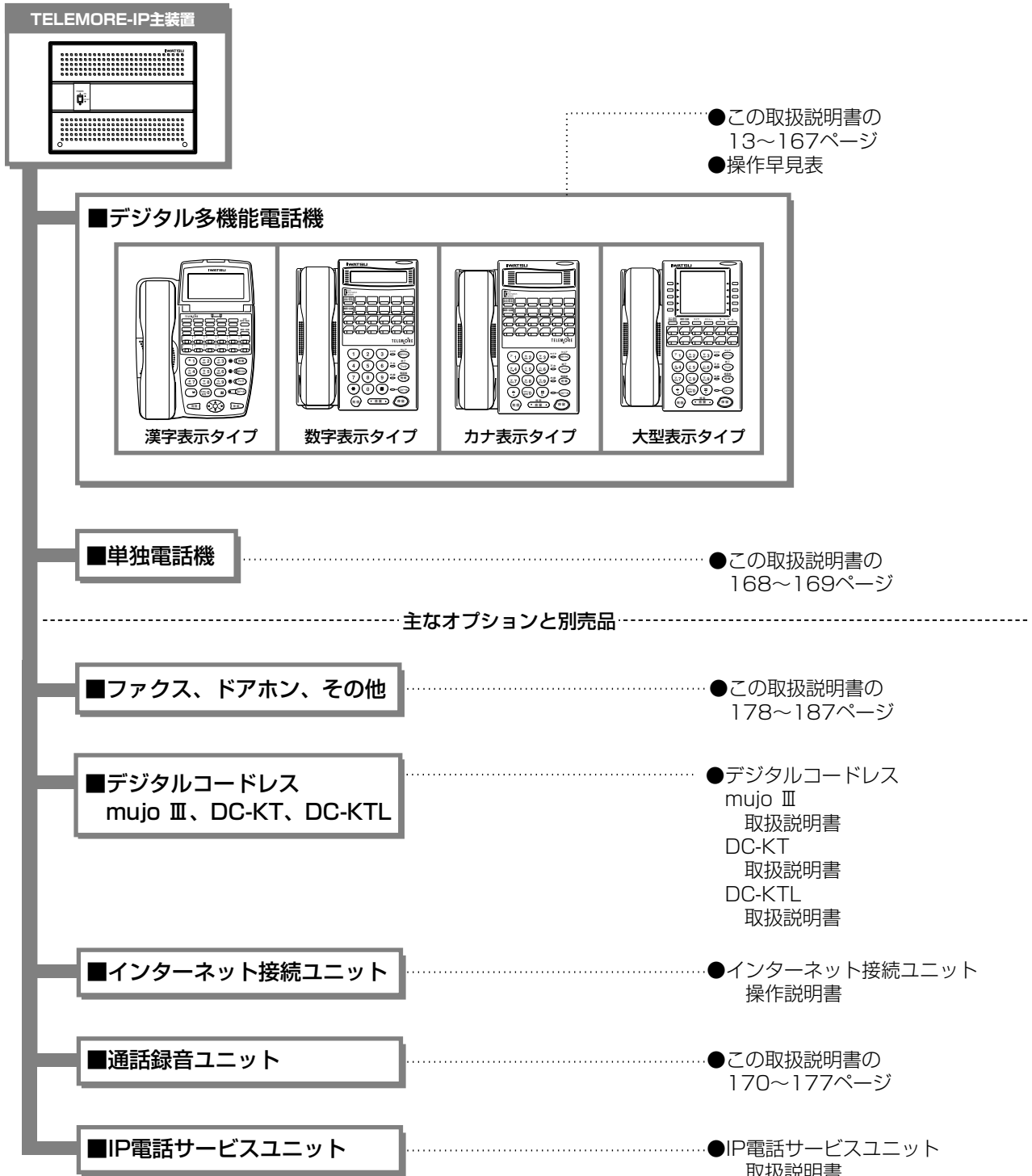
用語 / 表記方法について

- 「外線」を「回線」「局線」と表記する場合があります。
- 本文中のダイヤルボタンの表示は、数字のみを記載し、カタカナやアルファベットは省略しています。(例：1)
- フレキシブル ファンクションキーをFFキーと表記します。
- FFキーを機能ボタンとして使用する場合、本文中ではイラストで 外線 などと表記しています。
- カナ/英字 設定/転送 ボタンは、設定や転送で使う場合は 設定/転送 と表記しています。
- 本文中に表記する製品および表示部に表示される文字の書体および文字サイズは、実際とは異なります。

システム電話機とは

- システム電話機とは、共通短縮ダイヤルの登録や夜間切換等、システム全体に関わる操作を行うための電話機です。システム の表示のある操作はこの電話機でしか操作できません。
- システム電話機は、内線番号が1ケタの場合は内線番号1と2、2ケタの場合は10と11、3ケタの場合は100と101の電話機です。取付け時の設定により、他の電話機をシステム電話機に設定することもできます。取付け時設定
- 数字表示付電話機、カナ表示付電話機、大型表示付電話機、漢字表示付電話機のどの電話機でも、システム電話機とすることができます。

TELEMORE-IP に接続できる機器とお読みになる取扱説明書について

TELEMORE-IPには、以下の機器を接続することができます。この他にも各種オプションを接続することもできます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。各種オプションをご利用の場合は、お使いの機器・機能にあったページ、別冊の取扱説明書をお読みください。

接続できるデジタル多機能電話機の種類

品　名	型　番	備　考
漢字表示付電話機	WX-12KTX	
	WX-12KTX(G)	
	WX-22KTX	
	WX-12KTXP	停電用*1
数字表示付電話機	WX-12KTN	
カナ表示付電話機	WX-12KTD	
	WX-12KTDP	停電用*1
大型表示付電話機	WX-12KTL	

*1 停電用電話機としてお使いになれます。(➡195ページ)

お知らせ

- TELEMORE-IPに接続している機器は、お客様によって異なります。
- 現在ご利用いただいている各種機能を追加・変更する場合、またはオプションを追加される場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。
- 型番のアルファベットには、以下のような意味があります。

WX-12KTDP

N：数字表示付電話機
D：カナ表示付電話機
L：大型表示付電話機
X：漢字表示付電話機

P：停電用電話機

各部のなまえとはたらき

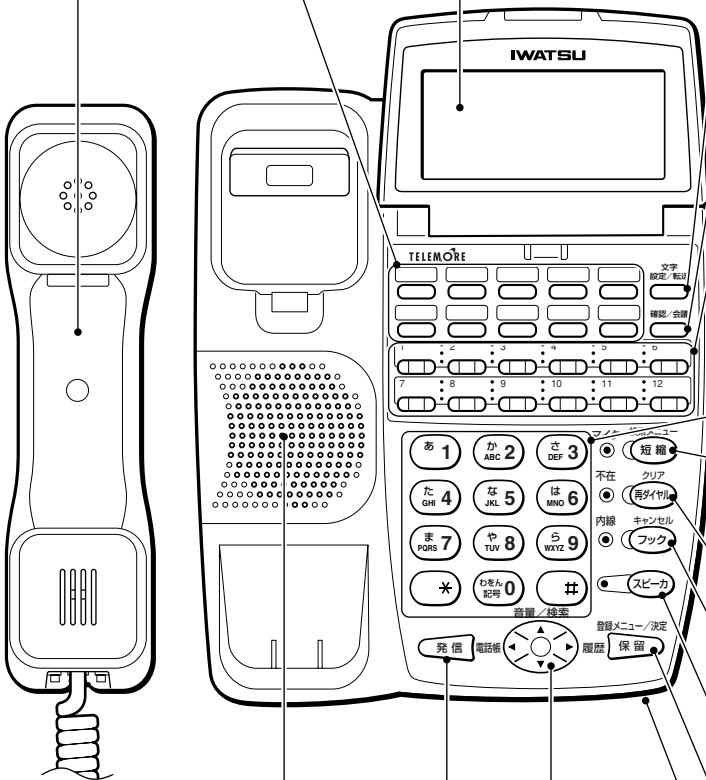
デジタル多機能電話機

漢字表示付電話機

WX-12KTX
WX-12KTX(G)

ワンタッチボタン（➡31ページ）
ワンタッチで電話をかける

受話器

液晶表示部
バックライトは操作しないと約20秒で消える

文字設定／転送 ボタン
・通話を転送する（➡60ページ）
・機能を設定する（➡81ページ）
・文字入力モードを変更する（➡101ページ）

確認／会議 ボタン（➡81ページ）
設定を確認する

FFキー
・外線を設定して 外線 ボタンとして使う（➡24ページ）
・機能を設定して 機能 ボタンとして使う（➡81ページ）

> **外線 ボタンについて**
> どの外線がどの外線ボタンに設定されているかは、取付け時の設定により異なります。特定の外線でかける場合や、外線を口頭で転送するときは、必ずどの外線がどの外線ボタンに設定されているか確認してからお使いください。

ダイヤルボタン

検索メニュー 短縮 ボタン
・短縮ダイヤルで電話をかける（➡30ページ）
・電話帳を呼び出す（➡32ページ）

クリア 再ダイヤル ボタン（➡42ページ）
以前にかけた電話番号にかける

キャンセル フック ボタン（➡24ページ）
受話器を戻さずに、続けて電話をかける

スピーカ ボタン
受話器を取らずに電話をかける

登録メニュー／決定 保留 ボタン（➡57ページ）
通話を保留する
漢字電話帳を登録する

マイク

音量／検索 電話帳 ◀ ▶ 履歴 ボタン
左キーは電話帳を呼び出し、
右キーは履歴表示を行い電話をかける
上下キーは着信音量や受話音量を調整する
電話番号を検索する

発信 ボタン（➡24ページ）
外線へ電話をかける

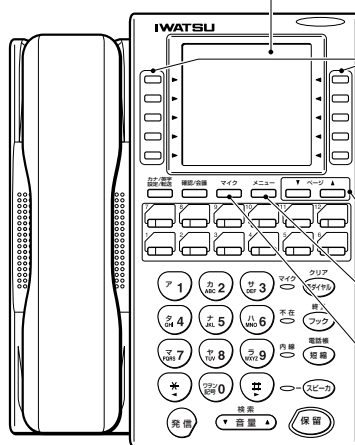
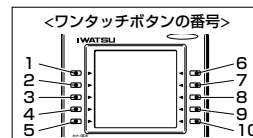
スピーカ
スピーカ を押して受話器をとらないとき、相手の声が聞こえる

カナ表示付電話機

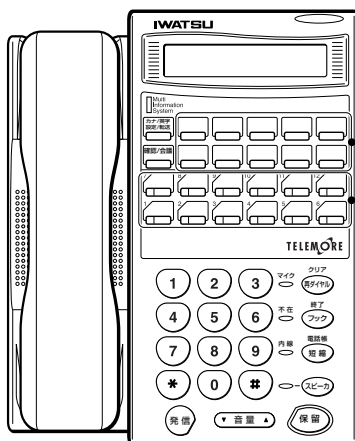
説明が記載されていないボタンやランプ類については、カナ表示付電話機の説明書をご覧ください。

12キー電話機D（WX-12KTD）

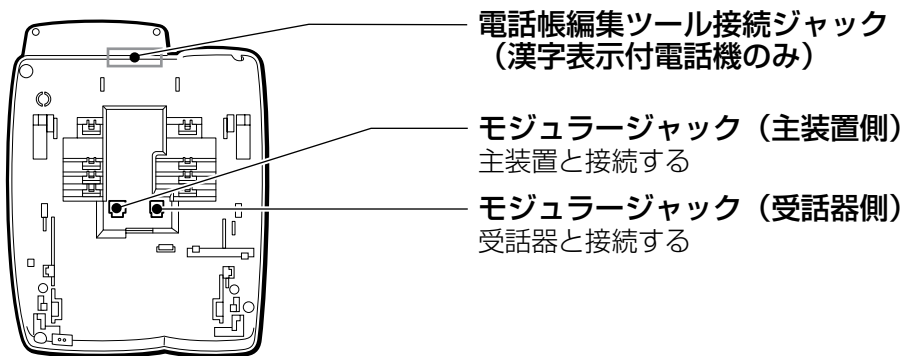
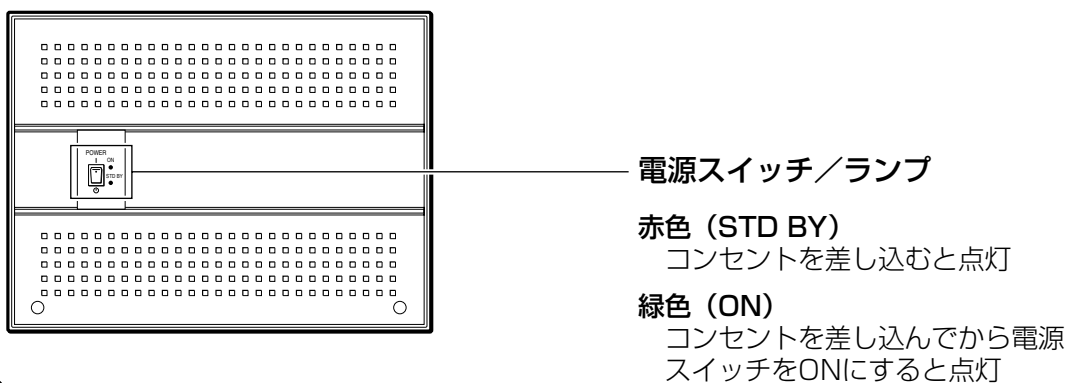
大型表示付電話機

説明が記載されていないボタンやランプ類については、大型表示付電話機の説明書をご覧ください。

12キー電話機L（WX-12KTL）

数字表示付電話機

説明が記載されていないボタンやランプ類については、数字表示付電話機の説明書をご覧ください。

12キー電話機N（WX-12KTN）

デジタル多機能電話機のランプ類

電話機底面

主装置

お知らせ

●故障の原因となりますので、主装置は販売店の方以外は操作しないでください。

液晶表示部について

液晶表示部には時刻、ダイヤル番号、通話時間、通話料金などを表示します。

ボタンを押したときの表示

表示タイプ ＼ ボタン	1 ～ 0	＊	＃	電話帳 短縮	クリア 再ダイヤル	文字 設定/転送	カナ/英字 設定/転送	確認/会議
漢字表示タイプ	1　0	*	#	A	R	F		C
カナ表示タイプ 大型表示タイプ	1　0	*	#	A	R		F	C
数字表示タイプ	1　0	c	ɔ	o	-		F	C

待ち受け中の表示（日付・時刻表示）

受話器を置いた状態のときに、日付や時刻を表示します。

日付や時刻の設定、変更はシステム電話機で行います。（➡122ページ）

お知らせ

- 時計の精度は、月差60秒以内です。
- 漢字、カナ、大型表示付電話機では、電話機に割り付けられた名前（内線電話帳に名前を登録してある場合）と内線番号を表示します。
- 大型、カナ、漢字表示付電話機の液晶表示部の上2行は、同じ表示内容となります。
- 受話器を取るか、（スピーカ）を押すと、日付・時刻表示は消えます。

電話をかけるときの表示（ダイヤル表示）

ダイヤルした電話番号を表示します。漢字、カナ、大型表示付電話機では、名前を登録した短縮ダイヤルや電話帳からかけたときは、登録されている相手の名前を表示します。

<表示例：岩通太郎さん(内線17番)の電話機からかける場合>

外線にかけたとき 例：岩通(03-5370-5470)にかけたとき

	ダイヤルしてかけたとき	電話帳からかけたとき
漢字表示タイプ	0353705470 局線 ＊04	（漢字電話帳からかけたとき） 0353705470 局線 ＊04
カナ表示タイプ	0353705470 CO ＊04	（外線電話帳からかけたとき） 0353705470 イワツウ
大型表示タイプ	0353705470 CO ＊04	0353705470 イワツウ
数字表示タイプ	0353705470	

内線にかけたとき 例：佐藤さん(内線12番)にかけたとき

	ダイヤルしてかけたとき	内線電話帳からかけたとき
漢字表示タイプ	12 イワツウ タロウ 17	サトウ イワツウ タロウ 17
カナ表示タイプ	12 イワツウ タロウ 17	サトウ イワツウ タロウ 17
大型表示タイプ	12 イワツウ タロウ 17	サトウ イワツウ タロウ 17
数字表示タイプ	12	

IP電話アダプタを接続した外線(IP回線)から電話をかけたとき、お使いになっている外線の名前がIPと表示されます。(漢字、カナ、大型表示付電話機のみ) 取付け時設定

IP回線からかけたとき 例：05012345678

	漢字表示タイプ	カナ表示タイプ	大型表示タイプ
ダイヤルしてかけたとき	05012345678 IP ＊04	05012345678 IP ＊04	05012345678 IP ＊04

お知らせ

- 名前を登録した短縮ダイヤルや電話帳からかけたときは、登録されている相手の名前を表示します。
- IP電話アダプタを接続した外線を使って発信しますので一般電話回線に迂回発信した場合も、外線の名前はIPと表示されます。
  (IP電話サービスでは、特殊番号(110、119等)などにダイヤルすると一般電話回線に迂回する場合があります。)

通話時間と通話料金の表示 取付け時設定

＜表示例　外線に電話をかけて相手が応答したときの表示＞

漢字表示タイプ	カナ表示タイプ	大型表示タイプ	数字表示タイプ
0'01　10円 局線 ＊04	0'01　10円 CO ＊04	0'01　10円 CO ＊04	0-01　10

ご注意

- 国際電話の通話料金は、通話料金集計（➡130ページ）には含まれません。
- 表示される通話料金は、あくまでも料金の目安としてお使いください。各通信事業者で管理している通話料金と同一とは限りません。
  - ・国内通話は、NTT以外の通信事業者でかけた場合でも、NTT回線を使ってかけた場合の通話料金で表示されます。
  - ・国際通話は、KDDI以外の通信事業者でかけた場合でも、001でかけたときの平日昼間の最初の1分間までの料金単位で計算されます。
- 通話時間の表示は、59分59秒まで表示します。それを超えると、0分00秒から再スタートします。
- 各電話機の通話料金は最大500,000円まで表示されます。それを超えると、表示は500,000円のままとなります。
- 1円未満の通話料金は表示できません。

お知らせ

- 通話が終了しても、約5秒間表示します。
- 携帯電話、PHS、自動車電話、船舶電話、列車電話、キャッチホン、INSキャッチホン、電報、コレクトコール、フリーダイヤル、伝言ダイヤルなどは料金表示されません。ただし、取付け時設定によって、目安としての料金表示が可能です。取付け時設定
- 構内交換機の端末として使用しているときは、ダイヤル後、約15秒後（設定により約30秒後）に料金計算を開始します。

電話がかかってきたときの表示（発信者の電話番号の表示）

発信者の電話番号が通知されてかかってきたときに表示します。漢字、カナ、大型表示付電話機では、通知された電話番号を表示し、漢字電話帳または共通短縮ダイヤル(外線電話帳)、発信者名、内線電話帳に名前を登録してある相手の場合には、発信者の名前を表示します。

＜表示例：岩通太郎さん(内線17番)の電話機にかかってきた場合＞

外線からかかってきたとき　例：東京支店(03－1234－5678)からかかってきたとき

お知らせ

- 電話がかかってきたときに通知される発信者番号が共通短縮ダイヤルで登録した番号と一致した場合には、登録した名前を表示します。取付け時設定
  ただし、共通短縮ダイヤルを登録するときに、電話番号の前に構内交換機に接続している場合の外線発信番号「0」など(➡188ページ)を付けて、市外局番を付けないで登録している場合には名前を表示することはできません。
- 名前の表示についての詳細は、ナンバー・ディスプレイ(➡134ページ)、ネーム・ディスプレイ(➡135ページ)を参照してください。

内線からかかってきたとき　例：鈴木さん(内線12番)からかかってきたとき

お知らせ

● 共通短縮ダイヤルに電話番号と一緒に下記のようにダイヤルを登録している場合でも、電話番号が一致すれば、発信者番号が通知されてかかってきたときに名前を表示することができます。

登録ダイヤル	項目	備考
電話番号＋#	ISDN発信ダイヤル	
電話番号（市外局番無し）（※1）	市内電話番号	
184／186＋電話番号	発信者番号通知	
00XY＋電話番号	NCCアクセスダイヤル	0088、0077など
短縮#4＋電話番号	自動保留（※2）	
短縮*0＋電話番号 短縮*94〜96＋電話番号	外線自動選局発信（※2）	
電話番号＋再ダイヤル＋ダイヤル	ポーズ（※2）	
電話番号＋短縮**＋ダイヤル	プッシュ信号転換（※2）	
電話番号の中に短縮*2が含まれる場合	短縮ダイヤル表示規制（※2）	
電話番号＋短縮＋短縮番号	ビーンダイヤル（※2）	

（※ 1）共通短縮ダイヤルに市外局番が登録されていない場合でも、共通短縮ダイヤルの名前を表示させることができます。 取付け時設定

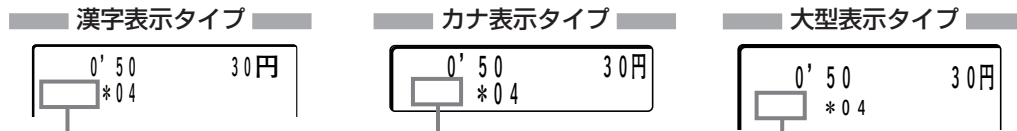
（※ 2）内容については、「電話番号の中、または電話番号の代わりに登録できる内容」（➡102 ページ）をお読みください。

● 電話番号「03-1234-5678」が通知された場合

	共通短縮ダイヤルの名前が表示できる例	表示できない例
共通短縮ダイヤルへの登録内容	0312345678# 0312345678 12345678# 12345678 1840312345678 00880312345678 12200770312345678 短縮*940312345678# 0312345678*100# 03短縮*212345678短縮*2	18412345678 012345678（※3）

（※ 3）先頭に PBX アクセスダイヤル（TELEMORE-IP を構内交換機に接続している場合の外線発信番号、例：0 ）を登録し、市外局番を登録していない場合。

NTT 以外の通信事業者回線を使って電話をかけているときの表示

NTT以外の通信事業者回線を使って外線に電話をかけたとき、お使いになっている回線の会社名が表示されます。（漢字、カナ、大型表示付電話機のみ）取付け時設定

ここに、NTT以外の通信事業者の会社名がアルファベットで表示されます。

大型表示付電話機のメニュー画面

大型表示付電話機は、メニューを押して3種類のメニュー画面を呼び出すことができます。
▼ページ▲を押して画面を選択したあとに、ワンタッチボタン1～10を押してお使いになる機能を選択します。

<メニュー画面1>

8月11日 WED 17:17
イワツウ タロウ 17
コジンタンシュクダイヤル ― 個人短縮ダイヤルで電話をかける(➡33ページ)
ガイセンデンワチョウ ― 共通短縮ダイヤルで電話をかける(➡33ページ)
ナイセンデンワチョウ ― 内線を検索してから電話をかける(➡33ページ)
ハッシンリレキ ― 前にかけた電話番号にかけ直す(再ダイヤル) (➡44ページ)
チャクシンツウワリレキ ― 着信通話履歴から電話をかける(➡46ページ)

メニュー押す　ページ▲押す　ページ▼押す

<メニュー画面2>

8月11日 WED 17:17
イワツウ タロウ 17
チャクシンフオウトウ リレキ ― 着信不応答履歴から電話をかける(➡48ページ)
システムチャクシン リレキ ― システム着信履歴を表示する／電話をかける(➡52ページ)
コジン タンシュク ナマエ ― 個人短縮ダイヤルを登録する(➡106ページ)
ガイセンデンワチョウナマエ ― 外線電話帳を登録する(➡114ページ)
ナイセン ナマエ ― 内線電話帳を登録する(➡117ページ)

メニュー押す　ページ▲押す　ページ▼押す

<メニュー画面3>

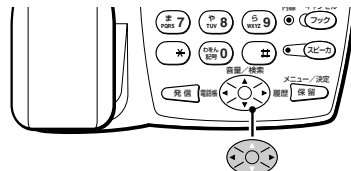
8月11日 WED 17:17
イワツウ タロウ 17
ハッシンシャ ナマエ ― 発信者の名前を登録する(➡118ページ)
ガイセン サクイン ナマエ ― 外線電話帳の索引名の空き項目の入力(➡107ページ)
ナイセン サクイン ナマエ ― 内線電話帳の索引名の空き項目の入力(➡107ページ)

電話機の音量を調節する

電話機の音量を5段階で調節することができます。受話口やスピーカから聞こえる相手の声の音量(受話音量)と電話がかかってきたときの呼出音や着信音の音量(着信音量)を調節できます。
短縮ダイヤルなどを検索中は音量調節できません。

受話音量を調節する

通話中の場合

1 音量／検索 を押す
▼ を押すと小さくなります。
▲ を押すと大きくなります。

お知らせ
- 通話が終わったあとに受話器を戻すと、元の音量に戻ります。
- 音量が大きすぎてハウリングする場合は、音量を小さくしてください。

スピーカ音量を調節する

1 スピーカ を押す
2 音量／検索 を押す
3 スピーカ を押す

お知らせ
- スピーカ受話中にスピーカ音を調節するには、手順**2**のみを行います。

着信音量を調節する

着信音が鳴っている場合

1 音量／検索 を押す
▼ を押すと小さくなります。
▲ を押すと大きくなります。

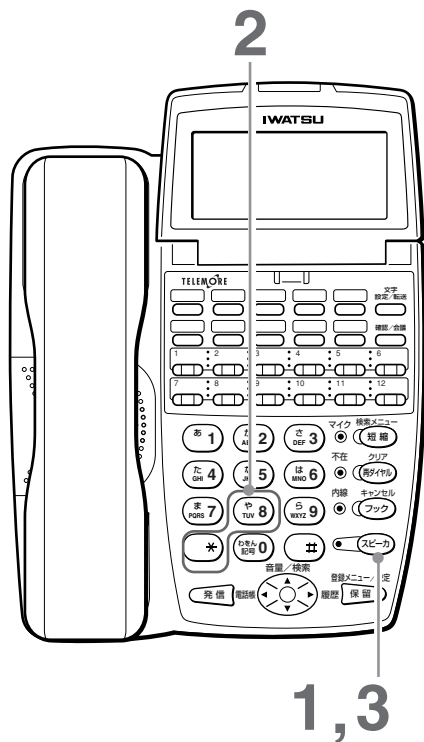
着信音が鳴っていない場合に、着信音量を調節するには

1 スピーカ を押す
2 ＊ 7 1 を押す　● スピーカから小さく着信音が出ます
3 音量／検索 を押す
4 スピーカ を押す

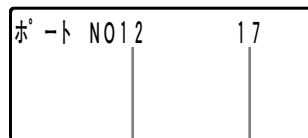
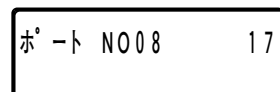
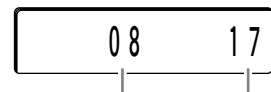
お知らせ
- 内線の着信音量を個別に調節することができます。手順**2**で ＊ 7 1 の代わりに ＊ 7 2 を押してください。 取付け時設定

内線番号を確認する／液晶表示部のコントラストを調節する

内線番号を確認する

電話機の内線番号を表示して確認することができます。

1 スピーカ を押す

2 ＊ 8 8 を押す

- 内線番号が表示されます。
- 電話機の種類によって、表示画面が異なります。

＊主装置に接続しているポートの番号を表示します。01～12のいずれかが表示されます。

3 スピーカ を押す

お知らせ

● 漢字、カナ、大型表示付電話機をお使いの場合は、待ち受け中にも内線番号が表示されています。（➡16ページ）

液晶表示部のコントラストを調節する カナ 大型

カナ表示付電話機、大型表示付電話機の液晶表示部のコントラストを調節することができます。

1 待ち受け中に 確認/会議 を押す

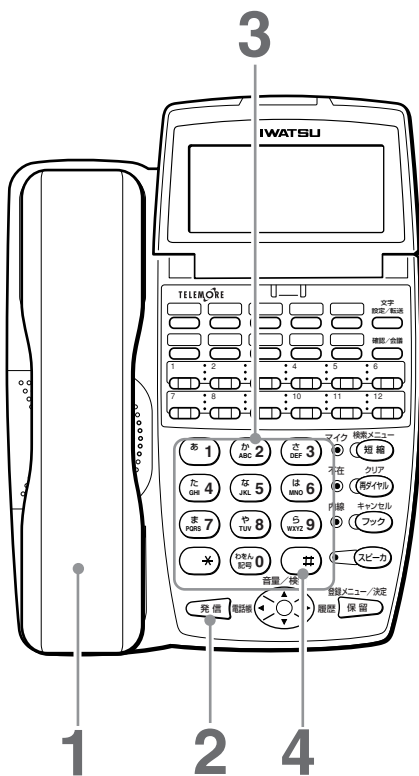
2 ▼ 音量 ▲ を押す

▼：薄くする
▲：濃くする

お知らせ

● 漢字表示付、および数字表示付電話機では調節できません。

電話をかける

外線　外線へかける

電話（アナログ）回線でお使いの場合は、電話番号を押したあとの ＃ の操作は不要です。

1 （受話器を取る）（または スピーカ を押す）

2 発信 を押す

● 「ツー」という音が聞こえ、外線ランプが緑色に点滅します。

3 電話番号をダイヤルする

4 ＃ を押す

● ＃を押さなくても、設定した時間（お買い上げ時の設定は6秒）が経過すると、自動的に電話がかかります。

受話器を取らずに外線へ電話をかけるには

1 発信 を押す

2 電話番号をダイヤルする

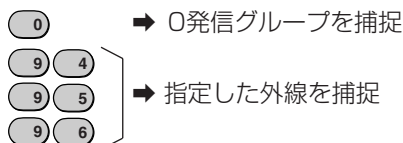
3 ＃ を押す

4 （相手が出たら）（受話器を取る）
相手の方が電話に出ない場合は、スピーカ を押すと電話を切った状態に戻ります。

お知らせ

● 特定の外線を使って発信したいときは 発信 の代わりに使いたい 外線 を押してください。（このページ以降の外線へかける操作でも共通です）

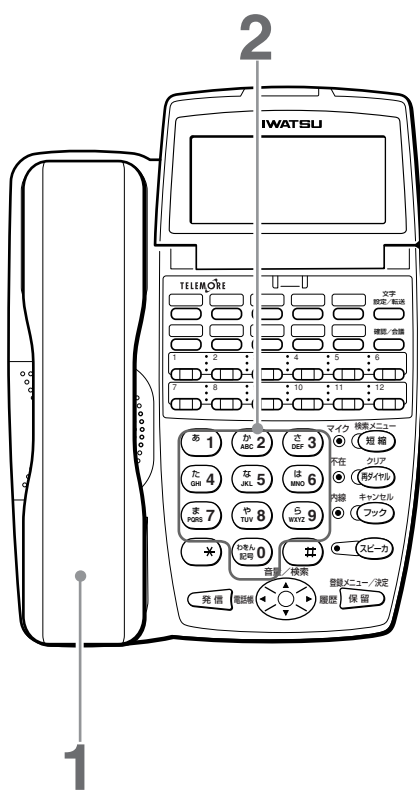
● 発信 を押す代わりに右記のボタンを押してもかけられます。（自動選局発信）
取付け時設定

0 ➡ 0発信グループを捕捉
9 4 / 9 5 / 9 6 ➡ 指定した外線を捕捉

● 通話が終わったあとに続けて電話をかけるには、受話器を戻さずに フック を押します。「ツー」という音が聞こえたら、再度電話番号をダイヤルしてください。

● 電話番号をダイヤルするときは、間違い電話を防ぐため、「ツー」という音を確認してから正確にダイヤルしてください。

● **TELEMORE-IP**を構内交換機に接続している場合は、手順 **3** で電話番号の前に外線発信番号（例：0）を押してください。

内線

内線へ電話をかける（内線トーン呼出）

1 （または スピーカ を押す）

2 内線番号をダイヤルする

● 内線ランプが点灯します。

受話器を取らずに内線に電話をかけるには（内線トーン呼出）

1 スピーカ を押す

2 内線番号をダイヤルする

3 （相手が出たら）

音声で呼び出すには（内線音声呼出）

電話をかけた相手を、呼出音の代わりに音声で呼び出します。

1 （または スピーカ を押す）

2 内線番号をダイヤルする

3 1 を押す

4 呼びかける

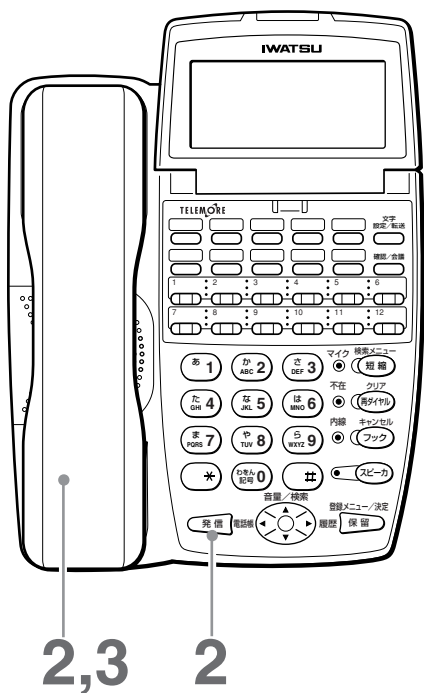
相手に予告音（プー）を流すことができます。取付け時設定

お知らせ

● 音声で呼び出した場合、トーン呼出に変更できません。

共通

電話番号を確認してから電話をかける（プリセットダイヤル）

ダイヤルした電話番号を確認してから電話をかけることができます。また、電話帳や再ダイヤル、着信通話履歴、着信不応答履歴に記憶されている電話番号を呼び出して電話番号を確認してから電話をかけることもできます。

1 受話器を置いたまま電話番号をダイヤルする

- スピーカランプが点滅します。
- 以下の電話番号を呼び出すこともできます。

短縮ダイヤル	（➡30ページの手順**3**）または（➡32ページの手順**2**〜**4**）
外線電話帳	（➡32ページの手順**2**〜**4**）
内線電話帳	（➡32ページの手順**2**〜**4**）
再ダイヤル	（➡42ページの手順**2**）
発信履歴	（➡43ページの手順**2**、**3**）
着信通話履歴	（➡45ページの手順**2**、**3**）
着信不応答履歴	（➡47ページの手順**2**、**3**）
システム着信履歴	（➡52ページの手順**1**、**2**）

外線にかける場合

2 発信 を押す

3 （受話器を上げる）

（または スピーカ を押す）

内線にかける場合

2 （受話器を上げる）

（または スピーカ を押す）

お知らせ

- プリセットダイヤル中はスピーカランプが点滅します。
- 手順**1**で電話番号を訂正したいときは、以下のボタンで電話番号を消去できます。
  - 再ダイヤル：電話番号を1ケタ消去します。
  - フック：電話番号を全ケタ消去して、待ち受け画面に戻ります。
- 外線でも、内線でも、電話番号をダイヤルしたあとに 発信 を押すと、電話をかけるようにすることもできます。この場合は、ダイヤルの1ケタ目によって外線/内線を判断することになります。 取付け時設定
- 約15秒間ダイヤル操作がないときは、待ち受け画面に戻ります。

登録した電話番号に電話をかける（短縮ダイヤル・電話帳）

よくかける電話番号を登録(➡100ページ)して、簡単な操作で電話をかけることができます。
登録済みの電話番号に電話をかけるには、短縮番号でかける方法と、名前を検索してかける方法があります。

短縮番号でかける方法

短縮ダイヤルには、個人短縮ダイヤルと共通短縮ダイヤルの2種類があります。

- **個人短縮ダイヤル**
  短縮番号 8 0 ～ 9 9 の20カ所
  各電話機ごとに登録できます。
- **共通短縮ダイヤル**
  短縮番号 0 0 ～ 7 9 の80カ所または 0 0 0 ～ 7 9 9 の800カ所 取付け時設定
  システム電話機で登録して、各電話機でお使いになれます。

名前を検索してかける方法(電話帳)

電話帳には、外線電話帳と内線電話帳の2種類があります。

- **外線電話帳**
  共通短縮ダイヤルに名前をつけて登録し(➡110、114ページ)、名前から検索することができます。
- **内線電話帳**
  内線番号に名前をつけて登録し(➡116、117ページ)、名前から検索することができます。

登録した電話番号に電話をかける操作は、電話機の種類によって異なります。以下の表をご覧ください。

ダイヤル ＼ 電話機		電話をかける操作				登録操作
		漢字表示付電話機	数字表示付電話機	カナ表示付電話機	大型表示付電話機	
漢字電話帳	名前を検索してかける＜漢字電話帳＞	○				各電話機で登録します。(➡84ページ)
個人短縮ダイヤル	短縮番号でかける(➡30ページ)	○	○	○	○	各電話機で登録します。(➡103ページ) ※ ただし、数字表示付電話機では名前は登録できません。
	ワンタッチボタンでかける(➡31ページ)	○	○	○		
	名前を検索してかける(➡32、33ページ)	○		○	○	
共通短縮ダイヤル	短縮番号でかける(➡30ページ)	○	○	○	○	システム電話機で登録します。(➡109ページ) ※ ただし、数字表示付電話機では名前は登録できません。
	名前を検索してかける＜外線電話帳＞(➡32、33ページ)	○		○	○	
内　　線	名前を検索してかける＜内線電話帳＞(➡32、33ページ)	○		○	○	取付け時に設定された内線番号に、システム電話機で名前を登録します。(➡116ページ) ※ ただし、数字表示付電話機では名前は登録できません。

共通　漢字電話帳を検索して電話をかける

漢字表示付電話機の漢字電話帳に登録してあるデータを検索して電話をかけることができます。
電話帳を検索するには、「読み検索」「グループ検索」「ダイヤル検索」の3つの方法があります。
例：以下の操作は、名前：鈴木太郎、グループ2 電話番号：03-1234-5678 にかける場合で説明しています。

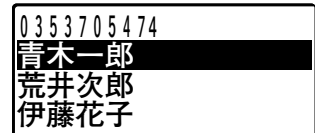
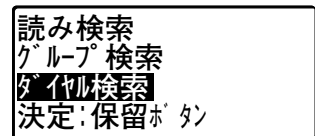
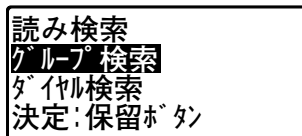
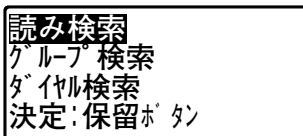
1

待ち受け中に

電話帳 を押す

0353705474
青木一郎
荒井次郎
伊藤花子

- 登録された名前が50音順に表示されます。
  このまま 音量／検索 で名前をスクロールして探すこともできます。
- 選んでいる名前は反転表示されます。
- 音量／検索 を押すと、手順**3**の読み検索に移ることができます。

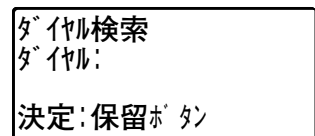
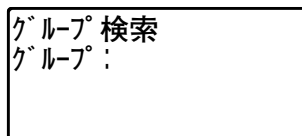
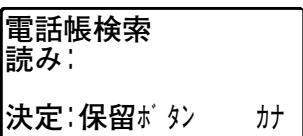
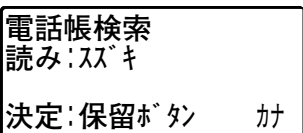
2

検索メニュー 短縮 を押し、音量／検索 で検索方法を選ぶ

読みで検索する	グループで検索する	ダイヤルで検索する
読み検索 ｸﾞﾙｰﾌﾟ検索 ﾀﾞｲﾔﾙ検索 決定:保留ﾎﾞﾀﾝ	読み検索 ｸﾞﾙｰﾌﾟ検索 ﾀﾞｲﾔﾙ検索 決定:保留ﾎﾞﾀﾝ	読み検索 ｸﾞﾙｰﾌﾟ検索 ﾀﾞｲﾔﾙ検索 決定:保留ﾎﾞﾀﾝ

3

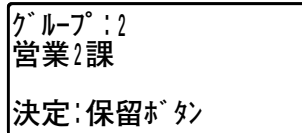
登録メニュー／決定 保留 で決定する

読みで検索する	グループで検索する	ダイヤルで検索する
電話帳検索 読み: 決定:保留ﾎﾞﾀﾝ　ｶﾅ	ｸﾞﾙｰﾌﾟ検索 ｸﾞﾙｰﾌﾟ:	ﾀﾞｲﾔﾙ検索 ﾀﾞｲﾔﾙ: 決定:保留ﾎﾞﾀﾝ

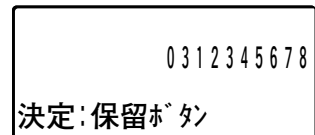
4 読み（6文字以内）を入力し、登録メニュー／決定 保留 を押す

電話帳検索
読み:ｽｽﾞｷ
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ　ｶﾅ

- 読みを入力して、音量／検索 で名前を表示させることもできます。
- 入力した文字を含む名前が表示されます。登録されていない場合は、最も近い文字列の名前が表示されます。

4 グループ番号（0～9）を押す

ｸﾞﾙｰﾌﾟ:2
営業2課
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ

- 音量／検索 でグループ番号を順次表示して、保留 で決定することもできます。
- グループ内の名前が読み順に表示されます。

4 電話番号を入力し、登録メニュー／決定 保留 を押す

0312345678
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ

- 電話番号を入力して、音量／検索 で電話番号を順次表示させることもできます。
- 入力された番号を含む電話番号が表示されます。

5 音量／検索 でかけたい相手を選んだら 登録メニュー／決定 保留 で決定する

鈴木
0312345678
0353705474
0353705473

6 発信 を押し、受話器を取る

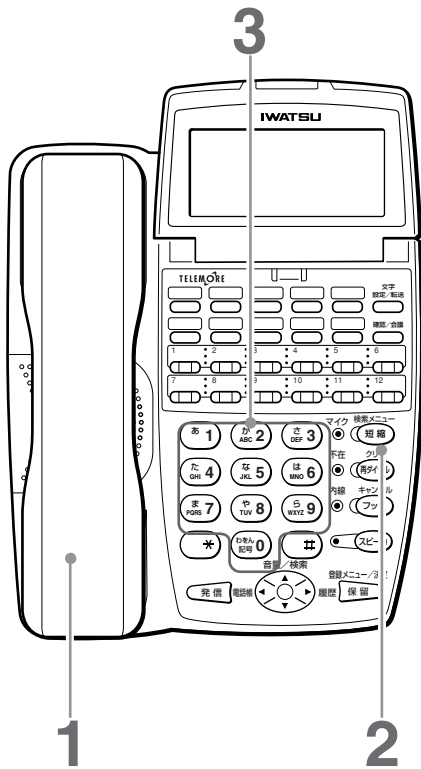
- 相手が応答したら通話します。

操作のヒント

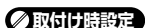
- 操作を間違えた場合は、再ダイヤル で前の手順に戻って入力し直してください。
- 音量／検索 を 1 秒以上押すと連続スクロールになります。

共通

短縮番号でかける（個人短縮ダイヤル・共通短縮ダイヤル）

個人短縮ダイヤルも、共通短縮ダイヤルも、かける操作は同じです。

1 （または スピーカ を押す）

2 検索メニュー 短縮 を押す

3 短縮番号を押す

共通短縮ダイヤル ： 0 0 〜 7 9 または 、
0 0 0 〜 7 9 9 取付け時設定

個人短縮ダイヤル ： 8 0 〜 9 9

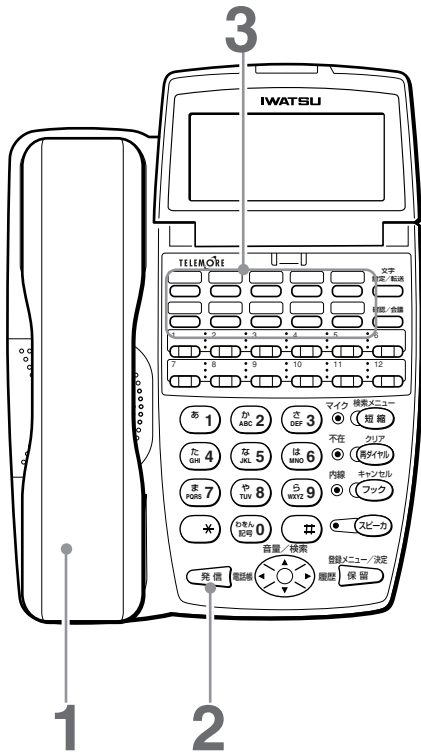
- 短縮ダイヤルに登録した電話番号と名前(カナ、大型表示付電話機の場合)が表示されます。

お知らせ

- 数字表示付電話機では、個人短縮ダイヤルの 9 9 を登録しても、着信履歴発信(➡45ページ)を取付け時設定している場合は、個人短縮ダイヤルの 9 9 に、外線からかかってきて最後に応答した相手の電話番号が記憶されます。電話がかかってくるたびに新しい相手の電話番号に変わりますのでご注意ください。
- 短縮ダイヤルに登録されている電話番号の末尾に # が含まれていない場合は、手順 **4** のあとに # を押してください。ただし、短縮ダイヤルで # を登録していない場合でも設定した時間(取付け時の設定は2秒)が経過すると、自動的に電話がかかります。
- 特定の外線を使って発信したいときは、手順 **1** のあとに使いたい 外線 を押してください。
- 手順 **1** のあとに 発信 を押してから、手順 **2**、**3** を行って電話をかけることができます。 取付け時設定

共通 ワンタッチボタンで電話をかける（個人短縮ダイヤル）

数字 カナ 漢字

個人短縮ダイヤルの(8)(0)～(8)(9)までは、ワンタッチボタンを使ってさらに簡単に電話をかけることができます。

1 （または (スピーカ) を押す）

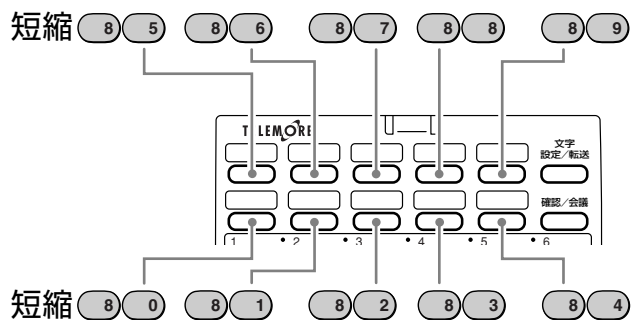
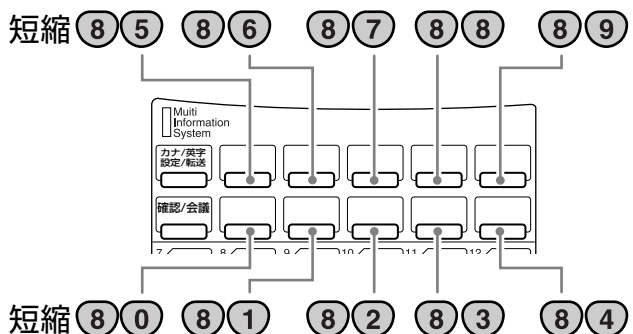
2 (発信) を押す

- 内線の相手の場合はこの操作は不要です。

3 かけたい短縮番号のワンタッチボタンを押す

- 下記のイラストを参考にして、ワンタッチボタンを押してください。
- 短縮ダイヤルに登録した電話番号と名前（カナ表示付電話機の場合）が表示されます。

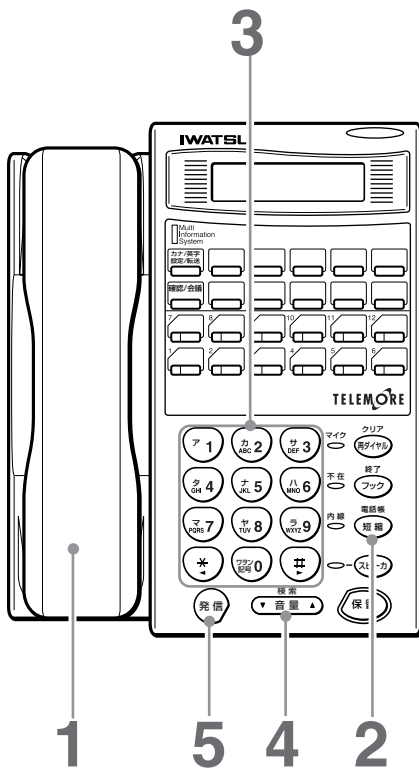
個人短縮ダイヤルとワンタッチボタンの対応

<漢字表示付電話機の場合>

<数字、カナ表示付電話機の場合>

共通

名前を検索してかける（個人短縮ダイヤル・外線電話帳・内線電話帳）

取付け時設定 カナ 大型 漢字

相手の名前を検索してかけることができます。

カナ表示付電話機の場合 カナ 漢字

1 （または スピーカ を押す）

2 電話帳 短縮 を数回押して、使いたい名前検索画面を表示する

- 押す回数は、設定により異なります。取付け時設定

短縮番号入力画面 （個人短縮番号／共通短縮番号）

A

短縮番号を入力したら手順**5**へ進んでください。

名前検索画面

個人短縮ダイヤル

コジンタンシュクダイヤル

手順**4**へ進んでください。

外線電話帳

ガイセンデンワチョウ
カナ

手順**3**へ進んでください。

内線電話帳

ナイセンデンワチョウ
カナ

手順**3**へ進んでください。

3 相手の名前の、はじめの１～４文字を入力する

- 外線電話帳、内線電話帳のみ入力できます。

4 検索 ▼ 音量 ▲ を押してかけたい相手の名前を選ぶ

- 入力した文字で始まる名前がないときは、その近くのデータを表示します。
- 手順**3**で名前を入力しない場合
  ▼ で先頭の名前
  ▲ で最後尾の名前を表示します。

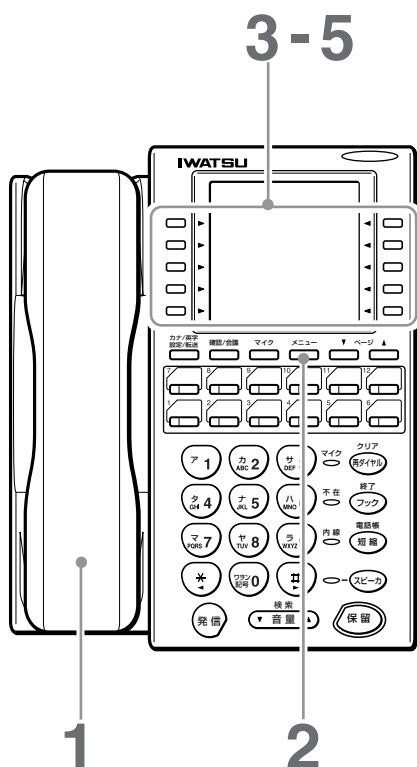
5 発信 を押す

お知らせ

- 空いているFFキーにそれぞれの電話帳を設定すると、手順**2**でそのFFキーを押すだけで、使いたい電話帳を選ぶことができます。(➡81ページ)

3-5

1 2

大型表示付電話機の場合 大型

1 （または スピーカ を押す）

2 メニュー を押す

3

コジンタンシュクダイヤル
ガイセンデンワチョウ
ナイセンデンワチョウ
ハッシン リレキ
チャクシン ツウワ リレキ

コジンタンシュクダイヤルまたはガイセンデンワチョウまたはナイセンデンワチョウを押す

● コジンタンシュクダイヤルを押した場合は、手順**5**へ進んでください。

4

アーオ	ハーホ
カーコ	マーモ
サーソ	ヤーン
タート	
ナーノ	

相手の名前の 1 文字目を選ぶ

▼ページ ：英字の目次画面を表示するとき
ページ▲ ：カナの目次画面に戻るとき
メニュー ：メニュー画面に戻るとき

5

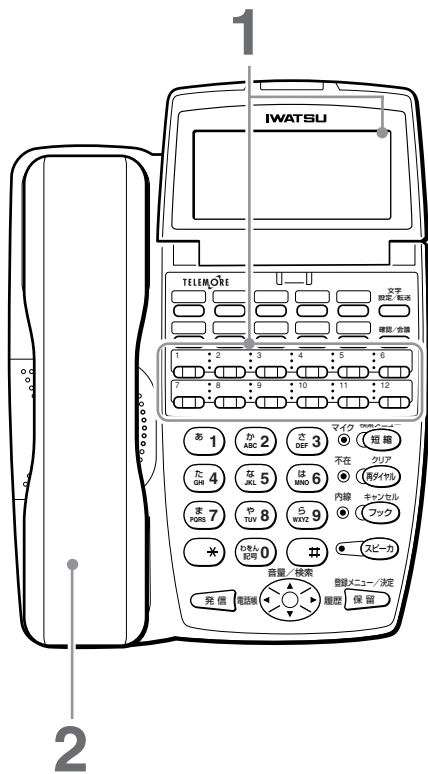
アンドウ	15
イトウ	20
ウスイ	18
エノモト	17
オガタ	12

（内線電話帳の場合）

かけたい名前のワンタッチボタンを押す

▼ページ ：次の画面を見たいとき
ページ▲ ：前の画面を見たいとき

電話を受ける

外線　外線を受ける

1 着信音が鳴る

● 着信ランプと外線ランプが赤色に点滅します。

2 （受話器を取る）（または スピーカ を押す）

お知らせ

● 着信音が鳴っていない電話機で外線を受けるには、受話器を取ってからランプが点滅している 外線 を押します。取付け時の設定により、上記手順**1**、**2**の操作で外線を受けることもできます。 取付け時設定

2つ以上の外線が着信している場合

複数の外線が着信している場合、外線を選んで電話を受けることができます。

1 着信音が鳴る

着信ランプが点滅し、複数の外線ランプが赤色に点滅します。

2 ランプが点滅している 外線 を押す

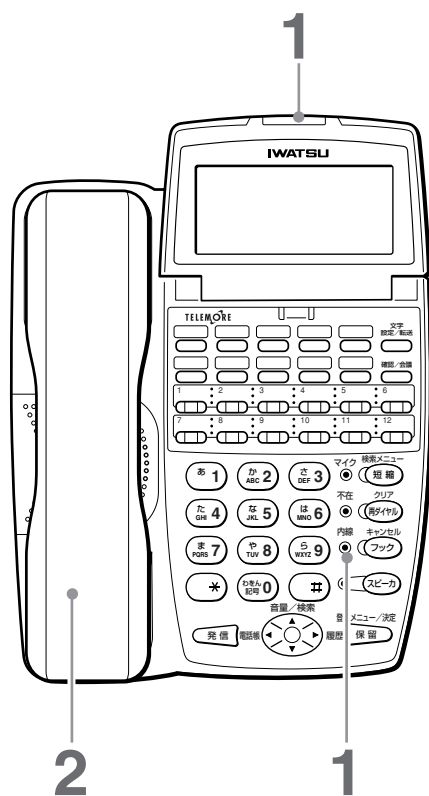
3 （受話器を取る）

お知らせ

● 発信者の電話番号が通知された場合には、電話がかかってきたときに相手の電話番号が液晶表示部に表示されます。電話に出ると、電話番号は消えます。共通短縮ダイヤル(➡109ページ)または発信者名(➡118ページ)が登録されている場合は、電話番号の代わりに登録されている名前が表示されます。（漢字、カナ、大型表示付電話機のみ） 取付け時設定
漢字表示付電話機の場合、漢字電話帳(➡84ページ)が登録されていると、電話番号の代わりに登録されている名前が表示されます。

● 取付け時の設定により、電話に応答したあとも発信者の電話番号や名前を表示することができます。 取付け時設定

内線

内線を受ける

1 着信音または音声が聞こえる

● 着信ランプと内線ランプが点滅します。

2 （または スピーカ を押す）

● 内線ランプが点灯します。

お知らせ

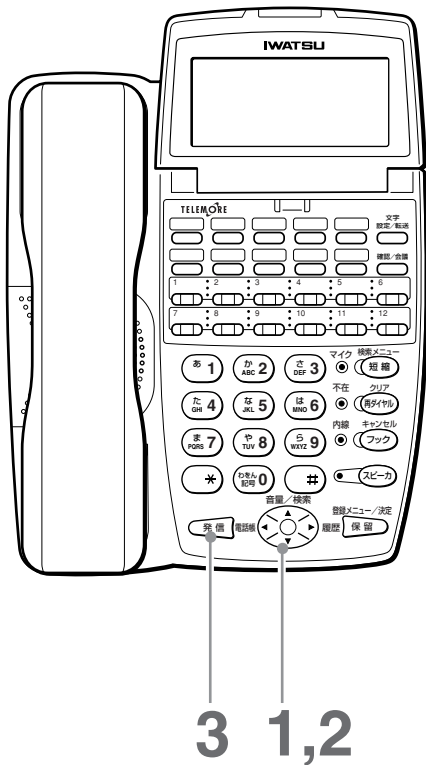
● 内線から電話がかかってきた場合には、電話をかけた人の内線番号が表示されます。

● 内線電話帳(➡116ページ)に名前が登録されている場合は、名前が表示されます。（カナ、大型表示付電話機のみ）

● 内線音声呼出をされた場合は、あらかじめ内線ハンズフリー応答を設定して、マイクに向かって話す方法で応答することもできます。(➡63ページ)

漢字電話帳の発信履歴／着信履歴を利用して電話をかける

外線　発信履歴（発信記録）から電話をかける　漢字

以前にかけた電話番号(最大20件まで)に簡単な操作で電話をかけることができます。
例：以下の操作は、名前：鈴木太郎、電話番号：03-1234-5678 にかける場合で説明しています。

待ち受け中に

1 を押す

- 最後にかけた記録が表示されます。
- 発信記録がない場合は、「発信記録ありません」と表示されます。

```
01 発信:19日 17:55
岩通
0353705470
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ
```

（名前登録がある場合）

```
01 発信:19日 17:55

0353705470
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ
```

（名前登録がない場合）

2 音量／検索 でかけたい相手を選ぶ

```
02 発信:18日 09:33
鈴木太郎
0312345678
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ
```

3 発信 を押し、受話器を取る

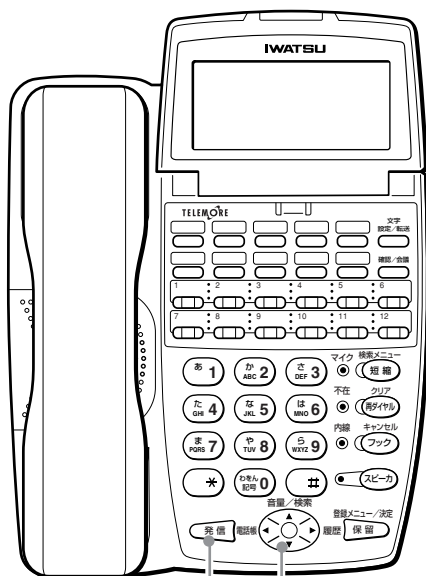
- 相手が出たら通話します。

お知らせ

- 電話をかけると最新の20件(外線発信のみ)の発信履歴が記録されます。20件を超えた場合は、古いデータから消去されます。
- 同一の電話番号にかけた場合は、履歴は1件のまま最新の発信時刻に更新されます。

外線

着信履歴（着信記録）から電話をかける 漢字

以前にかかってきた電話番号(最大30件まで)に簡単な操作で電話をかけることができます。着信履歴では着信時に応答したかどうかの表示もされます。
例：以下の操作は、名前：鈴木太郎、電話番号：03-1234-5678 にかける場合で説明しています。

待ち受け中に

1 履歴 を２回押す

- 最後にかかってきた記録が表示されます。
- 着信記録がない場合は、「着信記録はありません」と表示されます。
- 着信に応答しなかった着信は、日付表示の右側に‘*’表示が行なわれます。

```
01 着信:19日 17:55
岩通
0353705470
決定:保留ボタン
```

（名前登録がある場合）

```
01 着信:19日 17:55*

0353705470
決定:保留ボタン
```

（名前登録がない場合）

2 音量／検索 でかけたい相手を選ぶ

```
02 着信:18日 09:33
鈴木太郎
0312345678
決定:保留ボタン
```

3 発信 を押し、受話器を取る

- 相手が出たら通話します。

ご注意

- 発信 以外の操作では、発信できません。

お知らせ

- 最新の30件分の着信履歴が記録されます。相手先の電話番号が通知されている着信を受けた場合は、応答したかどうかに関わらず着信履歴として記録されます。30件を超えた場合は、古いデータから削除されます。
- 同一の電話番号からかかってきた場合も複数のデータが残ります。
- システム着信履歴を使って発信することもできます。(➡52ページ)

外線

発信履歴／着信履歴を漢字電話帳に登録する 漢字

発信履歴や着信履歴の電話番号を電話帳に登録することができます。

待ち受け中に

1 履歴 を1回押す

```
01 発信:19日 17:55
岩通
0353705470
決定:保留ボタン
```

待ち受け中に

1 履歴 を2回押す

```
01 着信:19日 13:22
岩通
0353705470
決定:保留ボタン
```

- 最後にかけた（かかってきた）記録が表示されます。
- 発信（着信）記録がない場合は、「発信（着信）記録ありません」と表示されます。

2 音量／検索 を押して、登録したい相手を選ぶ

```
02 発信:18日 09:33
鈴木太郎
0350004321
決定:保留ボタン
```

3 登録メニュー／決定 保留 を押す

```
発信
1件削除
電話帳登録
決定:保留ボタン
```

4 音量／検索 を押して、「電話帳登録」を選ぶ

```
発信
1件削除
電話帳登録
決定:保留ボタン
```

5 保留 を押す

6 名前修正、グループ名選択をする

- 操作は「漢字電話帳データの修正」(➡92ページ)の手順**3**～手順**14**を参照してください。

7 名前修正、グループ名選択を行った後、保留 を押す

8 保留 を押す

登録しました
残り　126件

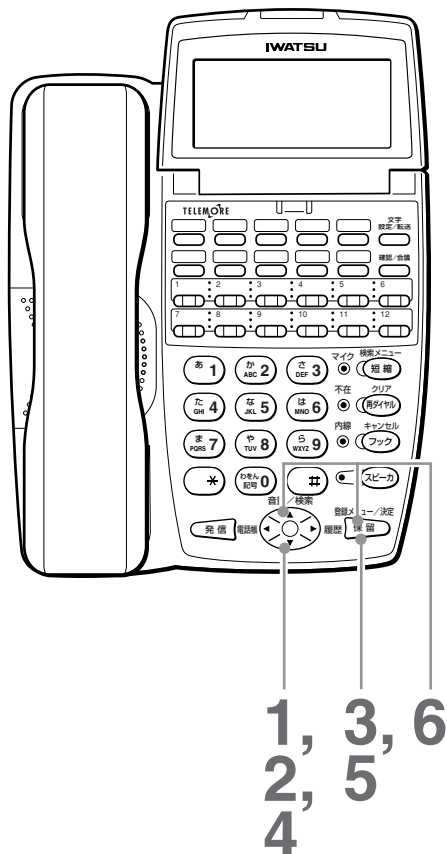
- 確認音「ピピッ」が鳴ります。

9 2秒後に待ち受け表示に戻る

外線

発信履歴／着信履歴を削除する

漢字

不用な発信履歴／着信履歴を削除することができます。

待ち受け中に

1 （履歴）を1回押す

発信履歴

```
01 発信:19日 17:55
岩通
0353705474
決定:保留ボタン
```

待ち受け中に

1 （履歴）を2回押す

着信履歴

```
01 着信:19日 13:22
岩通
0353705474
決定:保留ボタン
```

- 最後にかけた（かかってきた）記録が表示されます。
- 発信（着信）記録がない場合は、「発信（着信）記録はありません」と表示されます。
- を押すと、発信履歴削除の場合は着信履歴表示に、着信履歴削除の場合は発信履歴表示になります。

2 （音量／検索）を押して、削除したいデータを選ぶ

```
02 発信:18日 09:33
鈴木太郎
0312345678
決定:保留ボタン
```

3 （登録メニュー／決定 保留）を押す

```
発信
1件削除
電話帳登録
決定:保留ボタン
```

4 1件削除するには（音量／検索）を押して、「1件削除」を選ぶ

```
発信
1件削除
電話帳登録
決定:保留ボタン
```

4 全件削除するには（音量／検索）を押して、「全体削除」を選ぶ

```
1件削除
電話帳登録
全体削除
決定:保留ボタン
```

5 を押す

記録削除しました

- 削除が完了します。
- 確認音「ピピッ」が鳴ります。

6 2秒後に待ち受け表示に戻る

5 登録メニュー／決定 保留 を押す

削除しますか？
Ｙｅｓ
Ｎｏ
決定：保留ボタン

6 音量／検索 を押して、「Yes」を選び、登録メニュー／決定 保留 を押す

記録削除しました

- 削除が完了します。
- 確認音「ピピッ」が鳴ります。

7 2秒後に待ち受け表示に戻る

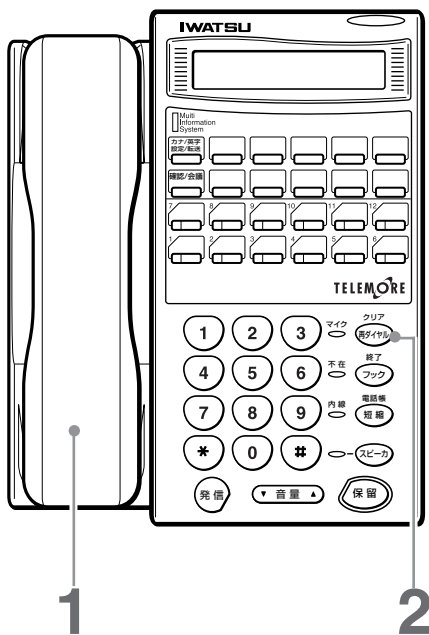
以前にかけた相手にかけ直す（再ダイヤル）

以前にかけた電話番号(短縮ダイヤル、電話帳、履歴などでかけた場合も含む)に、簡単な操作で電話をかけることができます。

記憶する件数：ラストナンバーリダイヤル 最後の1件
発信履歴 最後の5件

また、かけた電話番号を個人、共通短縮ダイヤルに登録することもできます。(➡50ページ)

共通 再ダイヤルする（ラストナンバーリダイヤル） 数字 カナ 大型 漢字

最後にかけた電話番号を1件のみ記憶します。

1 （または スピーカ を押す）

2 再ダイヤル を押す

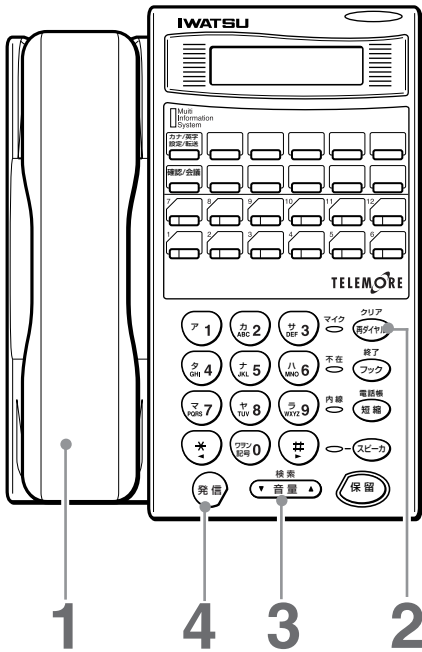
ラストナンバーリダイヤルを消去するには

1 再ダイヤル を押す
2 文字設定/転送 を押す
3 保 留 を押す
4 フック を押す

お知らせ

- 受話器を取って再ダイヤルした場合、相手がお話し中のときは、電話を切らずに 再ダイヤル を押すと、もう1度再ダイヤルし直します。
- 他の電話番号にかけるまで、同じ電話番号に何回でも再ダイヤルできます。
- 受話器を取らずに再ダイヤルした場合、相手がお話し中のとき、 再ダイヤル を押さなくても自動的に最大15回まで再ダイヤルします。(オートリピートダイヤル)(外線にかけた場合のみ)
  構内交換機に接続している場合は、交換機によって相手がお話し中かどうかを検出できないこともあり、オートリピートダイヤルできないこともあります。 取付け時設定
- 電話番号は、最後のケタの#を含めて24ケタまでが記憶されます。

共通　再ダイヤルする（発信履歴）　カナ　大型　漢字

以前にかけた電話番号を最後の5件まで記憶することができます。 取付け時設定

カナ表示付電話機の場合 カナ 漢字

1 （または スピーカ を押す）

2 再ダイヤル を押す

ハッシン　リレキ

3 検索 ▼ 音量 ▲ を押して かけたい相手を選ぶ

0353705470
イワツウ

- ▼ を押すと、新しい履歴順に選びます。
- ▲ を押すと、古い履歴順に選びます。

4 発信 を押す

発信履歴を消去するには

1. 再ダイヤル を押す
2. 検索 ▼ 音量 ▲ を押して消去したい相手を選ぶ
3. 設定/転送 を押す
4. 保留 を押す
5. フック を押す

お知らせ

- 電話帳などで名前を登録した相手にかけた場合の履歴では、登録されている名前が表示されます。
- 短縮ダイヤル(➡30ページ)などでかけた場合も再ダイヤルすることができます。
- 受話器を取って再ダイヤルした場合、相手がお話し中のときは、電話を切らずに 再ダイヤル を押すと、もう1度再ダイヤルします。
- 受話器を取らずに再ダイヤルした場合、相手がお話し中のときは、 再ダイヤル を押さなくても自動的に最大15回まで再ダイヤルします。(オートリピートダイヤル) 取付け時設定 (外線にかけた場合のみ)
  構内交換機に接続している場合は、交換機によって相手がお話し中かどうかを検出できないこともあり、オートリピートダイヤルできないこともあります。 取付け時設定
- 電話番号は最後のケタの # を含めて24ケタまでが記憶されます。
- 手順**2**で 再ダイヤル を2回以上押すと、押すたびに着信通話履歴(➡45ページ)、着信不応答履歴(➡47ページ)の順に表示が変わります。
- 再ダイヤルを中止したいときは、手順**2**または手順**3**で 終了 フック を押します。

大型表示付電話機の場合 大型

1 メニュー を押す

2 ハッシン リレキを押す

コジ゛ンタンシュクダ゛イヤル
ガ゛イセンデ゛ンワチョウ
ナイセンデ゛ンワチョウ
ハッシン リレキ
チャクシン ツウワ リレキ

- 上から新しい順に電話番号が5件表示されます。
- 電話番号の先頭から16ケタを表示します。

3 かけたい相手のワンタッチボタンを押す

イワツウ
0312345678
0353705474
0353705473
0353705475

4 (相手が出たら)

発信履歴の詳細を確認するには

上記の手順 **1**～**2** のあと

1 スピーカ を押す

2 確認/会議 を押す

3 確認したい相手のワンタッチボタンを押す

0353705470
イワツウ

4 スピーカ を押す

発信履歴を消去するには

上記の手順 **1**～**2** のあと

1 スピーカ を押す

2 設定/転送 を押す

3 消去したい相手のワンタッチボタンを押す

4 保 留 を押す

5 スピーカ を押す

お知らせ

- 電話帳などで名前を登録した相手にかけた場合は、電話番号の代わりに登録されている名前が表示されます。
- 以前にかけた電話が4件以下の場合は、電話をかけた件数分の電話番号が表示されます。

かかってきた相手にかけ直す（着信履歴発信）

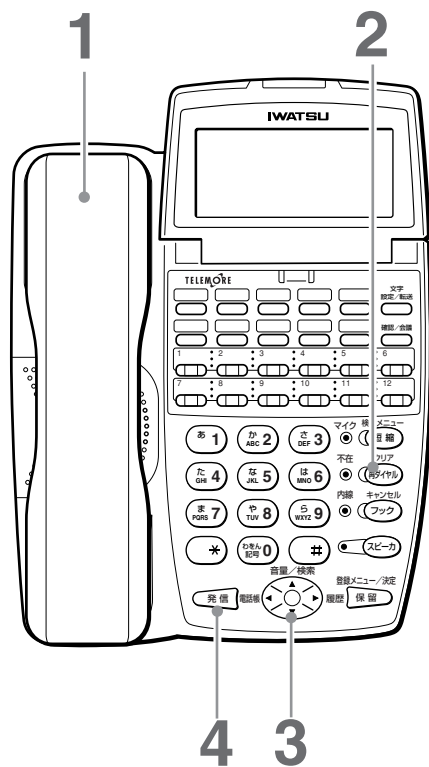
カナ 大型 漢字

外線からかかってきた電話で、電話番号が通知された場合には、その電話番号を記憶します。
コールバックには、以下の3種類があります。

着信通話履歴 .... 電話に応答した場合に記憶されます。（15件）
着信不応答履歴 ..... 電話に応答しなかった場合に記憶されます。（15件）
最後の1件を記憶 .. 数字表示付電話機で電話に応答した場合に記憶されます。（1件） 取付け時設定

電話番号が通知されなかった場合も、履歴を記憶することができます。 取付け時設定
記憶される内容は、ナンバー・ディスプレイ（➡134ページ）を契約している、いないで異なります。
契約している場合には、電話番号が通知されないでかかってきたときに表示される内容（「ヒツウチ」等）を、契約していない場合には、「チャクシンアリ」を記憶します。

外線 着信通話履歴

外線からの電話に応答した場合の相手を選んでかけ直すことができます。最後の15件までを記憶することができます。 取付け時設定

漢字表示付電話機の場合 カナ 漢字

1 （または スピーカ を押す）

2 クリア 再ダイヤル を２回押す

チャクシンツウワ リレキ

3 音量／検索 を押して かけたい相手を選ぶ

0353705470
15:11 イワツウ

- ▼ を押すと、新しい番号から順に選びます。
- ▲ を押すと、古い番号から順に選びます。
- 電話番号とかかってきた時間を表示します。

4 発信 を押す

着信通話履歴を消去するには

1. 再ダイヤル を２回押す
2. 音量／検索 を押して消去したい相手を選ぶ
3. 文字 設定／転送 を押す
4. 保留 を押す
5. フック を押す

お知らせ

- 電話帳などで名前を登録した相手からかかってきた場合の履歴では、登録されている名前も表示されます。
- **TELEMORE-IP**を構内交換機に接続している場合は、手順 **2** の前に、外線を捕捉して外線発信番号（例：0）を押してください。

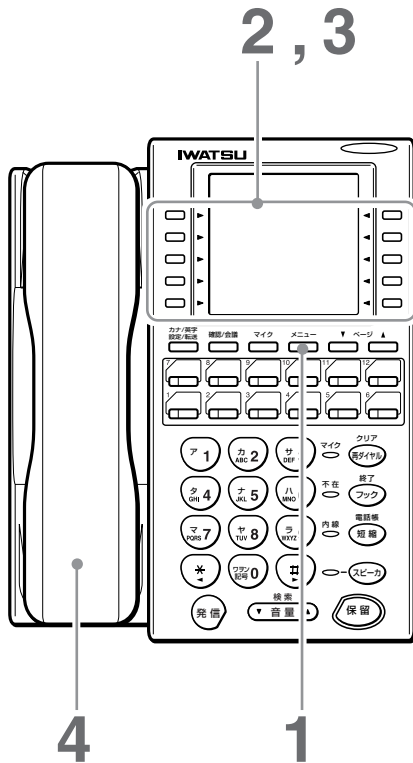
大型表示付電話機の場合 大型

2，3

4　1

1 メニュー を押す

2 チャクシンツウワ　リレキを押す

コジンタンシュクダイヤル
ガイセンデンワチョウ
ナイセンデンワチョウ
ハッシン　リレキ
チャクシンツウワ　リレキ

- 上から新しい順に電話番号が5件表示されます。
- 電話番号の先頭から16ケタを表示します。
- 次の5件を表示するには ▼ページ を押します

3 かけたい相手のワンタッチボタンを押す

イワツウ
0312345678
0353705474
0353705473
0353705475

- 電話帳などで名前を登録した相手からかかってきた場合は、電話番号の代わりに登録されている名前が表示されます。

4 (相手が出たら)

着信通話履歴の詳細を確認するには

上記の手順**1**～**2**で確認したい相手の画面を表示したあと

1 スピーカ を押す

2 確認/会議 を押す

3 確認したい相手のワンタッチボタンを押す

0353705470
15：11　イワツウ

4 スピーカ を押す

着信通話履歴を消去するには

上記の手順 **1** ～ **2** で消去したい相手の画面を表示したあと

1 スピーカ を押す

2 設定/転送 を押す

3 消去したい相手のワンタッチボタンを押す

4 保留 を押す

5 スピーカ を押す

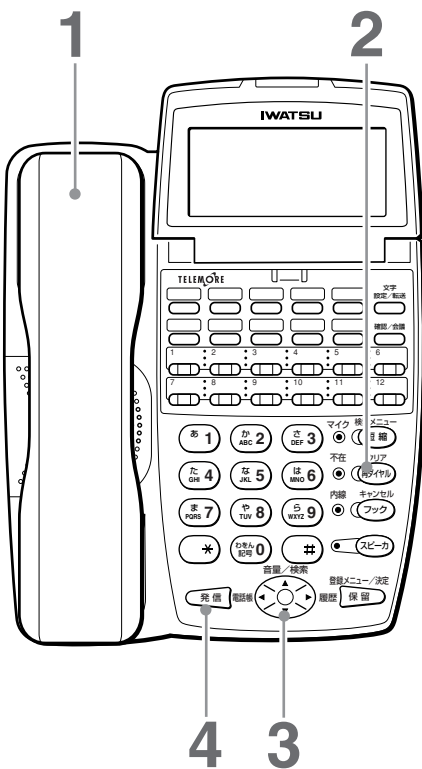
お知らせ

- 以前にかけた電話が4件以下の場合は、電話をかけた件数分の電話番号が表示されます。
- **TELEMORE-IP**を構内交換機に接続している場合は、手順 **3** の前に、外線を捕捉して外線発信番号(例：0)を押してください。

外線

着信不応答履歴

外線からの電話に応答しなかった場合の相手を選んでかけ直すことができます。最後の15件まで記憶することができます。取付け時設定

ドント・ディスターブ(DND)や不在転送、着信転送などを設定しているときにかかってきた通話の履歴は残りません。

漢字表示付電話機の場合 カナ 漢字

1 (または スピーカ を押す)

2 クリア 再ダイヤル を3回押す

チャクシンフオウトウ リレキ

3 音量/検索 を押して かけたい相手を選ぶ

0353705470
15:11 イワツウ

- ▼を押すと、新しい番号から順に選びます。
- ▲を押すと、古い番号から順に選びます。
- 電話番号とかかってきた時間を表示します。

4 発信 を押す

着信不応答履歴を消去するには

1 再ダイヤル を3回押す

2 音量/検索 を押して消去したい相手を選ぶ

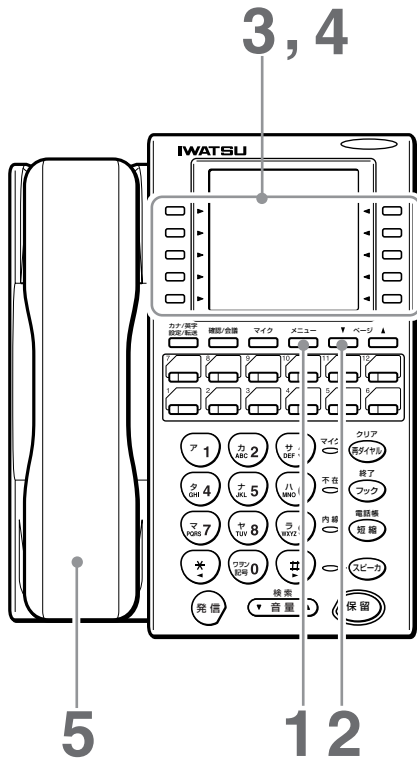
3 文字 設定/転送 を押す

4 保留 を押す

5 フック を押す

お知らせ

- 電話帳などで名前を登録した相手からかかってきた場合の履歴では、登録されている名前も表示されます。
- **TELEMORE-IP**を構内交換機に接続している場合は、手順 **2** の前に、外線を捕捉して外線発信番号(例: 0)を押してください。

大型表示付電話機の場合 大型

1 メニュー を押す

2 ▼ページ を押す

- メニュー画面の2ページ目が表示されます。

3 チャクシンフオウトウ　リレキを押す

チャクシン　フオウトウ　リレキ
コジン　タンシュク　ナマエ
ガイセンデンワチョウナマエ
ナイセン　ナマエ
ハッシンシャ　ナマエ

- 上から順に最新の電話番号が5件表示されます。
- 電話番号の先頭から16ケタを表示します。
- 次の5件を表示するには ▼ページ を押します。

4 かけたい相手のワンタッチボタンを押す

イワツウ
0312345678
0353705474
0353705473
0353705475

- 電話帳などで名前を登録した相手からかかってきた場合は、電話番号の代わりに登録されている名前が表示されます。

5 (相手が出たら)

着信不応答履歴の詳細を確認するには

上記の手順 **1**～**3** で確認したい相手の画面を表示したあと

1 スピーカ を押す

2 確認/会議 を押す

3 確認したい相手のワンタッチボタンを押す

0353705470
15：11　イワツウ

4 スピーカ を押す

着信不応答履歴を消去するには

上記の手順 **1**～**3** で消去したい相手の画面を表示したあと

1 スピーカ を押す

2 設定/転送 を押す

3 消去したい相手のワンタッチボタンを押す

4 保留 を押す

5 スピーカ を押す

お知らせ

- 以前に応答しなかった電話が4件以下の場合は、応答しなかった件数分の電話番号が表示されます。
- **TELEMORE-IP**を構内交換機に接続している場合は、手順 **3** の前に、外線を捕捉して外線発信番号(例：0)を押してください。

外線 最後に応答した電話番号にかけ直す ⊘取付け時設定 数字

数字表示付電話機からは、外線からかかってきて最後に応答した相手を1件のみ記憶して、かけ直すことができます。

1 (または スピーカ を押す)

2 発信 を押す

外線ランプが緑色に点滅します。

3 短縮 を押す

4 9 9 を押す

お知らせ

- 外線から着信、保留、または転送を受けたあと、その通話を切るたびに個人短縮ダイヤルの 9 9 に上書き登録されます。個人短縮ダイヤル 9 9 に電話番号を登録している場合も、登録している電話番号に上書きされますのでご注意ください。
- **TELEMORE-IP**を構内交換機に接続している場合は、手順 **3** の前に、外線発信番号(例:0)を押してください。

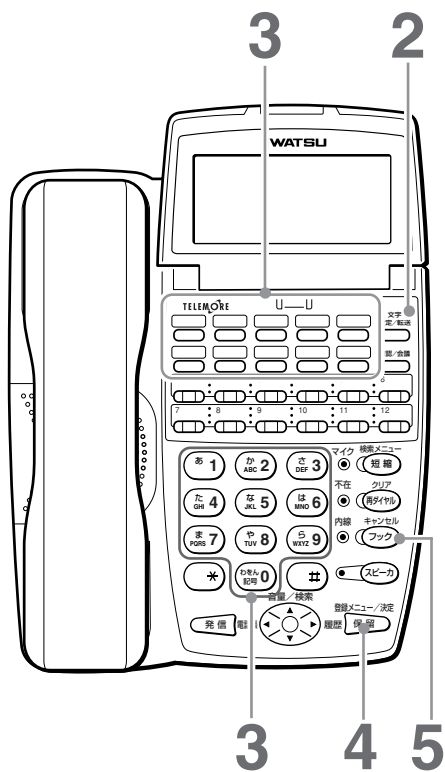
最後に応答した電話番号を確認するには

1. スピーカ を押す
2. 確認/会議 を押す
3. 電話帳 短縮 を押す
4. 9 9 を押す
   最後に応答した電話番号が表示されます。
5. スピーカ を押す

最後に応答した電話番号を消去するには

1. スピーカ を押す
2. 文字設定/転送 を押す
3. 電話帳 短縮 を押す
4. 9 9 を押す
5. 決定/メニュー 保留 を押す
6. スピーカ を押す

発信履歴や着信通話履歴や着信不応答履歴をコピーして短縮ダイヤルに登録する

漢字表示付電話機の場合 カナ 漢字

1 発信履歴、または着信通話履歴または着信不応答履歴を表示させる

- **発信履歴を表示させるには**
  43ページの手順**2**〜**3**を行います。
- **着信通話履歴を表示させるには**
  45ページの手順**2**〜**3**を行います。
- **着信不応答履歴を表示させるには**
  47ページの手順**2**〜**3**を行います。
- **システム着信履歴を表示させるには**
  52ページの手順**1**〜**2**を行います。
- 表示したら、短縮ダイヤルに登録したい電話番号を選びます。

2 文字設定／転送 を押す

- 短縮番号の入力画面が表示されます。

3 登録したい短縮番号を入力する

個人短縮ダイヤル 8 0 〜 9 9

個人短縮ダイヤル 8 0 〜 8 9 の場合はワンタッチボタンを押しても入力できます。

共通短縮ダイヤル 0 0 〜 7 9

システム 0 0 0 〜 7 9 9

取付け時設定

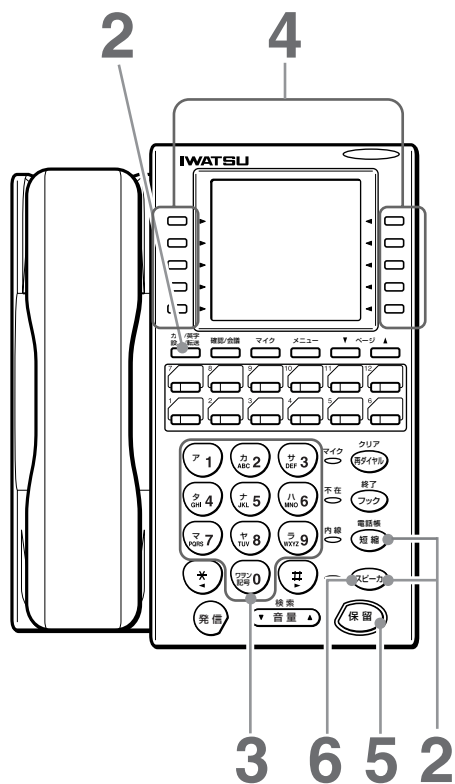
4 登録メニュー／決定 保留 を押す

- 登録完了画面が表示されます。

5 キャンセル フック を押す

お知らせ

- 手順 **3** で間違った短縮番号を入力すると、「トウロクNG」と表示されます。(カナ表示付電話機の場合)
- 共通短縮ダイヤルに登録するには、システム電話機(➡10ページ)で操作してください。

大型表示付電話機の場合 大型

1 発信履歴、または着信通話履歴または着信不応答履歴を表示させる

イワツウ
0312345678
0353705474
0353705473
0353705475

- **発信履歴を表示させるには**
  44ページの手順**1**～**2**で登録したい相手が表示されている画面にします。
- **着信通話履歴を表示させるには**
  46ページの手順**1**～**2**で登録したい相手が表示されている画面にします。
- **着信不応答履歴を表示させるには**
  48ページの手順**1**～**3**で登録したい相手が表示されている画面にします。
- **システム着信履歴を表示させるには**
  56ページの手順**1**～**2**で登録したい相手が表示されている画面にします。

2 スピーカ 設定/転送 短縮 を押す

3 登録したい短縮番号を入力する

個人短縮ダイヤル 80～99

共通短縮ダイヤル 00～79
システム 000～799
取付け時設定

4 登録したい相手のワンタッチボタンを押す

イワツウ
0312345678
0353705474
0353705473
0353705475

- 選択した電話番号が画面の最上段に表示されます。

5 保留 を押す

- 登録完了画面が表示されます。

6 スピーカ を押す

お知らせ

- 共通短縮ダイヤルに登録するには、システム電話機(➡10ページ)で操作してください。

外線

システム着信履歴を表示する／電話をかける

着信履歴には電話機ごとの着信履歴(➡37ページ)と、システムが記録している着信履歴の2種類があります。システムの着信履歴(通話履歴・不応答履歴)は最大200件あります。システム着信履歴でどこから電話がかかってきたかを確認したり、履歴の相手に電話をかけたり、外線電話帳に登録することができます。また、システム着信履歴は同時に複数の電話機から利用できます。

システム着信履歴を確認する カナ 漢字

1 再ダイヤル(クリア) を４回押す

シスﾃﾑﾁｬｸｼﾝ ﾘﾚｷ

- 着信履歴メニューが次の順で表示されます。取付け時設定
  「発信履歴」→「着信通話履歴」→「着信不応答履歴」→「システム着信履歴」
- 漢字表示付電話機の場合は 再ダイヤル の代わりにFFボタンに システム着信履歴検索 を登録してそのボタンを１回押します。

2 音量／検索 を押して履歴を確認する

（名前の登録がある場合）

（名前がない場合：電話番号）

＊：電話に出られなかった場合
＃：擬似話中返し中の外線に電話がかってきた場合

3 発信する場合は 発信 を押す

- 受話器を取って通話する。

お知らせ

- 転送機能で、転送先が応答した時には着信通話履歴が、転送先が応答しなかった時には着信不応答履歴が記録されます。取付け時設定
- 留守番電話機能(留守録モード)で応答した時には着信通話履歴が、応答する前に相手が電話を切った場合には着信不応答履歴が記録されます。取付け時設定

FFキーに システム着信履歴検索 を設定するには

漢字表示付電話機用ではこの設定が必要です。

1 スピーカ 文字設定/転送 を押す

2 設定したいFFキーを押す

3 クリア再ダイヤル を４回押す

4 登録メニュー/決定保留 スピーカ を押す

FFキーに システム着信履歴検索 を設定すると

- 電話に出られなかった場合や、擬似話中返しを設定している外線に電話がかかってきて、システム着信履歴に記録されると、システム着信履歴検索 を赤点灯させて、着信があったことをお知らせすることができます。 取付け時設定
- 1台の電話機でシステム着信履歴を確認する操作を行うと全ての電話機の システム着信履歴検索 ランプが消灯します。

ご注意

- 数字表示付電話機からはシステム着信履歴を使って発信できません。

お知らせ

- 200件を超えた場合は、最も古いデータから消去して、常に最新の200件を記録します。
- システム着信の記録から除外したい外線から特定の内線電話機に着信する場合に有効となります。着信先内線番号を設定します。（システムで最大10個まで）。
- 転送機能で、転送先が応答した時にはシステム着信履歴に、転送先が応答しなかった時にはシステム着信履歴（不応答履歴）に記録されます。 取付け時設定
- 留守番電話機能（留守録モード）で応答した時にはシステム着信履歴に、応答する前に相手が電話を切った場合にはシステム着信履歴（不応答履歴）に記録されます。 取付け時設定

個人短縮ダイヤルに登録するには

1 クリア 再ダイヤル を４回押す

システムチャクシン リレキ

- 着信履歴メニューが次の順で表示されます。取付け時設定
「発信履歴」→「着信通話履歴」→「着信不応答履歴」→「システム着信履歴」
- 漢字表示付電話機の場合は 再ダイヤル の代わりにFFキーに システム着信履歴検索 を登録してそのボタンを１回押します。

2 音量／検索 を押して履歴を確認する

（名前の登録がある場合）

（名前がない場合：電話番号）

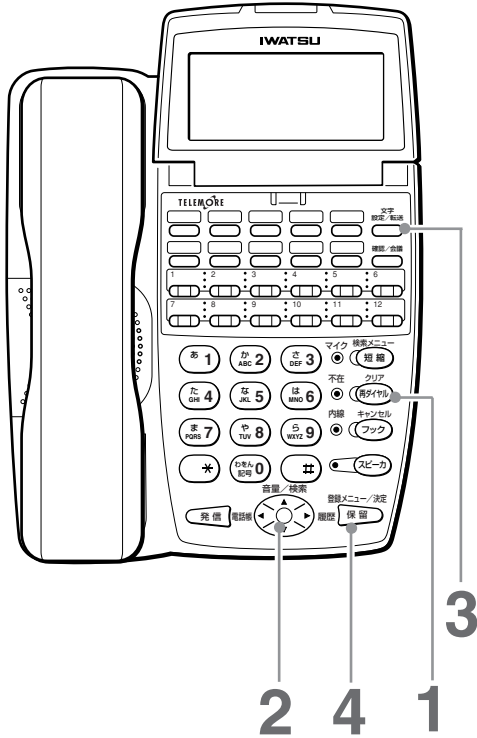
3 文字 設定／転送 を押す

4 登録したい個人短縮番号を押す

5 登録メニュー／決定 保留 を押す

- 登録されます。
- 続けて登録する場合は、手順**2**から繰り返してください。

6 終了したい場合は フック を押す

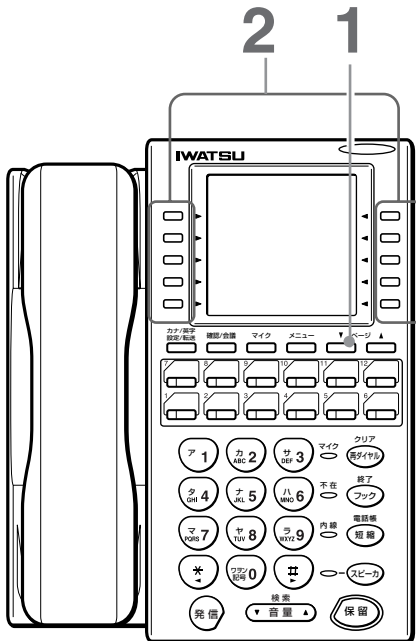
システム着信履歴を消去するには システム

1 クリア 再ダイヤル を４回押す

- 着信履歴メニューが次の順で表示されます。 取付け時設定
  「発信履歴」→「着信通話履歴」→「着信不応答履歴」→「システム着信履歴」
- 漢字表示付電話機の場合は 再ダイヤル の代わりにFFキーに システム着信履歴検索 を登録してそのボタンを１回押します。

2 音量／検索 を押して消去したい履歴を表示する

3 文字 設定／転送 を押す

4 登録メニュー／決定 保留 を押す

システム着信履歴を確認する 大型

1 ▼ページ を 1 回押す

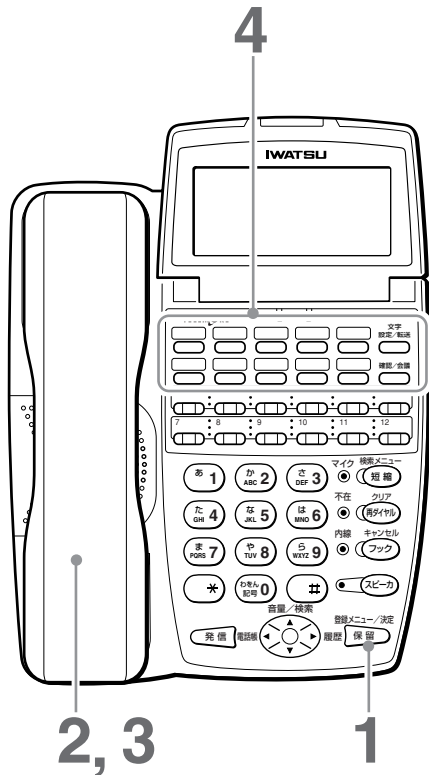
- メニュー画面の2ページ目が表示されます。

2 システムチャクシン リレキを押す

チャクシン フオウトウ リレキ
システムチャクシン リレキ
コジン タンシュク ナマエ
ガイセンデンワチョウナマエ
ナイセン ナマエ

- 上から順に最新の電話番号が5件表示されます。
- 電話番号の先頭から16ケタを表示します。
- 次の5件を表示するには ▼ページ を押します。

保留・転送する

外線 外線を保留・転送する

保留または口頭で取り次ぐ

1 通話中に を押す

● 外線ランプが緑色におそく点滅し、相手には保留音が流れます。

2 （受話器を置く）

通話に戻るとき

3 （受話器を取る）

4 保留中の 外線 を押す 緑色におそく点滅

口頭で転送するとき

3 呼び出したい人に、電話が入っていることを伝える

● 「外線×番に電話です。」

転送を受ける人

4 （受話器を取る）

（または を押す）

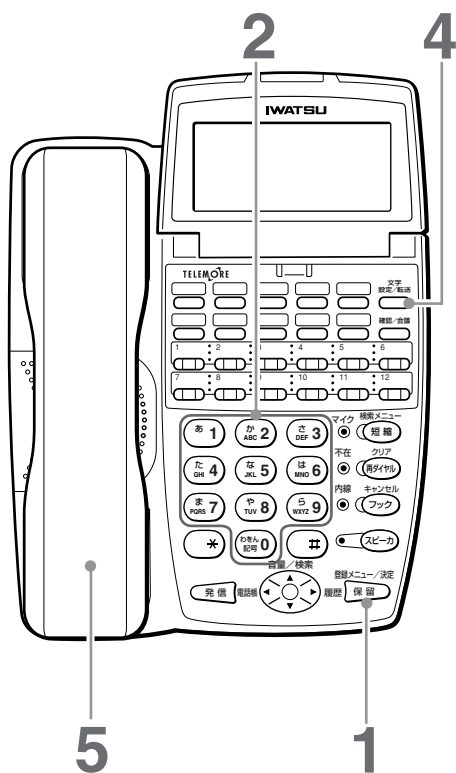
5 保留されている 外線 を押す
赤色点滅

● 保留が解除され、外線の相手と通話できます。

お知らせ

● ISDN回線を使った通話を保留中に、保留相手の方が電話を切ってしまった場合、外線 ランプは消えます。

● ISDN回線で電話をかけた場合には、相手が応答するまでは保留または転送できません。

内線番号で転送する

1 通話中に 登録メニュー／決定 保留 を押す

- 外線ランプが緑色におそく点滅し、相手には保留音が流れます。

2 転送先の内線番号をダイヤルする

3 転送先が応答したら、電話が入っていることを伝える

- 転送先が応答しないときは、保留中の 外線 を押すと、再度外線との通話に戻ります。

4 文字 設定／転送 を押す

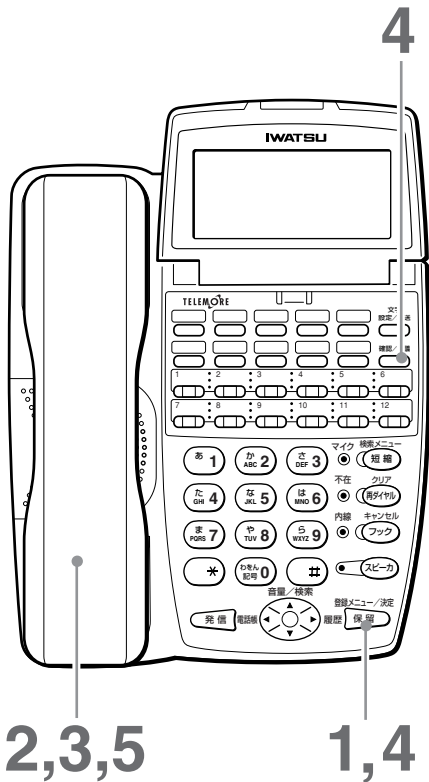
- 電話が転送されます。

5

お知らせ

● 手順 **4** で 設定/転送 を押さなくても、転送することができます。取付け時設定
ただし、外線を保留した後に、違う外線と通話しているときに受話器を置くと、保留した外線は転送されます。

内線

内線を保留・転送する

保留する

1 内線との通話中に 登録メニュー／決定 保留 を押す

- 内線ランプが点滅します。

2 （受話器を置く）

通話に戻るとき

3 （受話器を取る）

（または スピーカ を押す）

4 登録メニュー／決定 保留 を押す

内線番号で取り次ぐ

1 内線との通話中に 登録メニュー／決定 保留 を押す

- 内線ランプが点滅します。

2 転送先の内線番号をダイヤルする

3 転送先が応答したら、電話が入っていることを伝える

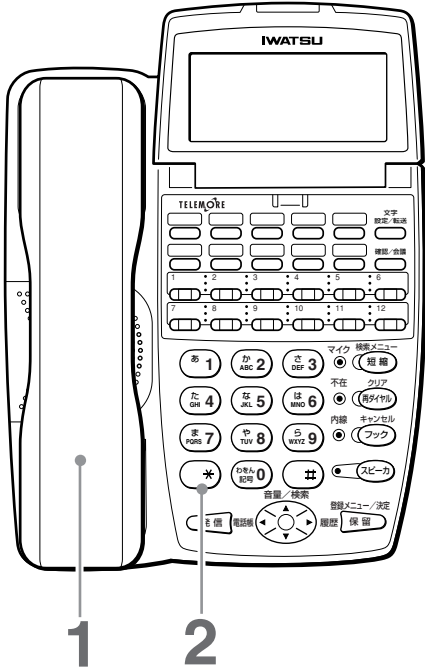
4 確認／会議 を押す

- 3者通話になります。

5 （受話器を置く）

- 通話が転送されます。

他の電話機で内線を受ける（内線代理応答）

呼び出されている電話機に代わって、他の電話機から電話を受けることができます。

1 （または スピーカ を押す）

2 ＊＊ を押す

● 内線を受けられます。

お知らせ

● 同一呼出グループ内の電話機のみ代理応答できます。

● ドアホンからの呼び出しに対しても代理応答できます。

● 内線ハンズフリー応答設定時（➡63ページ）の音声呼出には代理応答できません。

電話をかけるときの機能

外線　外線を指定して電話をかける

0発信グループ(➡188ページ)以外の外線を使って電話をかける場合は、以下の方法で行います。

1 （または スピーカ を押す）

2 使いたい 外線 を押す

● 外線ランプが緑色に点滅します。

3 電話番号をダイヤルする

電話（アナログ）回線でお使いの場合は、手順 **4** の操作は不要です。

4 ＃ を押す

● 手順**2**で、外線を押す代わりに、以下の方法で使いたい外線を指定することもできます。

・外線発信番号(0、9 4、9 5、9 5)を押す。

・＊と指定する外線の外線番号(0 1〜0 8)を押す。

共通

受話器を取るだけで外線をつかむ（空外線自動捕捉）

取付け時設定

取付け時に空外線自動捕捉を設定しておくと、外線の場合は受話器を取って電話番号をダイヤルするだけで電話をかけることができます。
空外線自動捕捉を設定すると、電話をかける操作が異なりますのでご注意ください。

電話（アナログ）回線でお使いの場合は、電話番号のあとの（#）は不要です。

操作例

項目		手順	参照ページ
外線	外線へ電話をかける	受話器➡電話番号➡（#）	24
	短縮番号でかける（個人短縮ダイヤル・共通短縮ダイヤル）	受話器➡（短縮）➡短縮番号	30
	以前にかけた電話番号に電話をかける（再ダイヤル）	受話器➡（再ダイヤル）	42
	外線を指定して電話をかける	（スピーカ）➡受話器➡使いたい（外線）➡電話番号➡（#）	61

空外線自動捕捉を設定すると、内線のかけ方も以下のように変わります。

項目		手順	参照ページ
内線	内線へ電話をかける	（スピーカ）➡受話器➡内線番号	25
	音声で一斉またはグループ別に内線を呼び出す	（スピーカ）➡受話器➡（#）➡呼出番号	73

電話を受けるときの機能

内線　内線音声呼出に受話器を取らずに応答する（内線ハンズフリー応答）

音声で内線が呼び出されたときに、受話器を取らずに応答できます。（内線ハンズフリー応答）
手が離せない作業をしているときなどに便利です。

内線ハンズフリー応答を設定する

1 （スピーカ）を押す

2 検索メニュー（短縮）を押す

3 （＃）（0）を押す
●マイクランプが点灯します。

4 （スピーカ）を押す

解除するには

上記と同じ操作を行ないます。手順**3**でマイクランプが消えます。

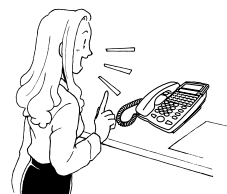
大型表示付電話機では

（マイク）を押すだけで内線ハンズフリー応答を設定・解除することができます。

内線ハンズフリー応答を設定すると

内線音声呼出(➡25ページ)されたときは、この方法で応答できます。
受話器を取って応答することもできます。

1 呼び出されると電話機から音声が聞こえる
● マイクランプと着信ランプが点滅します。

2 マイクに向かって話す
● 受話器を取って通話することもできます。

お知らせ

● 内線ハンズフリー応答での通話は、保留にすることはできません。
● ハンズフリー応答通話中は転送を受けることができません。受話器を取って応答してください。

外線

発信者番号により、着信先や着信音を指定する（鳴り分け着信）

電話がかかってきたとき、通知される相手の電話番号によって鳴る電話機と着信音を指定することができます。着信音を変えて発信者を判別したり、発信者によって転送を行ったりすることもできます。

鳴り分け着信でできること

電話をかけてきた相手によって……

● **鳴る電話機を指定できる**
指定した電話機を鳴らすだけでなくダイヤルイングループ着信を利用することで、特定のグループ（部・課等）の複数の電話機を鳴らすこともできます。

● **着信音を指定できる**
発信者によって着信音を選択できます。着信音を聞いただけで、誰から電話がかかってきたかわかります。

● **転送する／しない、を指定できる**
特定の電話番号のみ転送したり、転送させないようにすることができます。（「VIP転送」➡161ページ参照）

鳴り分け着信を使うためには……

● この機能を使うためには、外線からかかってきた電話の電話番号が、共通短縮ダイヤルに登録されている必要があります。
共通短縮ダイヤルの登録（➡109ページ）の際に、着信音と鳴る電話機の選択をします。電話をかけて来た相手によって転送する／しないも同様に、共通短縮ダイヤルの登録によって設定します。
この操作はシステム電話機（➡10ページ）で行います。

ご注意

● 電話（アナログ）回線から発信者番号通知と番号非通知サービスを受けるには、NTT「ナンバー・ディスプレイ」の契約が必要です。

● ISDN 回線をお使いの場合は、電話をかけてきた相手が ISDN 回線のときは契約なしでも発信者番号が通知されます。（➡138 ページ）

お知らせ

● 着信先が不在転送を設定している場合は、転送先に転送します。

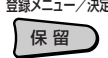
● 鳴り分け着信の設定は、ダイヤルイン着信設定、i・ナンバー設定よりも優先されますが、ISDN回線のサブアドレス着信の方が鳴り分け着信より優先されます。

● 電話(アナログ)回線では、グループ着信はできません。

● 発信者が番号非通知の場合(公衆電話など非通知理由が通知される場合も含む)でも、鳴り分け着信の設定を行うようにすることができます。共通短縮ダイヤル番号は3ケタで設定されている必要があります。取付け時設定
番号非通知の場合、共通短縮番号の797～799番が、非通知時の着信先の設定に使われるため、電話帳としては使用できません。
・797：発信者の番号が通知されない場合。非通知の理由が発信者が拒否した場合。
・798：非通知の理由が公衆電話の場合。
・799：非通知の理由がNTTのサービス提供不可の場合、またはサービスが競合している場合。

外線

擬似話中返し

ISDN

設定する

1 受話器を取る

2 着信をコントロールしたい外線の 外線 を押す

● 外線ランプが緑色点灯し、ダイヤルトーン「ツー」が聞こえます。

3 登録メニュー／決定 保留 を押す

● 外線ランプが緑色点滅になり、他の電話機の外線ランプは赤色点滅になります。
● 設定すると、その外線にかけた相手には「ツーツー」音（話中音）が聞こえます。

4 受話器を戻す

解除するには

1 → 2 解除したい外線の → 3

外線ランプは緑色点灯になります。

外線ランプは消灯し、他の電話機の外線ランプも消灯します。

ご注意

● ISDN 回線 1 本に対して、外線ボタンを 3 つ割り当てている場合（バーチャルラインキー ➡167 ページ参照）、そのうち 2 つを擬似話中返し設定すると、もう 1 つの外線ボタンも赤色点灯表示となり、着信をコントロールしますので、ご注意ください。

操作のヒント

● 受話器を取る／戻すの代わりに、スピーカ を押しても操作できます。
● 複数の外線の使用を中止したい場合は、外線数分、擬似話中返し設定する操作を行ってください。

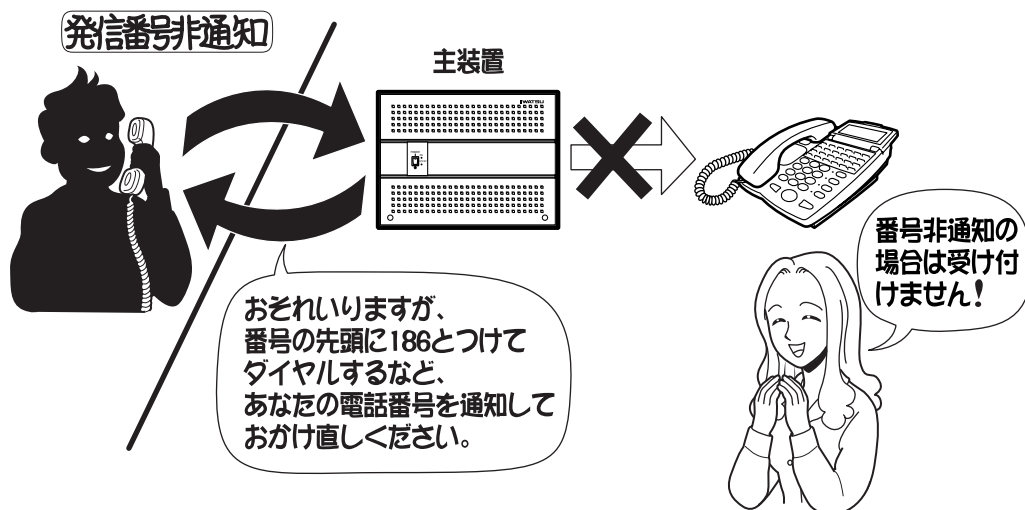
お知らせ

● 擬似話中返しを設定した局線へ電話がかかった場合、システムには着信履歴が記録されます。
電話機ごとの着信不応答履歴には記録されません。漢字表示付電話機の履歴にも記録されません。

● FFキーに システム着信履歴検索 を設定していると、電話に出られなかった場合や、擬似話中返しを設定している外線に電話がかかってきて、システム着信履歴に記録されると、 システム着信履歴検索 を赤点灯させて、着信があったことをお知らせすることができます。
取付け時設定
1台の電話機でシステム着信履歴を確認する操作を行うと全ての電話機の システム着信履歴検索 ランプが消灯します。（➡52、53ページ）

外線

迷惑電話の着信を拒否する（迷惑電話防止機能）

発信者番号を通知しない相手や、拒否登録した電話番号の相手などの外線相手から電話がかかってきたとき、電話を受けないようにして迷惑電話を防止することができます。これらの相手から電話がかかってきたときに、メッセージを流すよう設定することができます。取付け時設定
拒否登録する電話の種類や、相手に流すメッセージの種類は取付け時に設定します。

迷惑電話防止を設定する

1 待ち受け中に
迷惑電話防止 を押す

- 迷惑電話防止ランプが点灯します。
- 迷惑電話防止 は、右記の方法でどんな着信を拒否するか、あらかじめFFボタンに設定しておく必要があります。

迷惑電話防止を解除するには

1 待ち受け中に点灯している 迷惑電話防止 を押す

- 迷惑電話防止ランプが消灯します。

FF キーに迷惑電話防止機能を設定する

1 スピーカ 文字 設定／転送 を押す

2 設定したい FF キーを押す

3 下記の設定番号と 保留 を押す

＊ 8 3 1：非通知着信を拒否
＊ 8 3 2：拒否登録した発信者番号からの着信を拒否

4 スピーカ を押す

■ FFキーに登録した迷惑電話防止を削除するには、手順**3**を除いて操作します。

着信を受け付けない外線相手の電話番号を登録（拒否登録）する

最大60件登録できます。着信履歴から登録する場合は、60件を超えて登録しようとすると、内線話中音(プープープー)が聞こえ、登録できません。下記のFFキーの登録は、＊ 8 3 2で登録してください。

通話中の相手を登録するには

1 外線通話中に 迷惑電話防止 を押す

- 発信者番号が通知されてかかってきた場合にのみ登録可能です。

登録した電話番号を確認するには 漢字 カナ 大型

1 スピーカ → **2** 迷惑電話防止 → **3** 確認／会議 →
4 次の電話番号は 音量／検索 → **5** スピーカ

着信履歴から登録するには

最後に応答した相手の電話番号を登録します。

1 スピーカ → **2** 迷惑電話防止 → **3** 設定／転送 → **4** スピーカ

登録した電話番号を消去するには 漢字 カナ 大型

1 スピーカ → **2** 迷惑電話防止 → **3** 確認／会議 → **4** 音量／検索 で選択 →
5 迷惑電話防止 → **6** 保留 → **7** スピーカ

お知らせ

- オプションの通話録音ユニットをお使いの場合にご利用できる機能です。
- メッセージ応答ではなく話中音を流すこともできます。取付け時設定
- NTTとナンバーディスプレイサービスの契約が必要です。
- 設定により、「番号非通知」「公衆電話」「表示圏外」すべて拒否するか、「番号非通知」のみ拒否するかを選択できます。取付け時設定
- メッセージの送出回数を、1回〜5回から設定できます。取付け時設定
- 迷惑電話防止により拒否した着信に対しては、システムの着信履歴(不応答)に記憶されます。
- 迷惑電話防止機能をご利用になった非通知でのファクス信号(CNG信号)によるファクスへの転送機能はご利用になれません。
- 着信を受け付けない相手には以下のメッセージが流れます。

番号非通知の相手	おそれいりますが、電話番号の先頭に186とつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直しください。
公衆や表示圏外の相手	おそれいりますが、電話番号が通知されていないためこの電話はお受けできません。電話番号が通知される電話からおかけ直しください
拒否登録した相手	この電話はお受けできません。ご了承ください

通話中の機能

外線　特定のグループへ転送する　取付け時設定

転送する相手の居場所がはっきりしない場合に、グループ別またはすべての電話機を音声で呼び出して転送します。

1　通話中に を押す

● 外線ランプが緑色におそく点滅します。

2　# を押す

3　呼出番号を押す

0 ： 一斉呼出
1 ： 第1グループ
2 ： 第2グループ
3 ： 第3グループ
4 ： 第4グループ
9 ： 外部スピーカ（➡178ページ）

4　転送する相手を呼び出す

「○○さん電話です」
● 内線ランプが点灯します。

転送を受ける人

5　 を押す

6　（転送先が応答したら）文字 設定／転送 を押す

● 外線ランプが赤色に点灯します。

7　

● 電話が転送されます。

お知らせ

● 転送する人は手順**6**の 操作を省いても通話を転送することができます。　取付け時設定

外線

プッシュ信号を送る

通話中にプッシュ信号を送ることができます。航空券の予約や銀行の残高照会などにご利用になれます。
ISDN回線をお使いの場合は、そのままプッシュ信号を送ることができます。通話中にサービス先のアナウンスに従ってダイヤルボタンを押します。

電話（アナログ）回線のダイヤル回線をお使いの場合は、下記の操作を行います。

1 外線のサービス先に電話をかける

2 電話がつながったら、＊または#を押す

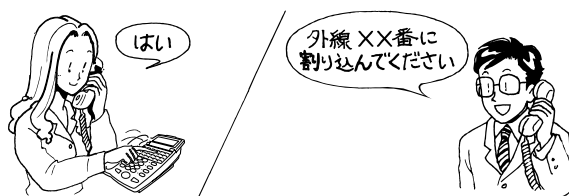
- プッシュ信号が送れるようになれます。
  ＊または#は、プッシュ信号として送出されることはありません。
- 以降の操作は、サービス先のアナウンスに従ってください。

お知らせ

- 取付け時の設定により、＊または#を押さなくてもプッシュ信号を送ることができます。 取付け時設定

外線

外線通話に割り込む

通話中に他の人を割り込ませる方法（秘話解除）と、他の人が外線と通話中に割り込んで通話する方法（バージ・イン）の2種類があります。

他の人を割り込ませる（秘話解除）

外線通話中に他の人を割り込ませて、3人で通話することができます。

1 外線通話中に 確認/会議 を押す

2 割り込む人に 外線 の番号を知らせる

割り込む人

3 （受話器を上げる）

4 割り込みたい 外線 を押す（赤色点灯）

5 ３人で通話する

お知らせ

- 手順**1**～**4**は15秒以内で行ってください。15秒を超えてしまった場合は、手順**1**からやり直してください
- 外線通話に割り込ませられる電話機は1台のみです。
- 会議通話中(➡72ページ)は、秘話解除はご利用になれません。

外線通話に割り込む（バージ・イン） 取付け時設定

外線通話割込を設定した電話機から、通話中の外線に割り込んで通話することができます。

1 （割り込む人が）

2 割り込みたい 外線（赤色点灯） を押す

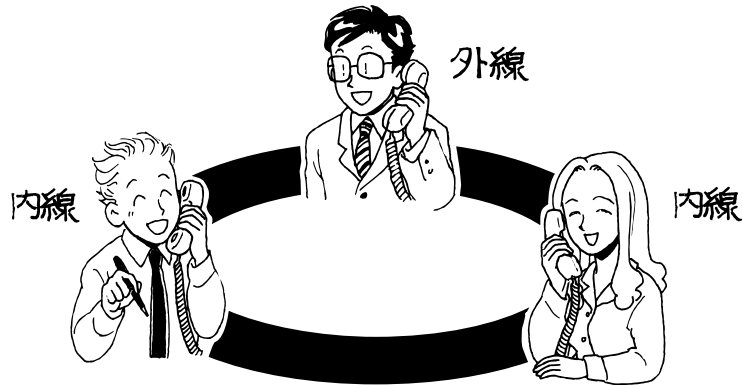
お知らせ

- 外線通話に割り込める電話機は1台のみです。
- 割り込んだときに、割り込まれた人には割り込んだ電話機の内線番号が表示されます。

応用操作編

通話中の機能

共通　３人で会議通話をする

外線または内線との通話中に、別の内線（第3者）の人を加えて3人で通話することができます。

1　通話中に 登録メニュー／決定 保留 を押す

● 通話が保留になります。

2　加える人（第３者）の内線番号をダイヤルする

3　加える人（第３者）が電話に出たら、確認／会議 を押す

● 会議状態（3人で通話できる状態）になります。

お知らせ

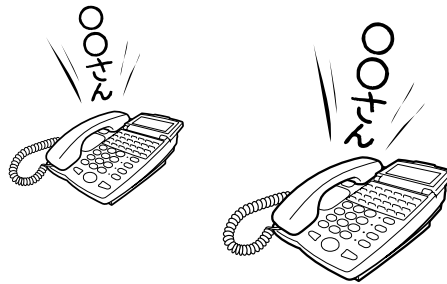
● 会議通話は**TELEMORE-IP**内で同時に2組までできます。

● 会議通話中は通話を保留にできません。

● 外線2人と内線1人では会議通話できません。

● 会議通話中はプッシュ信号を送出できません。

音声で一斉またはグループ別に内線を呼び出す 取付け時設定

内線から特定のグループ別、またはすべての電話機でスピーカーから呼び出すことができます。

1 （または スピーカ を押す）

2 # を押す

3 呼出番号を押す

0 ：一斉呼出
1 ：第1グループ
2 ：第2グループ
3 ：第3グループ
4 ：第4グループ
9 ：外部スピーカ（➡178ページ）

● 内線ランプが点灯します。

4 相手を呼び出す

5 （呼び出された相手が）

6 （呼び出された相手が） # # を押す

● 呼び出した相手と通話できます。

お知らせ

● 手順**4**で、お話し中の電話機は音声呼出できません。

● 外部スピーカを設定中は、手順**3**で一斉呼出すると外部スピーカでも呼び出すことができます。

● 外部スピーカの場合、予告音を出すこともできます。予告音を出すまでの時間は変えられます。取付け時設定
予告音のあとに呼び出してください。

かかってきた電話を他の電話機に転送する(不在転送)

席を離れるときにあらかじめ設定しておくと、外線または内線(ドアホンは除く)がかかってきた場合は別の内線電話機に転送することができます。

不在転送を設定する

1 スピーカ を押す
- スピーカランプが点灯します。

2 9 0 を押す

3 転送先の内線番号を押す
- 不在ランプが点灯します。

4 スピーカ を押す
- スピーカランプが消灯します。

不在転送を解除するには

1 スピーカ を押す

2 9 0 を押す

3 # を押す
- 不在ランプが消灯します。

4 スピーカ を押す

お知らせ

- 夜間に不在転送するときなどに、不在転送先に留守番電話を指定しておくと、電話がかかってきたときにメッセージを録音することができます。
- 不在転送は、ドントディスターブ(DND)(➡75ページ)、着信転送(個別着信)(➡149ページ)と同時に設定できません。
- 転送先の内線番号を押すときに、不在転送やドントディスターブ(DND)されている電話機を指定できません。
- 手順**2**は * 9 0 とすることもできます。取付け時設定
- 不在転送できる外線からの着信は、通常の着信、ダイレクト・イン・ライン、NTTダイヤルイン、サブアドレスの着信です。ただし、通常の外線からの着信は不在転送しないようにすることもできます。取付け時設定

かかってきた電話をつながらないように設定する（ドント・ディスターブ（DND））

設定しておくと、席を離れたときや電話に出られないときに、外線または内線（ドアホンを含む）からかかってきても着信音が鳴りません。

ドント・ディスターブ（DND）を設定する

1 スピーカ を押す
- スピーカランプが点灯します。

2 9 0 を押す

3 ♯ を押す
- 不在ランプが点灯します。

4 スピーカ を押す
- スピーカランプが消灯します。

ドント・ディスターブ（DND）を解除するには

1 スピーカ を押す

2 9 0 を押す

3 ♯ を押す
- 不在ランプが消灯します。

4 スピーカ を押す

お知らせ

- ドント・ディスターブ（DND）を設定中は、外線からかけた人には呼び出している音が聞こえます。内線からかけた人にはお話し中の音（ツーツーツー）が聞こえます。
- ドント・ディスターブ（DND）は、不在転送（➡74ページ）、着信転送（個別着信）（➡149ページ）と同時に設定できません。
- 手順**2**は ＊ 9 0 とすることもできます。取付け時設定
- ドント・ディスターブ（DND）を設定していると、外線から電話がかかってきても着信音が鳴らないものは、通常の着信、ダイレクト・イン・ライン、NTTダイヤルイン、サブアドレスの着信です。

ルームモニターを使う

外出先から電話をかけ、室内の音を聞いて室内の様子をチェックしたり、スピーカーで呼びかけることができます。
ルームモニターを行うには、サブアドレス通知サービスを利用する場合と、ISDN回線着信時のシステム自動応答による場合の、2つの方法があります。この機能は、アナログ回線での利用はできません。

サブアドレスを利用する

1 サブアドレス通知ができる電話機で
外出先から電話をかける

サブアドレス変更パスワード（4ケタ） → → ルームモニターパスワード(4ケタ)

→モニターしたい電話機の 内線番号 を押す

2 着信すると室内側は自動応答し、
ルームモニター状態になる

- 着信ランプは点滅しません。
- 室内の音を聞いたり、声をかけたりすることができます。

操作のヒント
- 指定したパスワード等が間違っていた場合、回線が切断されます。

ルームモニター状態を終了するには

ルームモニター状態は、以下の操作が行われると終了します。
- 発信者が電話を切る。
- ルームモニター状態の電話機が受話器を上げたあと、受話器を戻す。

お知らせ
- ルームモニターを行うには、モニターしたい電話機を内線ハンズフリー応答（➡63ページ）に設定しておく必要があります。（マイクランプが点灯状態）
設定していない場合は、呼びかけることはできますが室内の音を聞くことはできません。
- ルームモニター中の内線電話機の受話器を取ると、ルームモニターが解除され、通常の通話状態となります。受話器を戻すとルームモニター状態は終了します。
- 指定した内線電話機が使用中の場合はルームモニターできません。
- 不在設定・不在転送を設定している場合でもルームモニター状態にすることができます。
- ダイヤルインやｉ・ナンバーでの自動転送設定がされていても、ルームモニターができます。
- サブアドレス変更パスワードとルームモニターパスワードは取付け時設定です。 取付け時設定

システム自動応答を利用する

1 プッシュ信号を出せる電話機で

外出先から電話をかける

2

着信する

室内側は電話が鳴り、一定時間経過後、自動応答する

- 応答通知音「ププッププッ」が聞こえます。

3

以下の番号を押す

→ ルームモニターパスワード(4ケタ)

→モニターしたい電話機の 内線番号 を押す

4 室内側は

ルームモニター状態になる

- 着信ランプは点滅しません。
- 室内の音を聞いたり、声をかけたりすることができます。

操作のヒント

- 一定時間内（15秒）にプッシュ信号による入力がない場合、回線が切断されます。
- パスワード等が間違っていた場合、回線が切断されます。
- 着信転送などの転送機能が設定されている場合でも、ルームモニター状態にできますが、ルームモニターへの移行時間の設定が長いと、転送機能が動作し、ルームモニターができなくなります。

- 着信後にルームモニターに移行する一定時間を、即時、20～60秒の間で設定できます。

ACR 機能を使って電話をかける

ACRとは、自動的に特定の電話会社に接続する機能のことです。NCC(新電電)各社と契約している場合、通常の外線へかけるときと同じ操作で自動的に電話会社を選択して発信することができます。

1 通常の電話をかけるときと同じ操作で市外電話をかける

ACR 機能について

- 電話会社の選択は、設定によって行います。設定は、①昼間、②夜間(土、日、祝日、および平日の夜間)、③深夜の3種類の時間帯に分けています。取付け時設定
- 再ダイヤル、短縮ダイヤル等でかけるときにもACR機能が働きます。
- 電話をかけるときに、NCCのアクセス番号に続けて相手の電話番号をダイヤルしたときも、NCCの回線を使って発信します。
- ACR機能を利用できない電話機を設定することができます。取付け時設定
- ビル電話回線でも、0発信のあとの市外局番によりACR機能を使うことができます。

ACR 機能をお使いになれない場合

以下の場合は、通常のNTTの発信となります。

- プッシュホン式の単独電話機をお使いの場合
- 携帯電話、PHS、自動車電話、船舶用電話など
- 国際電話
- 177番など、1ケタ目が「1」であるNTTサービス番号
（市外局番のあと、1ケタ目が「1」の場合もお使いになれません）
- 9 4または 9 5で指定した外線を捕捉して発信した場合
（9 6で発信した場合はACR機能をお使いになれます）

お知らせ

- 外線（または 発信 ）を押して発信するときに、ACR機能を利用するかどうかを取付け時に設定できます。
取付け時設定
- 料金表示は、NCC回線を使って発信した場合も、NTT回線を使って発信した場合と同じ料金が表示されます。また、自動付加されたNCCアクセス番号は表示されません。なお、漢字表示タイプ、カナ表示タイプ、大型表示タイプの液晶表示部に、使用したNCCの会社名が表示されます。(➡21ページ)
- ACR機能をお使いになった場合、お使いにならない場合に比べてダイヤルされるまでに少し時間がかかります。
- 市外電話サービス以外(クレジットコールなど)のNCCサービス番号を記憶させるときは、プッシュ信号に切り換える操作を記憶させる必要があります。
- NCCアクセス番号と電話番号を短縮ダイヤルに登録する場合、NCCアクセス番号のあとにポーズを記憶させる必要はありません。
- ACR機能を使わないで発信したいときは、9 4または 9 5で指定した外線を捕捉して発信すると、その通話に限りNTT回線を使って発信します。

タイムコールを設定する

タイムコールを設定しておくと、その電話機から指定した時刻にタイムコールを鳴らすことができます。

1 (スピーカ) を押す

2 (＊)(8)(7) を押す

3 タイムコールを設定する時刻を押す

- 設定したい時間、分を入力してください。
  （例：午後1時30分の場合 (1)(3)(3)(0)）
- 24時間制で4ケタの数字を入力してください。

4 登録メニュー／決定 (保留) を押す

5 (スピーカ) を押す

お知らせ

- タイムコール時刻を変更する場合は、手順**1**からやり直してください。
- 設定したタイムコール時刻を確認するには、手順**1**と手順**2**の操作を行います。設定した時刻を確認したら、(スピーカ) を押して表示を戻してください。
- タイムコールの設定を解除するには、手順**3**の操作を抜いて行ってください。

指定した時刻になると

1 タイムコールが鳴る ➜ **2** (スピーカ) を押す
タイムコールが止まります。

お知らせ

- 手順**2**で (スピーカ) を押す代わりに受話器を取ってから戻してもタイムコールを止めることができます。
  （タイムコールを止めなければ、約16秒後に自動的に止まります。）

お知らせ

- タイムコールが鳴ると、タイムコールの設定は解除されます。再度タイムコールを鳴らしたい場合は、そのたびに設定し直してください。
- タイムコールの設定は、単独電話機または停電中の停電用電話機では設定できません。

受話器を戻したときの表示画面を設定する 大型

通話を終えたときなど、受話器を戻したときに表示する画面を設定できます。

1 表示したい画面を呼び出す

● 設定できる画面と画面の呼び出し方は、下記の「設定できる画面について」をお読みください。

2 スピーカ を押す

3 文字設定/転送 を押す

4 ＃ ＃ を押す

5 スピーカ を押す

解除するには

1 スピーカ → 2 文字設定/転送 → 3 ＃ → 4 確認/会議

設定できる画面について

受話器を戻したときの画面は、以下の6種類に設定することができます。

メニュー画面

（画面3種類）

操作：メニュー ➡ ▼ページ▲

```
ｺｼﾞﾝﾀﾝｼｭｸﾀﾞｲﾔﾙ
ｶﾞｲｾﾝﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ
ﾅｲｾﾝﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ
ﾊｯｼﾝ ﾘﾚｷ
ﾁｬｸｼﾝ ﾂｳﾜ ﾘﾚｷ
```

個人短縮画面

2画面から選択することができます。

操作：メニュー ➡ワンタッチボタン1または6

```
ｲﾜﾂｳ      ○○ｴｲｷﾞｮ
ｻﾄｳ       △△ｴｲｷﾞｮ
ｶﾄｳ       XXｴｲｷﾞｮ
ｳﾁﾀﾞ      ○○○○ｴｲｷ
ﾆｼﾑﾗ      △△△ｴｲｷﾞ
```

外線電話帳目次画面

（画面2種類）

操作：メニュー ➡ワンタッチボタン2または7

```
ｱｰｵ    ﾊｰﾎ
ｶｰｺ    ﾏｰﾓ
ｻｰｿ    ﾔｰﾝ
ﾀｰﾄ
ﾅｰﾉ
```

内線電話帳目次画面

（画面2種類）

操作：メニュー ➡ワンタッチボタン3または8

```
A-C    P-S
D-F    T-V
G-I    W-Z
J-L
M-O
```

発信履歴画面

（画面1種類）

操作：メニュー ➡ワンタッチボタン4または9

```
ｲﾜﾂｳ
ｻﾄｳ
ｶﾄｳ
ﾆｼﾑﾗ
0353705474
```

着信通話履歴/着信不応答履歴画面

（画面1種類）

操作：

着信通話履歴

メニュー ➡ワンタッチボタン5または10

着信不応答履歴

メニュー ➡ ▼ページ ➡ワンタッチボタン1または6

```
0353705474
ﾁｬｸｼﾝｱﾘ
ｶﾄｳ
ｲﾜﾂｳ
0353705473
```

FF キーに機能を設定する

外線ボタンに設定していないFFキーは、機能を設定して機能ボタンとして使うことができます。

1 スピーカ を押す

2 文字設定／転送 を押す

3 設定したい FF を押す

4 設定したい機能の設定番号を押す

- 設定番号については、「FFキーに設定できる機能」（➡82ページ）をお読みください。
- 最大4ケタまで入力できます。

5 登録メニュー／決定 保留 を押す

- 「プー」という音が聞こえたら、設定は完了です。
- 続けて設定するときは手順**2**〜**5**を行います。

6 スピーカ を押す

消去するには

上記の操作で手順 **4** を抜いて操作します。

設定番号を確認するには

1 スピーカ を押す ➜ **2** 確認／会議 を押す ➜ **3** 確認したい FF を押す 設定番号を確認します。 ➜ **4** スピーカ を押す

FF キーに設定できる機能

[指] 指定電話機でのみ設定できます。
[取] 取付け時に設定が必要です。
[漢][カナ大] 漢字、カナ、大形表示付電話機でのみ設定できます。
[数] 数字表示付電話機でのみ設定できます。
※これらのマークのないものは、 どのデジタル多機能電話機からも設定できます。

機　能	設定番号	参照ページ
内線で呼び出す（信号音呼出）	内線番号	25
内線で呼び出す（音声呼出）	内線番号と (1)	25
ドント・ディスターブ（DND）	(9)(0)(#)	75
不在転送	(9)(0) 内線番号	74
ドント・ディスターブ（DND）の解除	(9)(0)(#)	75
不在転送の解除		74
ドアホンAに応答	(9)(1)	181
ドアホンBに応答	(9)(2)	181
[取] 外線特番捕捉	(9)(4)～(9)(6)	24
[指] 電話機別の通話料金の集計確認	(＊)(4) 内線番号	130
[指] 全電話機の通話料金の集計	(＊)(4)(9)	130
[指] 時刻変更	(＊)(5)(0)	122
[指] 年月日変更	(＊)(5)(1)	122
[指] 昼間/夜間モード切換	(＊)(8)(0)	123
[指] 夜間1に切換	(＊)(8)(1)	123
[指] 夜間2に切換	(＊)(8)(2)	123
[指] 多目的リレー制御	(＊)(6)(1)	182
[取] 電気錠A施錠/解錠	(＊)(6)(7)	182
[取] 電気錠B施錠/解錠	(＊)(6)(8)	182
[取] ヘッドセットモード切換	(＊)(7)(0)	183
[取] 着信音量調節（外線）	(＊)(7)(1)	22

機　能	設定番号	参照ページ
[取] 着信音量調節（内線）	(＊)(7)(2)	22
タイムコール時刻設定	(＊)(8)(7)	79
自己内線番号表示	(＊)(8)(8)	23
[指] 料金集計出力	(＊)(9)(9)	184
[指] 料金集計出力停止	(＊)(9)(＊)	184
内線代理応答	(＊)(＊)	60
[取] 一斉呼出	(#)(0)	73
[取] グループ呼出	(#)(1)～(＊)(4)	73
[取] 外部スピーカ	(#)(9)	178
[取] 一斉・グループ呼出に応答	(#)(#)	73
[数] 短縮ボタン	(短縮)	30
[漢][カナ大] 共通短縮ダイヤル用短縮ボタン　※1	(9)(7)	30
[漢][カナ大] 個人短縮ダイヤル検索	(短縮)	32
[漢][カナ大] 外線電話帳検索	(短縮)(短縮)	32
[漢][カナ大] 内線電話帳検索	(短縮)(短縮)(短縮)	32
個人短縮ダイヤル	(短縮) (8)(0)～(9)(9)	32
共通短縮ダイヤル	(短縮) (0)(0)～(7)(9) または (0)(0)(0)～(7)(9)(9)	30 109
外線転送ボタン	(短縮)(#)(1)	142

※1　このキーで発信する場合には、外線を捕捉する前にこのキーを押してください。

ご注意
- 設定番号は最大４ケタまで入力できます。内線番号が３ケタの場合、「不在転送設定」など登録できない機能もありますのでご注意ください。

機　能	設定番号	参照ページ
確認 / 会議ボタン	[短縮][#][2]	59
切換ボタン	[短縮][#][4]	141
マイクボタン	[短縮][#][0]	63
ファクスに転送	[短縮][9][＊]	180
漢カ大 再ダイヤル	[再ダイヤル]	43
漢カ大 着信通話履歴検索	[再ダイヤル][再ダイヤル]	45
漢カ大 着信不応答履歴検索	[再ダイヤル][再ダイヤル][再ダイヤル]	47
自動転送（一般着信）	[＊][6][4][0]	147
自動転送（ダイヤルイングループ着信）	[＊][6][4][1]～[＊][6][4][8]	151
留守録設定／解除	[＊][6][3]	177
通話録音開始／終了	[＊][6][9][0]	177
留守録再生	[＊][6][9][1]	177
通話録音再生	[＊][6][9][2]	177
迷惑電話防止（非通知）	[＊][8][3][1]	67
迷惑電話防止登録	[＊][8][3][2]	67
迷惑電話おことわり（登録）	[＊][8][3][3]	137
迷惑電話おことわり（解除）	[＊][8][3][4]	137
迷惑電話おことわり（一括解除）	[＊][8][3][5]	137
迷惑電話おことわり（効果確認）	[＊][8][3][6]	137
漢カ大 システム着信履歴検索	[再ダイヤル][再ダイヤル][再ダイヤル][再ダイヤル]	52
共通短縮ダイヤル発信（3ケタ）	[短縮] [0][0][0]～[7][9][9]	30 109
着信中手動転送	[短縮][#][5]	164

※1　このキーで発信する場合には、外線を捕捉する前にこのキーを押してください。

漢字電話帳の電話番号や名前を登録する

種類	登録操作を行う電話機の種類と登録内容	登録件数	登録できるケタ数
漢字電話帳 漢字表示付電話機ごとに電話番号と漢字名前を登録します。	漢字 電話番号と漢字名前	電話機ごとに500ヶ所	電話番号： 24ケタ以内(#を含む) 名前： ひらがな、漢字は10文字以内 カタカナ、英数字は半角20文字以内

外線 漢字電話帳に登録する

各漢字表示電話機は最大500件の相手先を登録することができます。グループ別(0～9)に登録することもできます。
登録した名前をスクロールして検索できますから、携帯電話の操作感覚で使え、かけ直しが簡単です。

漢字電話帳へ新規に登録する

例： 以下の操作は、名前：鈴木一郎、電話番号：03-1234-5678、グループ2に登録する場合で説明しています。

1 待ち受け中に
登録メニュー/決定 保留 **を押す**

- 「電話帳登録」を選択します。
- 選んでいるメニューは反転表示されます。
  音量/検索 で移動します。

電話帳登録
電話帳ｸﾞﾙｰﾌﾟ名
電話帳全消去
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ

2 登録メニュー/決定 保留 **を押す**

名前入力
▌
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ　かな

3
す： 3 を３回押す
ず： # を押して右に移動し
3 を３回押し
0 を４回押す（濁点）
き： 2 を２回押す

▌
すずき
確定:保留ﾎﾞﾀﾝ　かな

- 文字入力方法は➡88ページ。
- 名前の入力は、ひらがな・漢字は全角10文字まで、カタカナ・英数字は半角20文字までです。
- 入力を間違えた場合は、再ダイヤル を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。1秒以上押し続けると1行消去されます。

4 音量／検索 で漢字変換する

● 目的の漢字が表示されるまで 音量／検索 を繰り返し押してください。

[鈊木]
1/4
確定:保留ﾎﾞﾀﾝ かな

5 登録メニュー／決定 保留 を押す

鈴木
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ かな

（漢字が決定します。）

6

い： 1 を２回押す
ち： 4 を２回押す
ろ： 9 を５回押す
う： 1 を３回押す

鈴木
いちろう
確定:保留ﾎﾞﾀﾝ かな

7 音量／検索 で漢字変換する

● 目的の漢字が表示されるまで 音量／検索 を繰り返し押してください。

鈴木
[一郎]
1/4
確定:保留ﾎﾞﾀﾝ かな

8 登録メニュー／決定 保留 を押す

鈴木一郎
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ かな

（漢字が決定します。）

9 登録メニュー／決定 保留 を押し、読みを入力する

● 表示された読みが違う場合には修正してください。（➡手順**3**参照）
● 読みは名前を検索するために使われます。
● 読みの入力は、半角カナ6文字までです。6文字を超える入力はできません。

読み入力
[ｽｽﾞｷｲﾁ]
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ ｶﾅ

（半角カナ入力モード）

登録・設定編
漢字電話帳の電話番号や名前を登録する

10 登録メニュー／決定 保留 を押す

ﾀﾞｲﾔﾙ入力
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ

（数字入力モードに変わる）

11 電話番号（例 0312345678）を押し、登録メニュー／決定 保留 を押す

0312345678
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ

- 電話番号の入力は、24ケタまでです。24ケタを超える入力はできません。
- 入力を間違えた場合は、左 を1回ずつ押して1ケタずつ消去し、再入力します。
  再ダイヤル を 1 秒以上押し続けると入力した電話番号がすべて消去されます。

12 登録メニュー／決定 保留 を押す

グループ:0
営業一課
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ

13 グループ 2 を選ぶときは 2 を押す

グループ:2
営業三課
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ

- グループ(0〜9)は 音量／検索 でも選べます。
- グループの名前登録は➡99ページ参照。
- グループ分類をしない場合は、そのまま 保留 を押して次の手順に進んでください。

14 登録メニュー／決定 保留 を押す

登録しますか？
登録
修正
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ

15 「登録」を確認する

- はじめは「登録」が選択されています。
- 登録をキャンセルする場合は、 音量／検索 で「修正」を選択します。

登録しますか？
登録
修正
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ

16 登録メニュー／決定 保留 を押す

登録しました
残り　　　　　126件

- 確認音「ピピッ」が鳴ります。
- 登録が完了し、残りの登録件数を表示します。
- 「修正」を選択した場合は手順**2**に戻ります。

17 約２秒後に手順２に戻る 同様に、手順２～10を繰り返して登録を続ける

18 フック を押す

ご注意

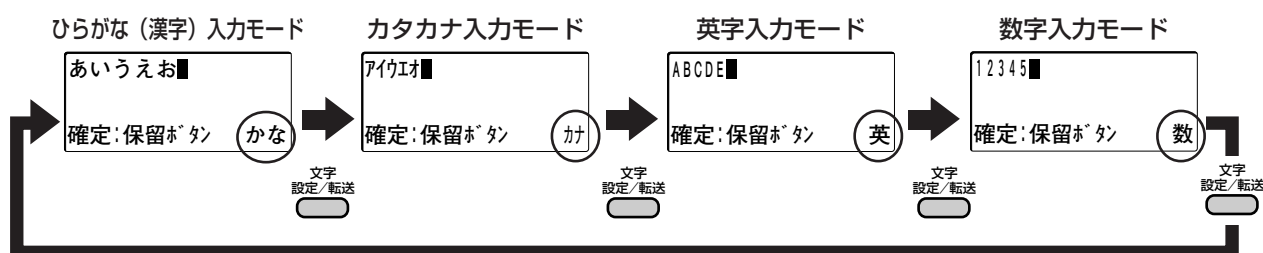
- 500件を超える新規登録はできません。入力画面で警告音「ピピッ」が鳴り、待ち受け画面に戻ります。必要のないデータを削除する作業を行ってから新規登録をしてください。(➡96ページ)
- 名前入力画面で文字をすべて削除した場合、読みも削除されます。
- 電話（アナログ）回線でお使いの場合、電話番号の中に 再ダイヤル を押して（1秒以内）ポーズを登録するときは、再ダイヤル を２～３回押して、ポーズを長めに登録してください。

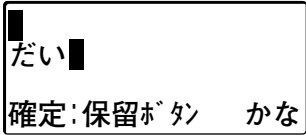
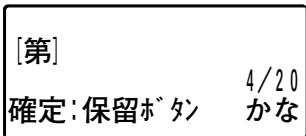
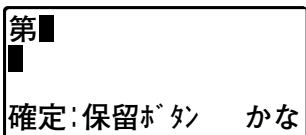
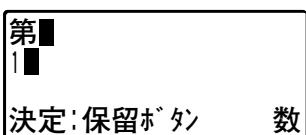
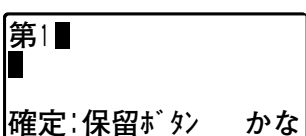
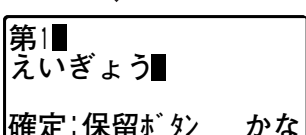
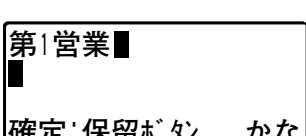
お知らせ

- グループ分類をしない場合は、グループ0に登録されます。

外線 各入力モードでの入力のしかた

名前の入力は、ダイヤルボタンを使って入力します。入力できる文字数は、ひらがな・漢字は全角10文字まで、カタカナ・英数字は半角20文字までです。文字設定/転送 ボタンを押すことによって、入力できる文字が変わります。各入力モードでの文字ボタンの割当は次ページの表を参照してください。

入力モードの選択

- 入力モードは、名前入力が可能な状態のときに、文字設定/転送 を押すごとに変更されます。
- はじめは「ひらがな入力モード」です。

ひらがな入力モード

- 文字入力は、文字が割り当てられているボタンを目的の文字が表示されるまで押します。
- 目的の文字が表示されたら、別の文字を押すか、＃ または 保留 を押します。
- 次に表示したい文字が同じボタンの場合は、＃ を押して次に移動し、ボタンを押します。
- 入力を間違えた場合は、再ダイヤル を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。1秒以上押し続けると1行消去されます。

漢字変換のしかた

例：第１営業

1
▮
だい▮
確定:保留ﾎﾞﾀﾝ　かな

● 音量／検索 を押して、漢字に変換する。

2
[第]
4/20
確定:保留ﾎﾞﾀﾝ　かな

● 登録メニュー／決定 保留 を押して、変換を確定する。

3
第▮
▮
確定:保留ﾎﾞﾀﾝ　かな

● 文字 設定／転送 を3回押し、数字入力モードにして「1」を入力する。

4
第▮
1▮
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ　数

5
第1▮
▮
確定:保留ﾎﾞﾀﾝ　かな

● 文字 設定／転送 を1回押し、ひらがな入力モードにして「えいぎょう」を入力する

6
第1▮
えいぎょう▮
確定:保留ﾎﾞﾀﾝ　かな

7
第1▮
[営業]▮
2/6
確定:保留ﾎﾞﾀﾝ　かな

● 目的の漢字が表示されるまで 音量／検索 を押す。

8
第1営業▮
▮
確定:保留ﾎﾞﾀﾝ　かな

- 漢字変換はひらがな入力モードで行います。ひらがなの読みを入力した後で、目的の漢字が表示されるまで 音量／検索 を繰り返し押してください。
- 画面の分数表示は、分母が漢字候補の数、分子が候補の順番です。

ひらがな入力モードでカタカナを入力する

1

［あいうえお］
確定：保留ﾎﾞﾀﾝ　　かな

2

［ｱｲｳｴｵ］
確定：保留ﾎﾞﾀﾝ　　かな

3

［アイウエオ］
確定：保留ﾎﾞﾀﾝ　　かな

- カタカナは、ひらがな入力モードでも入力できます。漢字候補の最後尾に、全角ひらがな➡全角カタカナ➡半角カタカナの順に変換表示されます。

各入力モードでの文字ボタン割当表

ボタン	ひらがな入力モード	カタカナ入力モード	英字入力モード	数字入力モード
文字設定／転送	カタカナ入力モードに切り替える	英字入力モードに切り替える	数字入力モードに切り替える	ひらがな入力モードに切り替える
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	ー	1
2	かきくけこ	ｶｷｸｹｺ	ABCabc	2
3	さしすせそ	ｻｼｽｾｿ	DEFdef	3
4	たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHIghi	4
5	なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl	5
6	はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno	6
7	まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs	7
8	やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv	8
9	らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz	9
0	わをん ゛゜ー!? 空白	ﾜｦﾝﾞﾟ- ! ? 空白	- ・ & / [ ] # * 空白	0
＊	カーソルを左に移動			
＃	カーソルを右に移動			

文字設定／転送：入力モードの変更

再ダイヤル：1文字消去

再ダイヤル 1秒以上：全文字消去

音量／検索：上下方向へ移動。漢字変換

ご注意

- カタカナ入力モードでは、カタカナは半角です。全角カタカナにしたい場合は、ひらがな入力したものを全角カタカナに変換してください。

お知らせ

- 漢字はJIS第2水準まで対応しています。

漢字電話帳データの修正

電話帳に登録してあるデータを検索して修正ができます。

例：　以下の操作は、名前：鈴木一郎、電話番号：03-5370-5474、グループ名：営業一課　を　鈴木太郎、03-5370-5473、営業三課　に修正する場合で説明しています。

待ち受け中に

1 電話帳 を押す

0353705474
青木一郎
荒井次郎
伊藤花子

- 「読み」等で目的のデータを検索します。検索の方法は「電話帳検索」（➡２８ページ）を参照。
- 選んでいるメニューは反転表示されます。音量／検索 で修正する名前をスクロールして探すこともできます。

---

2 検索メニュー 短縮 を押す

読み検索
ｸﾞﾙｰﾌﾟ検索
ﾀﾞｲﾔﾙ検索
決定：保留ﾎﾞﾀﾝ

---

3 読みで検索する場合 登録メニュー／決定 保留 を押す

読み検索
ｸﾞﾙｰﾌﾟ検索
ﾀﾞｲﾔﾙ検索
決定：保留ﾎﾞﾀﾝ

- 読みを入力します。読みは6文字までですが、入力する文字数は少なくてもかまいません。入力された文字を含むすべての名前が表示されます。
  （例：「ｽｽﾞｷ」で検索）

---

4 入力が終ったら または 音量／検索 を押す

0300001234
鈴木
鈴木太郎
鈴木花子

---

5 で目的のデータを選ぶ

0353705474
鈴木
鈴木一郎
鈴木花子

---

6 登録メニュー／決定 保留 を押す

鈴木一郎
0353705474

7 登録メニュー／決定 保留 を押す

- 修正が選択されていることを確認します。

修正
削除
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ

8 登録メニュー／決定 保留 を押す

鈴木一郎
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ　かな

9 # を2回押し、カーソルを右に移動する

- 再ダイヤル を2回押して「一郎」の2文字を消去し、その位置に再入力します。1秒以上押し続けると1行消去されてしまうので注意してください。
- 名前を修正しない場合は、入力をしないで 保留 を押し、手順**13**に進みます。

鈴木一郎
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ　かな

鈴木
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ　かな

10 た： 4 を3回押す
ろ： 9 を5回押す
う： 1 を3回押す

- 文字入力方法は➡88ページ。
- 名前の入力は、ひらがな・漢字は全角10文字まで、カタカナ・英数字は半角20文字までです。

鈴木
たろう
確定:保留ﾎﾞﾀﾝ　かな

11 音量／検索 で漢字変換する

- 目的の漢字が表示されるまで 音量／検索 を繰り返し押してください。

鈴木
[太郎]
1/3
確定:保留ﾎﾞﾀﾝ　かな

登録・設定編
漢字電話帳の電話番号や名前を登録する

12 登録メニュー/決定 保留 を押す

鈴木太郎
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ　かな

13 登録メニュー/決定 保留 を押し、読み方を入力する

- 表示された読みが違う場合には修正してください。（➡手順**10**参照）
- 読みは電話をかけるときに名前を検索するために使われます。
- 読みの入力は半角カナ6文字までです。6文字を超える入力はできません。

読み入力
[ｽｽﾞｷﾀﾛ]
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ　ｶﾅ

（読み入力モードに変わる）

14 登録メニュー/決定 保留 を押す

0353705474
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ

（ダイヤル入力モードに変わる）

15

- 左 を1回ずつ押して1ケタずつ消去するか、再ダイヤル を1秒以上押して前の電話番号をすべて消去し、新しい電話番号を入力してください。
- 電話番号を修正しない場合は、保留 を押し、手順**19**に進みます。
- 名前と電話番号のどちらかが空欄（入力がない状態）の場合、手順**19**に進みます。

0353705474
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ

16 再ダイヤル を 1 秒以上押す

決定:保留ﾎﾞﾀﾝ

17 電話番号（例 0353705473）を押す。

- 電話番号の入力は、24ケタまでです。24ケタを超える入力はできません。

0353705473
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ

18 登録メニュー／決定 保留 を押す

グループ：0
営業一課

確定：保留ボタン

19 2 を押し、グループ2を選ぶ

グループ：2
営業三課

決定：保留ボタン

20 登録メニュー／決定 保留 を押す

- グループは 音量／検索 でも選べます。
- グループの名前登録は➡99ページ参照。
- グループ分類をしていない場合は、「グループ：0」を選択してください。

上書きしますか？
上書き
新規
決定：保留ボタン

21

- 音量／検索 で、上書き／新規を選びます。
- 上書きは元のデータを上書きして修正します。

上書きしますか？
上書き
新規
決定：保留ボタン

■ 新規を選んだ場合は、新しいデータとして登録されます。
既存のデータをコピーして新しいデータを登録することになります。

22 登録メニュー／決定 保留 を押す

- 確認音「ピピッ」が鳴ります。

登録しました
残り　126件

23 2秒後に待ち受け表示に戻る

操作のヒント

- 名前入力画面で文字をすべて削除した場合、読みも削除されます。

漢字電話帳データの削除

電話帳に登録してあるデータを検索して削除ができます。

例：　以下の操作は、名前：鈴木太郎、電話番号：03-5370-5473 を削除する場合で説明しています。

1

待ち受け中に

- 「読み」等で目的のデータを検索します。検索の方法は「電話帳検索」(➡28ページ)を参照。
- 選んでいるメニューは反転表示されます。（音量／検索）で削除する名前をスクロールして探すこともできます。

2

を押す

読み検索
ｸﾞﾙｰﾌﾟ検索
ﾀﾞｲﾔﾙ検索
決定：保留ﾎﾞﾀﾝ

3

「読み」で検索する

を押す

0300001234
鈴木
鈴木太郎
鈴木花子

（読み入力モードに変わる）

- 読みを入力します。読みは6文字までですが、入力する文字数は少なくてもかまいません。入力された文字を含むすべての名前が表示されます。
- 入力が終わったら、（保留）または（音量／検索）を押します。

4

（音量／検索）で目的のデータを選ぶ

0353705473
鈴木
鈴木太郎
鈴木花子

5

を押す

鈴木太郎
0353705473

6 登録メニュー／決定 保留 を押し、 で「削除」を選ぶ

- 削除を選びます。

修正
削除
決定：保留ボタン

7 登録メニュー／決定 保留 を押す

削除しますか？
YES
NO
決定：保留ボタン

8 音量／検索 で「YES」を選ぶ

- はじめは「NO」が選択されています。

削除しますか？
YES
NO
決定：保留ボタン

9 登録メニュー／決定 保留 を押す

- 確認音「ピピッ」が鳴ります。

削除しました
残り 126件

10 2秒後に待ち受け表示に戻る

漢字電話帳データの全消去

電話帳に登録してあるデータをすべて消去します。

1 待ち受け中に 登録メニュー／決定 保留 を押す

電話帳登録
電話帳ｸﾞﾙｰﾌﾟ名
電話帳全消去
決定：保留ﾎﾞﾀﾝ

- 選んでいるメニューは反転表示されます。音量／検索 で移動し、「電話帳全消去」を選択します。

2 登録メニュー／決定 保留 を押す

電話帳登録
電話帳ｸﾞﾙｰﾌﾟ名
電話帳全消去
決定：保留ﾎﾞﾀﾝ

3 音量／検索 で「YES」を選ぶ

電話帳全消去
YES
NO
決定：保留ﾎﾞﾀﾝ

- はじめは「NO」が選択されています。
- 「NO」を選択すると、中止をして待ち受け表示に戻ります。

4 登録メニュー／決定 保留 を押す

電話帳全消去
YES
NO
決定：保留ﾎﾞﾀﾝ

電話帳消去中

電話帳全消去
しました

- 電話帳の全消去が完了します。
- 確認音「ピピッ」が鳴り、2秒後に待ち受け表示に戻ります。

漢字電話帳グループ名の登録

電話帳には10個までのグループ(0〜9番)分けができ、自由に名前を付けることができます。

1 待ち受け中に

登録メニュー/決定 保留 を押す

電話帳登録
電話帳ｸﾞﾙｰﾌﾟ名
電話帳全消去
決定:保留ﾎﾞﾀﾝ

- 選んでいるメニューは反転表示されます。音量/検索 で移動し、「電話帳グループ名」を選択します。

2 登録メニュー/決定 保留 を押す

3 グループを 音量/検索 で選択し、

登録メニュー/決定 を押す

ｸﾞﾙｰﾌﾟ2

決定:保留ﾎﾞﾀﾝ　かな

- グループ名の初期値は「グループ0」〜「グループ9」です。グループを選び、名前を入力します。
- 文字入力方法は➡88ページ。
- グループ名は、最大で全角10文字(半角20文字)です。
- 入力を間違えた場合は、再ダイヤル を1回ずつ押して1文字ずつ消去し、再入力します。1秒以上押し続けると1行消去されます。

4 登録メニュー/決定 保留 を押す

営業2課

設定:保留ﾎﾞﾀﾝ　かな

5 登録メニュー/決定 保留 を押す

電話帳ｸﾞﾙｰﾌﾟ名
設定しました

- グループ名の登録が完了します。
- 確認音「ピピッ」が鳴り、2秒後に待ち受け表示に戻ります。

電話番号や名前を登録する

よくかける電話番号を短縮ダイヤルや電話帳等に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけたり(➡27ページ)、発信者番号が通知されてかかってきたときに発信者の名前を表示(➡19ページ)したりすることができます。

種類	登録操作を行う電話機の種類と登録内容	登録件数	登録できるケタ数
個人短縮ダイヤル (➡103～106ページ) 電話機ごとに、よくかける相手の電話番号等を登録します。	数字 電話番号 カナ 漢字 電話番号と名前 大型 電話番号と名前 ●数字表示付電話機では、名前は登録できません。	20ヶ所 (短縮番号80～99)	電話番号： 24ケタ以内(#を含む) 名前：7文字以内
共通短縮ダイヤル<外線電話帳> (➡109～115ページ) システム電話機で、システムで共通に使う電話番号を登録します。この共通短縮ダイヤルに名前を登録したものを〈外線電話帳〉と呼びます。	指定 (数字) 電話番号 指定 (カナ 漢字) 電話番号と名前<外線電話帳> 指定 (大型) 電話番号と名前<外線電話帳> ●数字表示付電話機では、名前は登録.できません。	80ヶ所： (短縮番号00～79) または 800ヶ所： (短縮番号000～799) 取付け時設定	電話番号： 24ケタ以内(#を含む) 名前：16文字以内
内線電話帳(➡116～117ページ) システム電話機で、取り付け時に設定された内線番号に名前を登録します。	指定 (カナ 漢字) 名前 指定 (大型) 名前 ●数字表示付電話機では、登録できません。	――	名前：10文字以内
索引名 (➡107～108ページ) 大型表示付電話機で、索引名を登録すると登録した索引名からはじまる名前を検索することができます。	大型 索引名	各電話機ごとに、 索引名を4つ	索引名：4文字以内
発信者名(➡118～119ページ) システム電話機で登録しておくと、電話がかかってきたときに相手の電話番号の代わりに名前を表示することができます。	指定 (カナ 漢字) 電話番号、名前 指定 (大型) 電話番号、名前	100件	電話番号： 24ケタ以内 名前：16文字以内
特殊内線番号(クローズドナンバリング)(➡120～121ページ) システム電話機で、他のシステムの内線番号等に名前をつけて登録しておくと、内線電話帳から名前を検索して電話をかけることができます。	指定 (カナ 漢字) 他のシステムの内線番号、名前 指定 (大型) 他のシステムの内線番号、名前	100件	他のシステムの 内線番号：4ケタ以内 名前：10文字以内

指定 マークのついているものは、システム電話機から操作してください。(➡10ページ)

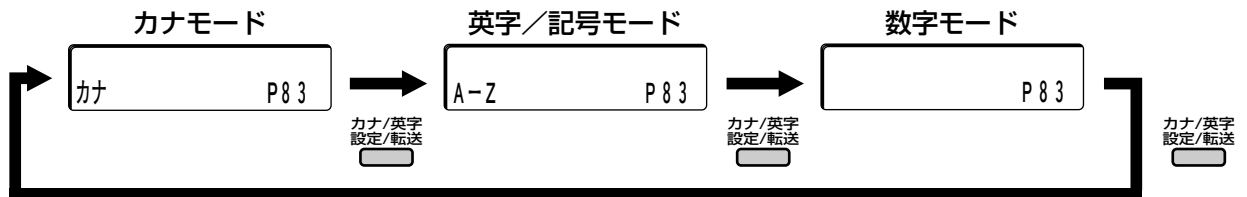
お知らせ

● 再ダイヤルや着信履歴発信をコピーして、短縮ダイヤルに登録することもできます。(➡50ページ)

名前入力のしかた

カナ 大型

個人短縮ダイヤル、共通短縮ダイヤル<外線電話帳>、内線電話帳、索引名、発信者名に名前を入力して登録することができます。名前の入力方法は、それぞれの登録操作で共通です。

入力モードの選択のしかた

- 入力モードは、名前入力が可能な状態のときに変更できます。
  それぞれの名前登録の登録可能な文字数を超えると、入力モードが変更できなくなります。
  フック または クリア 再ダイヤル で不要な文字を削除してから入力モードを変更してください。

名前の入力は、ダイヤルボタンを使って入力します。押す回数によって、入力できる文字が変わります。
名前を入力するときは、文字入力画面を表示してから入力します。

ボタン＼モード	カナモード	英字／記号モード	数字
1	ア イ ウ エ オ → ァ ィ ゥ ェ ォ		1
2	カ キ ク ケ コ	A B C a b c	2
3	サ シ ス セ ソ	D E F d e f	3
4	タ チ ツ テ ト ッ	G H I g h i	4
5	ナ ニ ヌ ネ ノ	J K L j k l	5
6	ハ ヒ フ ヘ ホ	M N O m n o	6
7	マ ミ ム メ モ	P Q R S p q r s	7
8	ヤ ユ ヨ ャ ュ ョ	T U V t u v	8
9	ラ リ ル レ ロ	W X Y Z w x y z	9
0	ワ ヲ ン ゛ ゜ ー ( ) ・	& ’ ” , . / + ! : ; = _	0
*	1文字分削除して、カーソルを左へ移動します。	1文字分削除して、カーソルを左へ移動します。	*
#	スペースを入力し、カーソルを右へ移動します。	スペースを入力し、カーソルを右へ移動します。	#

確認/会議 ：先頭画面に戻ります。
クリア 再ダイヤル ：入力した文字を1文字分消去します。
終了 フック ：入力した文字をすべて消去します。
短縮 ：内容を再表示します。

検索 ▼ 音量 ▲ ：前後の短縮ダイヤルの登録画面に移動します。▼を押すと、次の短縮番号の内容を表示します。▲を押すと、前の短縮番号の内容を表示します。

お知らせ

- 名前の前にスペースがあると検索できないため、名前の最初はスペースをあけないで入力してください。
- 名前を新規に登録するときは、フック または クリア 再ダイヤル で文字を削除してから入力してください。

電話番号の中、または電話番号の代わりに登録できる内容

ボタン	項　目	内　容
再ダイヤル	ポーズ	●電話番号を入力中に 再ダイヤル を押すと、電話をかけるときに 再ダイヤル のところで約3.2秒間のポーズが入ります。 ＜電話(アナログ)回線でお使いの場合＞ ●NCC回線、国際電話番号など、ポーズが必要な電話番号を登録するときに使います。
短縮 ＋短縮番号	ビーンダイヤル	●短縮ダイヤルを登録するときに、電話番号の代わりに短縮ダイヤルを登録することができます。長い電話番号を登録したい場合に使います。 ●短縮ダイヤルの電話番号は、1件につき2つまで登録することができます。 ●1件あたりの短縮ダイヤルには、最大24ケタまで入力できます。2つの短縮ダイヤルを登録すると、最大66ケタまでの電話番号が登録できます。 ●この場合、さらに他の短縮ダイヤルに登録することはできません。例えば、短縮ダイヤル00を短縮ダイヤル20に登録した場合、短縮ダイヤル20は他の短縮ダイヤルに登録できません。 ●共通短縮ダイヤルに、個人短縮ダイヤルの電話番号を登録することはできません。
短縮＊＊	プッシュ信号転換	●ISDN回線をお使いの場合は、この操作は不要です。 ＜電話(アナログ)回線でお使いの場合＞ ●電話番号の中に短縮＊＊を登録すると、短縮＊＊以降の電話番号をプッシュ信号に変換して送ります。 ●NCC回線で、プッシュ信号に切り換える必要のある電話番号を登録するときに使います。
短縮＊2	短縮ダイヤル表示制御	●電話番号を入力中に短縮＊2を押すと、それ以降の電話番号を発信時に表示しません。再度短縮＊2を押すと、以降の番号を表示します。 ●NCCの暗証番号などを表示したくない場合に使用します。
短縮＊#	内線発信/機能アクセス	●電話番号の前に短縮＊#を押すと、内線電話機を呼び出すことができます。
短縮＊0	外線自動選局発信	●電話番号の前に短縮＊0を押すと、0発信の外線を捕捉します。
短縮＊94～96		●電話番号の前に短縮＊94～96を押すと、94～96に指定された外線を捕捉します。
短縮#4	自動保留 ISDN	●電話番号の前に短縮#4を押すと、通話中の外線を自動的に保留にして、登録した電話番号に発信します。電話番号が登録されていない場合は保留されません。

お知らせ

● 発信者の番号が通知されてかかってきたときに、名前を表示するように電話番号を登録するには「電話がかかってきたときの表示(発信者の電話番号の表示)」(➡19ページ)をお読みください。

個人短縮ダイヤルを登録する

よくおかけになる電話番号を電話機ごとに登録することができます。
個人短縮ダイヤルは、短縮番号(8)(0)～(9)(9)の20件まで、電話番号は1件につき24ケタ((#)含む)まで登録できます。名前も登録するときは、105、106ページをお読みください。

電話番号を登録する

1 (スピーカ) **を押す**

- スピーカランプが点灯します。

2 文字 設定／転送 ( ) **を押す**

3 検索メニュー (短縮) **を押す**

4 **短縮番号((8)(0)～(9)(9))を押す**

- 短縮番号(8)(0)～(8)(9)までは手順**3**、**4**の代わりにワンタッチボタンを押してもできます。（➡31ページ）

5 **登録したい電話番号と (#) を押す**

- 電話番号と(#)の合計を24ケタ以内で入力してください。

電話（アナログ）回線でお使いの場合は、電話番号を押したあとの(#)の操作は不要です。

6 登録メニュー／決定 (保留) **を押す**

- 「プー」という音が聞こえたら、登録が完了します。
- 続けて登録するには、手順**2**～**6**を行います。
- 登録を終了する場合は、(スピーカ) を押します。

修正するには

手順**5**で電話番号を入力し直してください。

消去するには

手順**5**を抜いて操作します。

確認するには

1 (スピーカ) ➜ **2** 確認／会議 ( ) ➜ **3** (短縮) ➜ **4** 短縮番号 ➜ **5** 確認したら

電話番号を登録する 大型

登録してある電話番号を変更したいときも、この方法で変更できます。

1 メニュー を押す

2 コジンタンシュクダイヤルを押す

コジンタンシュクダイヤル
ガイセンデンワチョウ
ナイセンデンワチョウ
ハッシン リレキ
チャクシンツウワ リレキ

3 スピーカ 設定/転送 を押す

4 登録したい短縮番号のワンタッチボタンを押す

コジン80	コジン85
コジン81	コジン86
コジン82	コジン87
コジン83	コジン88
コジン84	コジン89

● 個人短縮ダイヤルの登録画面が表示されます。

5 登録したい電話番号と # を押す

0353705470
コジン 83 P83

● 電話番号と # の合計を24ケタ以内で入力してください。

電話（アナログ）回線でお使いの場合は、手順 **5** で # は不要です。

6 保留 を押す

●続けて登録するには、設定/転送 を押してから手順**4**〜**6**を行います。
● 登録を終了するには、スピーカ を押します。

消去するには

手順**5**を抜いて操作します。

確認するには

手順**3**で 設定/転送 の代わりに 確認/会議 を押します。

名前と電話番号を登録する カナ 漢字

1 スピーカ を押す

- スピーカランプが点灯します。

2 文字 設定/転送 を押す

3 ＊ 3 を押す

タンシュク No=>
コジンタンシュク トウロク

4 登録したい短縮番号（8 0～9 9）を押す

タンシュク No=>83
コジンタンシュク トウロク
（短縮番号83に登録した場合）

- 短縮番号 8 0～8 9 は、ワンタッチボタン（➡31ページ）を押しても選べます。

5 登録メニュー/決定 保留 を押す

コジン 83
カナ P83

6 名前を入力する

イワツウ
カナ P83
（イワツウを入力した場合）

- フック または クリア 再ダイヤル を押して文字を消去してから入力してください。
- 7文字まで入力できます。
- 入力のしかたは「名前入力のしかた」（➡101ページ）をお読みください。

7 登録メニュー/決定 保留 を押す

イワツウ P83

- 電話番号の登録画面が表示されます。

8 登録したい電話番号と ＃ を押す

0353705470#
イワツウ P83
（03-5370-5470を入力した場合）

- 電話番号と ＃ の合計を24ケタ以内で入力してください。

電話（アナログ）回線でお使いの場合は、手順**8**で ＃ は不要です。

9 登録メニュー/決定 保留 を押す

コジン 84
カナ P84
（次の短縮ダイヤル）

- 登録が完了し、次の短縮ダイヤルの登録画面が表示されます。
- 続けて登録するには、手順**6**～**9**を行います。
- 登録を終了する場合は、スピーカ を押します。

お知らせ

- 名前の修正、登録した電話番号の消去、名前や電話番号の確認の操作については、次ページをお読みください。

前ページの操作で

名前や電話番号を修正するには

手順**6**で フック または クリア/再ダイヤル を押して名前を消去してから、新しい名前を入力します。
手順**8**で新しい電話番号を入力し直してください。
名前か、電話番号かどちらか一方のみを修正したい場合は、修正しなくても良い手順(名前なら手順**6**、電話番号なら手順**8**)では、何もしないで次の手順に進んでください。

登録した個人短縮番号を消去するには

手順**6**で名前を入力する代わりに フック を押すと文字が消去されます。
手順**8**で電話番号を押す代わりに フック を押すと、電話番号が消去されます。

名前や電話番号を確認するには

登録方法と同じ操作で確認できます。手順**6**、**8**を抜いて操作します。

名前と電話番号を登録する 大型

1 メニュー を押す

2 ▼ページ を押す

- メニュー画面の2ページ目が表示されます。

3 スピーカ を押す

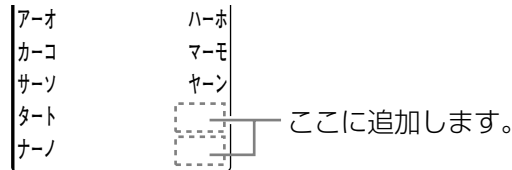
4 コジンタンシュク ナマエを押す

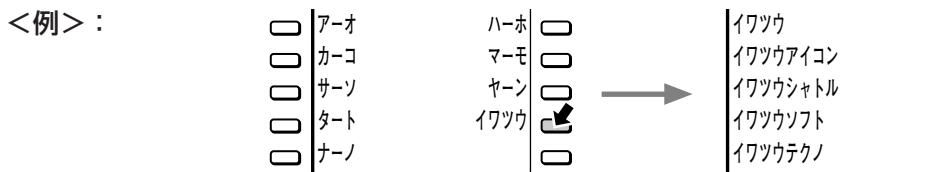
チャクシンフオウトウ リレキ
コジ゛ンタンシュク ナマエ
ガ゛イセンデ゛ンワチョウナマエ
ナイセン ナマエ
ハッシンシャ ナマエ

- 個人短縮ダイヤルの登録画面が表示されます。

5 105ページの手順4～9を行う

目次画面の索引名を追加する 大型

電話機ごとに、外線電話帳や内線電話帳を呼び出したときの目次画面の空いている部分に、索引を追加することができます。索引名を追加すると、登録した索引名から始まる名前を検索することができます。

例えば、関連会社が多い会社名を登録しているときに、先頭の名前を索引として追加しておくと便利です。

＜例＞：

1 メニュー を押す

2 ▼ページ を２回押す

● メニュー画面の3ページ目が表示されます。

3 スピーカ を押す

4 ガイセン　サクイン　ナマエまたは ナイセン　サクイン　ナマエを押す

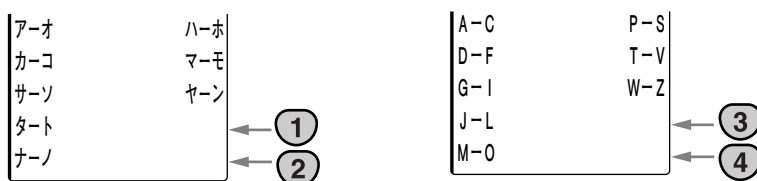
ガ゛イセン　サクイン　ナマエ
ナイセン　サクイン　ナマエ

● 外線索引名：設定/転送 ＊ 8
内線索引名：設定/転送 ＊ 9 と押しても操作できます。

5 索引番号(1～4)を押す

1、2：カナの索引画面　3、4：アルファベットの索引画面

●カナの索引画面

●アルファベットの索引画面

● 外線索引、内線索引をそれぞれ4つ(1～4)ずつ追加することができます。

6 保留 を押す

7 索引名を入力する

イワツウ
カナ 1

- 4文字まで入力できます。
- 入力のしかたは「名前入力のしかた」(➡101ページ)をお読みください。

8 保留 を押す

- 次の索引番号の登録画面が表示されます。
- 続けて登録するには、手順**7**～**8**を行います。
- 登録を終了するには、 モニター を押します。

修正するには

手順**7**で フック または クリア 再ダイヤル を押して索引名を消去してから、修正したい文字を入力します。

消去するには

手順**7**で索引名を入力する代わりに フック を押すと、索引名が消去されます。

確認するには

手順**1**～**6**を行います。

共通短縮ダイヤルを登録する

システム

共通短縮ダイヤルは、短縮番号00～79 または000～799 取付け時設定 に登録できます。電話番号は1件につき24ケタまで入力できます。
共通短縮ダイヤルは、システム電話機(➡10ページ)でのみ登録できます。

電話番号を登録する システム (数字)

1 スピーカ を押す

- スピーカランプが点灯します。

2 文字 設定/転送 を押す

3 検索メニュー 短縮 を押す

4 登録したい短縮番号を押す
(00～79 または
(000～799 取付け時設定)

5 登録したい電話番号と # を押す

- 電話番号と # の合計を24ケタ以内で入力してください。

電話(アナログ)回線でお使いの場合は、手順 **5** の#は不要です。

6 登録メニュー/決定 保留 を押す

- 続けて操作する場合は、手順**2**～**6**を行います。
- 登録を終了する場合は、 スピーカ を押します。

修正するには

上記の操作で上書き修正できます。

消去するには

手順**5**を抜いて操作します。

確認するには

手順**2**で 確認/会議 を押して手順**4**まで行うと登録した電話番号が表示されます。スピーカ を押すと操作が終了します。

共通短縮ダイヤル<外線電話帳>を登録する システム（カナ 漢字）

共通短縮ダイヤルに名前を登録して（外線電話帳）おくと、登録した名前から検索して電話をかけることができます。

1 スピーカ を押す

- スピーカランプが点灯します。

2 文字 設定／転送 を押す

3 ＊ 4 を押す

タンシュク No=>
キョウツウタンシュク トウロク

4 登録したい短縮番号を押す
（0 0 〜 7 9 または
（0 0 0 〜 7 9 9 取付け時設定 ）

- 2ケタの共通短縮番号でも、頭に0をつけて必ず3ケタで入力してください。（00〜79は000〜079と入力）
- 手順**4**を抜いて操作すると、空いている最小の短縮番号を選びます。

5 登録メニュー／決定 保留 を押す

(035) タンシュク
カナ 035

（短縮番号035を選んだ場合）

6 名前を入力する

イワツウ_
カナ 035

（イワツウと入力した場合）

- フック または クリア 再ダイヤル を押して文字を消去してから入力してください。
  フック ：全文字消去
  クリア 再ダイヤル ：1文字消去
- 16文字まで入力できます。
- 入力のしかたは「名前入力のしかた」（➡101ページ）をお読みください。

7 登録メニュー／決定 保留 を押す

- 電話番号の登録画面が表示されます。

8 登録したい電話番号と ＃ を押す

- 電話番号と ＃ の合計を24ケタ以内で入力してください。

電話（アナログ）回線でお使いの場合は、手順 **8** の ＃ は不要です。

9 登録メニュー／決定 保留 を押す

10 鳴り分け着信音の番号を押す

```
チャクシンオン =>1
(0−32)         035
```

（着信音「1」を入力した場合）

- 着信音は33種類あります。(➡193ページ)
- 鳴り分け着信機能(鳴り分け着信、VIP転送)(➡64ページ)を使わない場合は、手順**10**〜**15**(着信音や着信先などの選択)の操作を省略することができます。
  手順**9**で 登録メニュー／決定 保留 の代わりに 音量／検索 を押すと、手順**18**に進みます。

11 登録メニュー／決定 保留 を押す

```
チャクシンサキNo =>
(ナイセンNo)      035
```

- 着信先の選択画面が表示されます。

12 鳴り分け着信先の番号を押す

```
チャクシンサキ =>123
(ナイセンNo)      035
```

13 登録メニュー／決定 保留 を押す

```
DIグループNo =>
(1−8)           035
```

- ダイヤルイングループの選択画面が表示されます。

14 鳴り分けダイヤルイングループを選ぶ

```
DIグループNo =>3
(1−8)           035
```

（DIグループ番号「3」を入力した場合）

- 着信先の番号を登録した場合は、ダイヤルイングループより優先して着信します。
- ダイヤルイングループ番号はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

15 登録メニュー／決定 保留 を押す

```
セレクトモード =>
(0−1)           035
```

- VIP転送する／しないの選択画面が表示されます。

16 VIP転送する／しないを選ぶ

```
セレクトモード =>1
(0−1)           035
```

（VIP転送する「1」を入力した場合）

- VIP転送する場合　：「1」を入力します。
- VIP転送しない場合：「0」を入力します。

17 登録メニュー／決定 保留 を押す

18 登録の完了

```
(036) タンシュク
カナ             036
```

- 登録が完了し、次の短縮ダイヤルの登録画面が表示されます。
- 続けて登録するには、手順**4**〜**18**を行います。

19 登録を終了する場合は、スピーカ を押す

登録済みの共通短縮ダイヤル<外線電話帳>を修正/消去する システム（カナ 漢字）

短縮番号から検索して修正、消去するには

前ページの操作の手順**4**で、修正または消去したい短縮番号を入力して操作を行ってください。
登録する方法と同じ方法で修正、消去することができます。
名前か、電話番号かどちらか一方のみを修正したい場合は、修正しなくても良い手順(名前なら手順**6**、電話番号なら手順**8**)では、何もしないで次の手順に進んでください。

名前から検索して修正、消去するには

1 前ページの手順 **3** のあとに 文字設定/転送 を押す

ナマエケンサク =>
カナ

2 検索したい名前の先頭文字を入力する
（最大４ケタ）

3 音量／検索 を押す

- 修正したい共通短縮ダイヤルを表示します。

0312345678
イワサカ

4 保留 を押す

- 名前の修正画面が表示されます。

イワサカ
カナ 035

5 文字を修正、消去する

- フック または クリア/再ダイヤル を押して、消去してから文字を入力してください。

フック：全文字消去
クリア/再ダイヤル：1文字消去

6 保留 を押す

- 電話番号の修正画面が表示されます。
- 修正、消去しない場合は、何も入力せず、手順**8**へ進みます。

0312345678
イワツウ 035

7 電話番号を修正、消去する

- フック を押して、消去します。
  そのまま電話番号を入力すると修正できます。

8 保留 を押す

- 名前検索の画面に戻ります。続けて修正、消去を行いたい場合は、手順**2**〜**8**を繰り返します。
- 修正、消去を終了する場合は、スピーカ を押します。
- 短縮番号から検索して修正、消去したい場合は、確認/会議 を押すと、前ページの手順**4** からの操作で、修正、消去ができます。

名前や電話番号を確認するには

登録方法と同じ操作で確認できます。手順**6**、**8**を抜いて操作します。

共通短縮ダイヤル<外線電話帳>を登録する システム（大型）

共通短縮ダイヤルに名前を登録して（外線電話帳）おくと、登録した名前から検索して電話をかけることができます。

1 メニュー を押す

2 ▼ページ を押す

- メニュー画面の2ページ目が表示されます。

3 スピーカ を押す

4 ガイセンデンワチョウナマエを押す

チャクシンフオウトウ リレキ
コジンタンシュク ナマエ
ガイセンデンワチョウナマエ
ナイセン ナマエ
ハッシンシャ ナマエ

- 登録画面が表示されます。

5 110ページの手順4～9を行う

電話番号を変更する 大型

登録してある電話番号を変更するには、以下の方法で名前から検索して変更することができます。

1 メニュー を押す

2 ガイセンデンワチョウを押す

コジ゛ンタンシュクダ゛イヤル
ガ゛イセンデ゛ンワチョウ
ナイセンデ゛ンワチョウ
ハッシン リレキ
チャクシンツウワ リレキ

3 変更したい名前の1文字目に対応するワンタッチボタンを押す

アーオ
カーコ
サーソ
タート
ナーノ
ハーホ
マーモ
ヤーン

- ▼ページ▲ で変更したい名前の画面を表示します。

4 スピーカ 設定/転送 を押す

5 変更したい名前のワンタッチボタンを押す

イワツウ
イワツウアイコン
イワツウシャトル
イワツウソフト
イワツウテクノ

6 登録したい電話番号と # を押す

- 電話番号と#の合計を24ケタ以内で入力してください。

7 保留 を押す

- 続けて登録するには、手順**4**で 文字 設定/転送 のみを押してから、手順**5**～**7**を行います。
- 登録を終了する場合は、スピーカ を押します。

電話（アナログ）回線でお使いの場合は、手順**6**の#は不要です。

消去するには

手順**6**を抜いて操作します。

内線電話帳を登録する

システム

内線番号に名前をつけて、内線電話帳として登録しておくと、名前を検索して電話をかけることができます。

内線番号を指定して名前を登録する システム（カナ 漢字）

1 スピーカ を押す

- スピーカランプが点灯します。

2 文字設定／転送 を押す

3 ＊ 5 を押す

ナイセン　　Ｎo=>
ナイセン　ナマエ　トウロク

4 内線番号を押す

5 登録メニュー／決定 保留 を押す

6 名前を入力する

イワツウ_
カナ　　　　17

（イワツウと入力した場合）

- フック または クリア 再ダイヤル を押して文字を消去してから入力してください。
- 10文字まで入力できます。
- 入力のしかたは「名前入力のしかた」（➡101ページ）をお読みください。

7 登録メニュー／決定 保留 を押す

- 登録されている次の内線番号が表示されます。
- 続けて操作する場合は、手順**6**～**7**を行います。
- 登録を終了する場合は、スピーカ を押します。

お知らせ

- 手順**7**で 保留 を押したあと 音量／検索 の▼を押すと、表示されている内線番号の次の内線番号を表示します。▲を押すと、前の内線番号を表示します。

名前を修正するには

手順**6**で名前を入力する代わりに フック または クリア 再ダイヤル を押して消去してから、修正したい文字を押します。

名前を消去するには

手順**6**で名前を入力する代わりに フック を押すと、名前が消去されます。

内線番号を指定して名前を登録する システム (大型)

1 メニュー を押す

2 ▼ページ を押す

- メニュー画面の2ページ目が表示されます。

3 スピーカ を押す

4 ナイセン ナマエを押す

チャクシンフオウトウ リレキ
コジンタンシュク ナマエ
ガイセンデンワチョウナマエ
ナイセン ナマエ
ハッシンシャ ナマエ

- 登録画面が表示されます。

5 116ページの手順4～7を行う

発信者名を登録する

電話がよくかかってくる人の名前と電話番号を登録しておくと、電話がかかってきたときに相手の電話番号の代わりに名前を表示することができます。(➡19ページ) 取付け時設定
外線電話帳(共通短縮ダイヤル)として登録したものは、名前表示されるので、ここでは外線電話帳に登録されていない相手の名前を登録してお使いください。
発信者名は100件まで登録できます。システム電話機のみで登録できます。

発信者名を登録する　システム（カナ 漢字 大型）

大型表示付電話機の場合 大型

1 メニュー を押す

2 ▼ページ を押す

- メニュー画面の2ページ目が表示されます。

3 スピーカ を押す

4 ハッシンシャ ナマエを押す

チャクシンフオウトウ リレキ
コジンタンシュク ナマエ
ガイセンデンワチョウナマエ
ナイセン ナマエ
ハッシンシャ ナマエ

カナ、大型表示付電話機の場合 カナ 大型

4 スピーカ 設定/転送 ＊ 6 を押す

5 発信者名番号(0 0～9 9)を押す

- 必ず、2ケタの番号を入力します。

ハッシンシャ No=>12
ハッシンシャ トウロク

6 保留 を押す

- 名前の入力画面が表示されます。

ハッシンシャ 12
カナ 12

7 名前を入力する

- フック または クリア/再ダイヤル を押して文字を消去してから文字を入力してください。
  フック：全文字消去
  クリア/再ダイヤル：1文字消去
- 16文字まで入力できます。
- 入力のしかたは「名前入力のしかた」(➡101ページ)をお読みください。

イワツウ
カナ 12

8 保留 を押す

- 電話番号の入力画面が表示されます。

イワツウ　12

9 電話番号を入力する

- 24ケタ以内で入力してください。

0353705470
イワツウ　12

10 保留 を押す

- 次の発信者名の登録画面が表示されます。
- 登録を終了する場合は、スピーカ を押します。

ハッシンシャ 13
カナ　13

登録済みの発信者名を修正、消去する システム（カナ 大型）

発信者名番号から検索して修正、消去するには

前ページの操作の手順**5**で、修正または消去したい発信者名番号を入力して操作を行ってください。登録する方法と同じ方法で修正、消去することができます。
名前か、電話番号かどちらか一方のみを修正したい場合は、修正しなくても良い手順（名前なら手順**7**、電話番号なら手順**9**）では、何もしないで次の手順に進んでください。

名前から検索して修正、消去するには

1 前ページの手順 **4** のあとに 文字設定/転送 を押す
- 名前検索の画面が表示されます。

ナマエケンサク =>
カナ

2 検索したい名前の先頭文字を入力する（最大４ケタ）

3 検索 ▼ 音量 ▲ を押す
- 登録されている発信者名が表示されます。

0312345678
フジ゛イ

4 決定/メニュー 保留 を押す
- 名前の修正画面が表示されます。

フジ゛イ
カナ　12

5 文字を修正、消去する
- フック または クリア 再ダイヤル を押して、消去してから文字を入力します。

フック ：全文字消去
クリア 再ダイヤル ：1文字消去

6 決定/メニュー 保留 を押す
- 電話番号の修正画面が表示されます。
- 修正、消去しない場合は、何も入力せず、手順**8**へ進みます。

0353705474
フジ゛イ　12

7 電話番号を修正、消去する
- フック を押して、消去します。
そのまま電話番号を入力すると修正できます。

8 決定/メニュー 保留 を押す
- 名前検索の画面に戻ります。続けて修正、消去を行いたい場合は、手順**2**～**8**を繰り返します。
- 修正、消去を終了する場合は、スピーカを押します。
- 発信者名番号から検索して修正、消去したい場合は、確認/会議 を押すと、前ページの手順**5**からの操作で、修正、消去ができます。

別の電話機システムの内線番号に名前をつけて登録する（ISDN クローズドナンバリング）

他のシステムの内線などを、名前をつけて特殊内線電話番号として登録しておくと、システム内の内線へ電話をかけるのと同じように内線電話帳(➡32ページ)で電話をかけることができます。

特殊内線番号を登録する　システム（カナ　漢字　大型）

1 スピーカ 文字設定/転送 ＊ 7 を押す

トクシュナイセン No=>
トクシュ ナイセン トウロク

2 特殊内線番号(0 0〜9 9)を押す

- 必ず、2ケタの番号を入力します。

3 登録メニュー/決定 保留 を押す

トクシュ 17
カナ 17

- 名前の入力画面が表示されます。

（特殊内線番号17を押した場合）

4 名前を入力する

イワツウ
カナ 17

- フック または クリア 再ダイヤル を押して、消去してから文字を入力してください。

  フック：全文字消去
  クリア 再ダイヤル：1文字消去
- 10文字まで入力できます。
- 入力のしかたは「名前入力のしかた」(➡101ページ)をお読みください。

5 登録メニュー/決定 保留 を押す

イワツウ 17

- 電話番号の入力画面が表示されます。

6 他のシステムの内線番号などを入力する

1234
イワツウ 17

- 4ケタまで入力できます。

7 登録メニュー/決定 保留 を押す

サトウ
カナ 18

- 次の発信者名の登録画面が表示されます。

お知らせ

- 例えば、ISDNクローズドナンバリング(➡166ページ)でかけるときに、内線電話帳から検索してかけることもできます。

登録済みの特殊内線番号を修正 / 消去する　システム（カナ 大型）

特殊内線番号から検索して修正、消去するには

前ページの操作の手順**2**で、修正または消去したい特殊内線番号を入力して操作を行ってください。登録する方法と同じ方法で修正、消去することができます。
名前か、電話番号かどちらか一方のみを修正したい場合は、修正しなくても良い手順（名前なら手順**4**、他のシステムの内線番号等なら手順**6**）では、何もしないで次の手順に進んでください。

名前から検索して修正、消去するには

1 前ページの登録する操作の、手順**1**のあとに 文字設定/転送 を押す

- 名前検索の画面が表示されます。

ナマエケンサク =>
カナ

2 検索したい名前の先頭文字を入力する（最大４ケタ）

3 検索 ▼ 音量 ▲ を押す

- 登録されている特殊内線名が表示されます。

522
キムラ 02

4 決定/メニュー 保留 を押す

- 名前の修正画面が表示されます。

キムラ
カナ 02

5 文字を修正、消去する

- フック または クリア 再ダイヤル を押して、消去してから文字を入力します。
  フック：全文字消去
  クリア 再ダイヤル：1文字消去

6 決定/メニュー 保留 を押す

- 電話番号の修正画面が表示されます。
- 修正、消去しない場合は、何も入力せず、手順**8**へ進みます。

522
イワツウ 02

7 電話番号を修正、消去する

- フック を押して、消去します。
  そのまま電話番号を入力すると修正できます。

8 決定/メニュー 保留 を押す

- 名前検索の画面に戻ります。続けて修正、消去を行いたい場合は、手順**2**〜**8**を繰り返します。
- 修正、消去を終了する場合は、スピーカ を押します。
- 特殊内線番号から検索して修正、消去したい場合は、確認/会議 を押すと、前ページの手順**2**からの操作で修正、消去ができます。

日付・時刻を変更する

システム

年月日、時刻を変更することができます。システム電話機のみで操作できます。

年月日を変更する

1 スピーカ を押す

2 ＊ を押す

3 5 1 を押す

4 年を入力する

- 西暦の下2ケタを入力します。2000～2099年まで設定できます。
  （例：2000年の場合 0 0）

5 月日を入力する

- 4ケタの数字で入力します。
  （例：1月21日の場合 0 1 2 1）

6 登録メニュー／決定 保留 を押す

- 「プー」という音が聞こえたら、設定が完了します。

7 スピーカ を押す

時刻を変更する

1 スピーカ を押す

2 ＊ を押す

3 5 0 を押す

4 現在の時刻を入力する

- 24時間制で4ケタの数字を入力します。
  （例：午後7時30分の場合 1 9 3 0）

5 登録メニュー／決定 保留 を押す

- 保留 を押した時点で00秒となります。
- 「プー」という音が聞こえたら、設定が完了します。

6 スピーカ を押す

夜間切換を設定する

システム　取付け時設定

外線からの電話を受けるとき、夜間や休日は宿直室の電話機で受けるなど、昼間と夜間で通話を受ける電話機を切り換えることができます。取付け時設定

取り付け時に設定した各モードへの切り換えは、システム電話機で行います。このページでは手動で切り換える方法を説明しています。自動的に切り換えたい場合は、次ページの設定を行ってください。

手動で夜間切換する

1 スピーカ を押す

2 ＊ を押す

3 夜間切換番号を押す

夜間モード　：　8 0
夜間(1)モード：　8 1
夜間(2)モード：　8 2
昼間モード　：　8 0（夜間、夜間(1)、夜間(2)のいずれかに設定している場合）

● 夜間、夜間(1)、夜間(2)に切り換えたときは、以下のように表示されます。

表示タイプ	表示
数字表示タイプ 漢字表示タイプ	夜間 夜間1 夜間2
カナ表示タイプ 大型表示タイプ	NIGHT NIGHT1 NIGHT2

4 スピーカ を押す

お知らせ

● 自動夜間切換を設定中に、上記の方法で手動で夜間切換の設定を行うと、手動で切り換えた設定に切り換わりますが、自動夜間切換を設定していた時刻になると、自動設定してあるモードに切り換わります。
● FFキーに夜間1、夜間2を割付る場合は夜間の割付も必要です。

自動夜間切換を設定する

システム

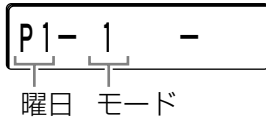
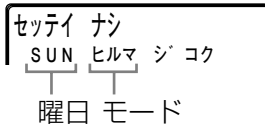
昼間と夜間で、外線からの電話を受ける電話機を変える場合(夜間切換)、時刻を設定しておくと自動的に昼間/夜間モードを切り換えることができます。

自動切換時刻を設定する

システム

1 スピーカ 文字設定/転送 0 2 を押す

- 日曜日の昼間/夜間モードの設定画面が表示されます。

数字表示タイプ

漢字／カナ／大型表示タイプ

2 昼間モードに切り換える時刻を押す

- 24時間制で4ケタの数字で入力してください。
  (例：午前7時30分の場合)

3 登録メニュー/決定 保留 を押す

4 夜間モードに切り換える時刻を押す

- 24時間制で4ケタの数字で入力してください。

5 登録メニュー/決定 保留 を押す

- 日曜日の昼間/夜間モードの設定が完了し、次の曜日の昼間モードの画面に変わります。

6 手順2から手順5を繰り返して、残りの曜日の昼間/夜間モードを設定する

7 スピーカ を押す

		数字表示タイプ	漢字／カナ／大型表示タイプ
日曜日	昼間 夜間	P1-1 P1-2	SUN ヒルマ SUN ヤカン
月曜日	昼間 夜間	P2-1 P2-2	MON ヒルマ MON ヤカン
火曜日	昼間 夜間	P3-1 P3-2	TUE ヒルマ TUE ヤカン
水曜日	昼間 夜間	P4-1 P4-2	WED ヒルマ WED ヤカン

		数字表示タイプ	漢字／カナ／大型表示タイプ
木曜日	昼間 夜間	P5-1 P5-2	THU ヒルマ THU ヤカン
金曜日	昼間 夜間	P6-1 P6-2	FRI ヒルマ FRI ヤカン
土曜日	昼間 夜間	P7-1 P7-2	SAT ヒルマ SAT ヤカン

お知らせ

- 途中で間違えた場合は、# (次へ)または * (前へ)を押して変更したい手順に移ったあとに設定し直します。
- 手順**2**から手順**5**でモードを切り換えない曜日がある場合は、# を押して次の手順に移ってください。前の画面に戻る場合は、* を押してください。
- 昼間/夜間モードに切り換える時刻は、1日につき1回のみ設定できます。
- 自動夜間切換を設定中に、前ページの方法で手動で夜間切換の設定を行うと、手動で切り換えた設定に切り換わりますが、自動夜間切換を設定していた時刻になると、自動設定してあるモードに切り換わります。

設定を解除するには

1 スピーカ 文字設定/転送 0 2 を押す

2 # を押して解除したい項目を選ぶ

3 確認/会議 を押す

4 保留 を押す

解除を続ける場合は、手順**2**から手順**4**の操作を行います。

5 スピーカ を押す

設定を確認するには

1 スピーカ 文字設定/転送 0 2 を押す

2 # を数回押す

登録されている内容が表示されます。

3 スピーカ を押す

自動切換時刻の設定操作例

例： 営業時間が月曜日～金曜日は午前9時～午後5時、土曜日、日曜日は休みの会社の場合

昼間/夜間モードを以下のように設定します。

9:00　17:00

1 スピーカ 文字設定/転送 0 2 を押す

日曜日の設定

金曜日の午後5時以降、夜間モードを継続するため、設定の必要はありません。

2 #（次の設定へ）

3 #（次の設定へ）

月曜日～金曜日の設定

4 0 9 0 0 保留 を押す

昼間モードに切り換える時刻を午前9時に設定します。

5 1 7 0 0 保留 を押す

夜間モードに切り換える時刻を午後5時に設定します。

6 手順 **4**、**5** を繰り返す

土曜日の設定

金曜日の午後5時以降、夜間モードを継続するため、設定の必要はありません。

7 スピーカ を押す

システム電話機からの操作編

自動夜間切換を設定する

自動夜間切換の例外日時を設定する

システム

祝祭日や臨時の休日、長期休暇など、通常の昼間/夜間切換とは異なる設定をすることができます。

1 スピーカ 文字設定/転送 0 3 を押す

- 例外の昼間/夜間設定画面が表示されます。

```
P011    -
○○月○○日
レイガ゛イ 1      ヒヅ゛ケ
```

2 例外の設定をしたい月日を入力する

- 4ケタの数字で入力してください。
（例：5月5日の場合 0 5 0 5）

3 登録メニュー/決定 保留 を押す

```
P012    -
XX:XX
レイガ゛イ 1   ヒルマシ゛コク
```

4 昼間モードに切り換える時刻を押す

- 24時間制で4ケタの数字で入力してください。
（例：午前7時30分の場合 0 7 3 0）

5 登録メニュー/決定 保留 を押す

```
P013    -
△△:△△
レイガ゛イ 1   ヤカンシ゛コク
```

6 夜間モードに切り換える時刻を押す

- 24時間制で4ケタの数字で入力してください。

7 登録メニュー/決定 保留 を押す

- 指定した日の昼間/夜間モードの設定が完了し、次の例外月日の設定画面に変わります。

```
P021    -
□□月□□日
レイガ゛イ 2      ヒヅ゛ケ
```

8 手順2から手順5を繰り返して、残りの月日の昼間/夜間モードを設定する

- 設定する必要がある場合のみ設定してください。

9 スピーカ を押す

- スピーカ を押さないと、手順**2**の画面に戻ります。

```
P011    -
○○月○○日
レイガ゛イ 1      ヒヅ゛ケ
```

お知らせ

- 設定をする必要がない場合は、# を押して次の手順に移ってください。前の画面に戻る場合は、＊ を押してください。
- 昼間/夜間モードの例外日時は20日設定できます。
- 夜間(1)に切り換える場合は手順**6**のあと 1、夜間(2)の場合は 2 を押します。

設定を解除するには

1 スピーカ 文字 設定/転送 0 3 を押す

2 # を押して解除したい項目を選ぶ

3 確認/会議 を押す

4 保留 を押す

解除を続ける場合は、手順**2**から手順**4**の操作を行います。

5 スピーカ を押す

設定を確認するには

1 スピーカ 文字 設定/転送 0 3 を押す

2 # を数回押して確認したい項目を選ぶ

登録されている内容が表示されます。

3 スピーカ を押す

自動夜間切換をしない期間を設定する　システム

年末年始やお盆休みなど、連続して休暇になる場合、自動夜間切換しない期間を設定します。

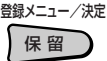
1 スピーカ 文字設定／転送 0 4 を押す

- 昼間/夜間設定を解除する画面が表示されます。

P011　-
〇〇月〇〇日
カイジ゛ョ 1　カイシ

2 自動夜間切換しない期間の最初の月日を入力する

- 4ケタの数字で入力してください。（**例：12月29日の場合** ）

3 登録メニュー／決定 保留 を押す

P012　-
XX月XX日
カイジ゛ョ 1　シュウリョウ

4 自動夜間切換しない期間の最後の月日を入力する

- 4ケタの数字で入力してください。

5 登録メニュー／決定 保留 を押す

- 設定を続ける場合は、手順**2**から手順**5**の操作を行ってください。

P021　-
△△月△△日
カイジ゛ョ 2　カイシ

6 スピーカ を押す

お知らせ

- 設定をする必要がない場合は、＃を押して次の手順に移ってください。前の画面に戻る場合は、＊を押してください。＃や＊は何度押してかまいません。
- 自動夜間切換をしない期間は、6期間まで設定できます。
- 自動夜間切換しない期間中に、手動で切り換えることができます。

設定を解除するには

1 スピーカ 文字 設定／転送 0 4 を押す

2 # を押して解除したい項目を選ぶ

3 確認／会議 を押す

4 保留 を押す

解除を続ける場合は、手順**2**から手順**4**の操作を行います。

5 スピーカ を押す

設定を確認するには

1 スピーカ 文字 設定／転送 0 4 を押す

2 # を数回押す

登録されている内容が表示されます。

3 スピーカ を押す

通話料金を集計する

システム

各電話機の通話料の合計、またはすべての電話機の通話料の合計を確認できます。システム電話機のみで操作できます。

各電話機の合計通話料金を確認する

1 スピーカ を押す

2 ＊ を押す

3 4 を押す

4 通話料金の合計を確認したい電話機の内線番号を押す

- 内線番号と通話料金の合計が表示されます。

5 スピーカ を押す

お知らせ

- 次の内線番号の電話機の通話料金の合計を表示するには、手順**4**のあと＃を押します。
- 各電話機の通話料金の合計をクリアするには、手順**4**のあとで0＊を押します。
- 各電話機の合計の通話料金は、500,000円まで表示されます。

  500,000円を超えると、表示は500,000円のままとなります。

すべての電話機の合計通話料金を確認する

1 スピーカ を押す

2 ＊ を押す

3 4 9 を押す

- 通話料金の合計が表示されます。

4 スピーカ を押す

お知らせ

- すべての電話機の通話料金の合計をクリアするには、手順**3**のあとで0＊を押します。

お知らせ

- 通話料金は、通信事業者(電話会社)のものと同一とは限りません。目安としてお使いください。
- 通話料金の合計は、各電話会社の合計料金(NTT換算)を表示します。
- 国際電話の通話料金は、通話料金集計には含まれません。
- 携帯電話、PHS、自動車電話、船舶電話、列車電話、キャッチホン、コールウェイティング、電報、コレクトコール、フリーダイヤル、伝言ダイヤルなどは料金表示されません。
- 別売のインターネット接続ユニットで**TELEMORE-IP**をお使いの場合は、ネットワークの設定や運用方法、パソコンのソフトウェアの設定等により、意図しない接続で予想外の通話料金がかかる場合があるのでご注意ください。
- 集計した通信料金を印字(別売品等が必要)することができます。(➡184ページ)

TELEMORE-IPでご利用になれる回線サービス

回線サービスを利用して、いろいろな機能を使うことができます。**TELEMORE-IP**が電話（アナログ）回線をお使いの場合はISDNサービスをご利用になれません。サービスの詳細については、NTTにお問い合わせください。

◆ISDNとは

従来の電話（アナログ）回線網に比べて、高速で高品質な通信が可能な、デジタル通信の回線網です。
このシステムでは、NTTの提供するISDN回線（INSネット64）を使用して通話を行い、ISDNならではのサービスを利用して、電話機をさらに便利にお使いになれます。
INSネット64は、1回線につき2チャネル（通話路）を持ち、同時に2つの通話ができます。

ISDN回線と電話（アナログ）回線でお使いになれるサービス

サービス		内容	操作ページ
ダイヤルイン	※	外線から特定の内線番号を呼び出すことができます。	133
ナンバー・ディスプレイ	※	外線から電話がかかってきたとき、相手の電話番号が通知されたときは電話番号を表示します。電話番号が通知されないときは、その理由を表示します。	134
ネーム・ディスプレイ	※	電話がかかってきたとき、発信者の電話番号と名前を表示します。	135
迷惑電話おことわり	※	迷惑電話を受けたときに、登録操作により以降同じ電話番号からかかってきた場合に受け付けないようにできます。	136

ISDN回線でお使いになれるサービス ISDN

サービス				内容	操作ページ
発信者番号通知				電話をかけた相手の電話番号を電話機に通知します。	138
サブアドレス通知サービス				外線から特定の内線電話機を呼び出すことができます。ただし、電話（アナログ）回線から、**TELEMORE-IP**の内線電話機を呼び出すことはできません。	139
フレックスホン	着信転送	一般着信	※	外線からかかってきた電話番号を、あらかじめ設定しておいた転送先に転送します。	140
フレックスホン	着信転送	個別着信	※	外線から個別の電話機にかかってきた電話（サブアドレスやダイヤルイン等）をあらかじめ設定しておいた転送先に転送します。	149
フレックスホン	着信転送	ダイヤルイングループ着信	※	外線からダイヤルイングループ着信でかかってきた電話を、あらかじめ設定しておいた転送先に転送します。	151
フレックスホン	コールウェイティング		※	通話中に外線から電話がかかってきた場合、通話中の相手を保留にして、かかってきた相手と通話することができます。	141
フレックスホン	通信中転送		※	外線からかかってきた電話に出たあとに、他の人に転送します。	142
i・ナンバー			※	外部から特定の内線電話機を呼び出すことができます。	143

この他にも、NTTの付加サービスを契約して次の機能を利用することができます。このシステムは、スティミュラスプロトコル手順に対応しています。操作につきましては、NTTの案内に従ってください。

INSボイスワープ※：外線から電話がかかってきたときに、あらかじめ指定した転送先に自動的に転送するサービスです。

INSナンバー・リクエスト※：電話番号を通知しない人からの電話をおつなぎしないサービスです。番号を通知してからかけなおすように音声ガイダンスが流れます。この機能は、INSナンバー・ディスプレイのオプション機能です。

INSマジックボックス※：お話し中やご不在中など、かかってきた電話に出られないとき、センターが応答してメッセージを録音するサービスです。外出先の携帯電話、公衆電話からもメッセージの再生、消去が行えます。

※これらのサービスを利用するには、NTTと付加サービスの契約が必要です。

ISDN回線でお使いの場合 ISDN

- NTTの付加サービスのフレックスホン（着信転送）を契約していなくても、**TELEMORE-IP**独自の機能を使って着信転送をすることができます。
  ただし、転送先へ発信するために着信用とは別のISDN回線の空きチャネルが必要です。

<table>
<tr><td rowspan="5">着信転送（局線間転送）</td><td colspan="2">手動転送</td><td>外線からかかってきた電話に応答したあと、手動で外線の相手に転送します。</td><td>163</td></tr>
<tr><td rowspan="4">自動転送</td><td>一般転送</td><td>外線からかかってきた電話を、あらかじめ設定しておいた転送先に自動的に転送します。</td><td>147</td></tr>
<tr><td>個別着信</td><td>外線から個別の電話がかかってきた電話（サブアドレス、ダイヤルイン等）をあらかじめ設定しておいた転送先に自動的に転送します。</td><td>149</td></tr>
<tr><td>ダイヤルイングループ着信</td><td>外線からダイヤルイングループ着信でかかってきた電話を、あらかじめ設定しておいた転送先に自動的に転送します。</td><td>151</td></tr>
</table>

ISDN回線でお使いの場合 ISDN

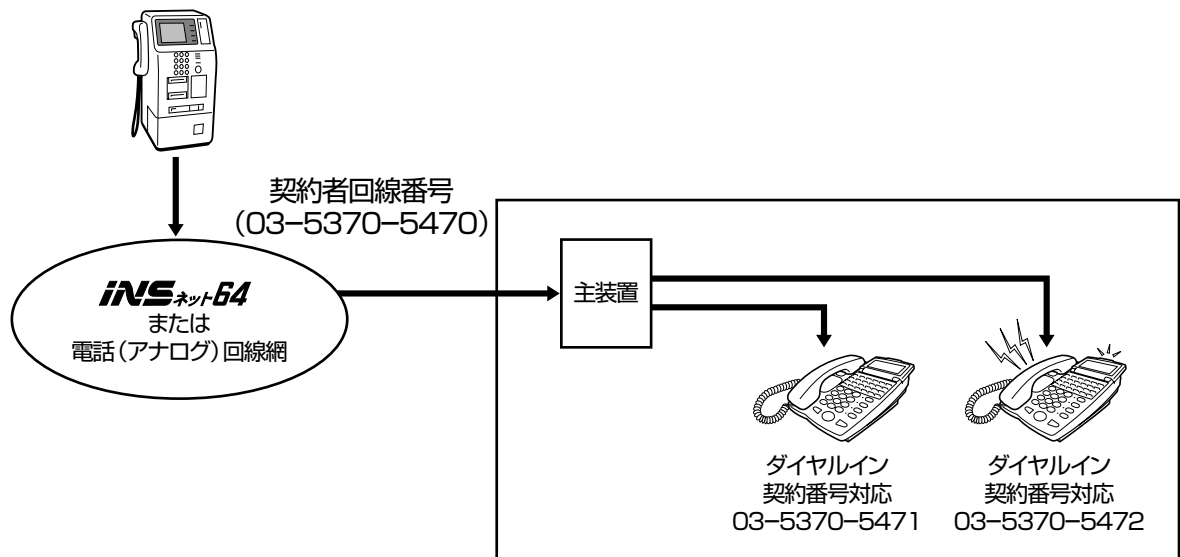
- サブアドレス通知サービスを利用してお使いになれる機能

機能	説明	ページ
外線から昼間/夜間モードを切り換える	外線から昼間／夜間モードを切り換えることができます。	165
ISDNクローズドナンバリング	他の電話機システムの電話機を、内線を呼び出すのと同じ操作で簡単に呼び出すことができます。	166
外線から転送先を変更する	外線から着信転送（一般着信、ダイヤルイングループ着信）の転送先を変更することができます。	148 153

ダイヤルイン（付加サービス）

外線から、**TELEMORE-IP**の特定の内線電話機を呼び出す場合、契約者回線番号とは別に、それぞれの電話機にダイヤルインのための契約番号を設定し、その契約番号をダイヤルして直接内線電話機を呼び出すことができます。（ダイヤルイン個別着信）
ISDN回線でお使いの場合も、電話（アナログ）回線でお使いの場合もご利用になれますが、この機能を利用するにはNTTとの契約が必要です。

（例） 外線から契約者回線番号03-5370-5470のダイヤルイン契約番号03-5370-5472の電話機を呼び出す

外線から03－5370－5472をダイヤルする

● 契約者回線番号03-5370-5470を通して、ダイヤルイン契約番号03-5370-5472に電話がかかります。

お知らせ

● ダイヤルイン契約番号は最大50個まで設定できます。

● 取付け時の設定により、以下のようなこともできます。 取付け時設定

- ダイヤルイン契約番号ごとに着信音を設定できます。（最大9種類）
- グローバル着信 ISDN
  契約者回線番号に電話がかかると、設定した電話機すべてを呼び出すことができます。
- ダイヤルイングループ着信 ISDN
  ダイヤルイン契約番号ごとに、複数の電話機（ダイヤルイングループ）を呼び出すことができます。
  ダイヤルイングループは最大8グループまで設定できます。
  ダイヤルイングループごとに転送先電話番号を設定し、着信転送（フレックスホン（付加サービス）、局線間転送）を行うこともできます。
- ダイヤルインボタン着信 ISDN
  外線ボタンをダイヤルイン契約番号ごとに着信するかを設定することができます。例えば、ファクス着信用の外線ボタンに指定すると、外線ランプでファクスが使用中かどうかを確認することができます。
  また、電話機ごとに発信用として使用する外線ボタンを指定することもできます。（外線捕捉優先指定）

ナンバー・ディスプレイ（付加サービス）

外線から電話がかかってきたとき、発信者の電話番号が通知されたときは発信者の電話番号、通知されないときにはその理由を通知するサービスです。この機能を利用するときには、NTTとの契約が必要です。

ISDN回線でお使いの場合も、電話(アナログ)回線でお使いの場合もご利用になれる機能です。

電話がかかってきたとき

外線から電話がかかってきたとき、発信者の電話番号が通知された場合には、着信音が鳴っている電話機すべてに、かけてきた相手(発信者)の電話番号が表示されるので相手の電話番号を確認してから電話を受けることができます。電話に応答すると相手の電話番号は消えますが、設定によって電話を受けたあとも電話番号を表示することができます。 取付け時設定

<表示例：岩通太郎さん(内線17番)の電話機にかかってきた場合>

<外線からかかってきたとき> 例：東京支店(03-1234-5678)からかかってきたとき

	数字表示タイプ	カナ表示タイプ	大型表示タイプ
名前登録なし	0312345678	0300005678 イワツウ タロウ 17	0312345678 イワツウ タロウ 17
名前登録あり (外線電話帳／発信者名)		トウキョウシテン イワツウ タロウ 17	トウキョウシテン イワツウ タロウ 17

発信者の電話番号
電話機の名前と内線番号
発信者の名前

通知された電話番号が発信者名(➡118ページ)または共通短縮ダイヤル(➡109ページ)に名前を登録されている場合は、名前を表示します。

NTTとの契約により、下記のような表示になります。

TELEMORE-IP側の回線 (受ける側)		相手の回線(かける側)			
		ISDN		電話(アナログ)	
		番号通知	番号非通知*	番号通知	番号非通知*
ISDN	ナンバーディスプレイ 契約有り	○	△	○	△
	ナンバーディスプレイ 契約無し	○	×	×	×
電話 (アナログ)	ナンバーディスプレイ 契約有り	○	△	○	△
	ナンバーディスプレイ 契約無し	×	×	×	×

○ ：相手の電話番号を表示します。 △：非通知理由を表示します。 ×：表示しません。
* ：公衆電話、電話番号通知のできないネットワークからかけた場合も含まれます。

電話(アナログ)回線をお使いの方から電話番号が通知されたときは、**TELEMORE-IP**の着信回線がナンバー・ディスプレイを契約している場合に、電話番号が表示されます。

相手の電話番号が通知されないときは、以下のような表示になります。

表示		内容
数字表示タイプ	カナ表示タイプ/大型表示タイプ	
-C-	コウシュウデンワ	公衆電話から電話がかかってきたとき
-P-	ヒツウチ	「非通知」で電話がかかってきたとき
-O- または -S-	ヒョウジケンガイ	国際電話などで番号を通知できない電話がかかってきたとき

※NTTがサービス内容の変更や追加を行った場合には、表示内容が変わることがあります。

お知らせ

- 表示可能なケタ数を超える電話番号が通知された場合、表示可能なケタ数(➡17ページ)まで表示します。
- **TELEMORE-IP**に接続される単独電話機、停電中の停電用電話機には、電話をかけてきた相手の電話番号は表示されません。

ネーム・ディスプレイ(付加サービス)

漢字

取付け時設定

電話がかかってきたとき発信者の電話番号と名前を表示するサービスです。この機能を利用するには、NTTとの契約が必要です(非通知設定の場合は除く)。
ISDN回線でもアナログ回線でもご利用になれるサービスです。
発信者の名前が表示できるのは漢字表示付電話帳のみです。

電話がかかってきたとき

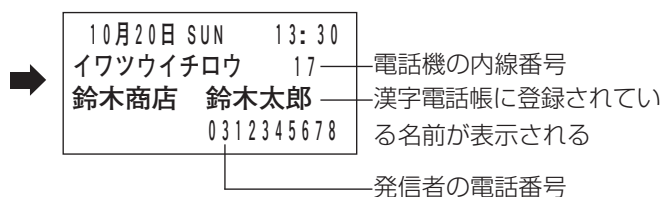
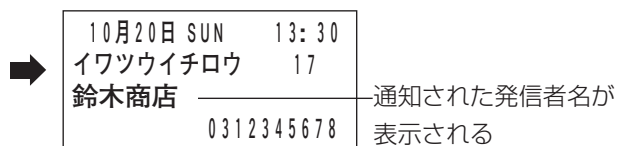
外線から電話がかかってきたとき、発信者の電話番号と名前が通知された場合には、着信音が鳴っている漢字表示付電話機すべてに、かけてきた相手(発信者)の名前が表示されるので、相手を確認してから電話を受けることができます。

ネーム・ディスプレイはナンバー・ディスプレイのオプションサービスで、発信者番号だけでなく、発信者名も表示されるサービスです。

表示例

〈岩通一郎さん(内線17番)の電話に、鈴木商店の鈴木太郎さん(03-1234-5678)からかかってきた場合〉
〈発信者番号と、発信者名前が通知されて〉

通常は発信者番号により、漢字電話帳に登録された名前が表示されます。 ➡

10月20日 SUN 13:30
イワツウイチロウ 17 ― 電話機の内線番号
鈴木商店 鈴木太郎 ― 漢字電話帳に登録されている名前が表示される
0312345678 ― 発信者の電話番号

設定により発信者から通知された名前をそのまま表示することもできます。取付け時設定 ➡

お知らせ

- 発信者名が通知されたら、表示された名前と発信者の電話番号が着信履歴に記録されます。
  着信履歴の発信者の名前と電話番号を、そのまま漢字電話帳に登録することができます。(➡38ページ)
- カナ/大型表示付電話機の場合、通知された発信者名は表示されませんが、通知された発信者番号により、発信者名または共通短縮ダイヤルに名前が登録されている場合は発信者名が表示されます。詳しい表示例は、ナンバー・ディスプレイ(➡134ページ)参照。
- 通知された発信者名は、着信通話履歴/着信不応答履歴/システム着信履歴への記録は行われません。

迷惑電話おことわり

外線からかかってきた電話の通話中に電話機から登録操作を行うと、以降同じ電話番号からかかってきた着信を受け付けないようにすることができます。
相手には、「こちらは、○○-△△△△-□□□□*です。この電話はお受けできません。ご了承ください」と自動的にメッセージが流れます。（*：迷惑電話おことわりサービス契約者の電話番号）
この機能を利用するには、NTTとの契約が必要です。
ISDN回線でもアナログ回線でもご利用になれるサービスです。

通話中に登録操作を行う

1 通話中に、[迷惑電話おことわり] を押す

2 通話終了後、自動的に登録される

3 登録完了のガイダンスが流れてくる

- 「登録を完了しました。」とガイダンスが流れてきたら、登録完了です。

ご注意

- 共通短縮ダイヤル 796 に、あらかじめ 1442#（アナログ回線の場合は 144P2（P はポーズ））を登録してください。
- 他の発信や着信と重なった場合には、登録できないことがあります。

登録を解除するには

1 契約している外線を捕捉する

2 [迷惑電話解除]（または [迷惑電話一括解除]）を押す

- [迷惑電話解除] を押すと、最新の登録した電話番号が1件ずつ解除されます。
- [迷惑電話一括解除] を押すと、すべての登録した電話番号が一括で解除されます。

3 解除完了のガイダンスが流れてくる

- [迷惑電話解除] の場合　：「最も新しい登録の電話番号を解除しました。現在登録されている電話番号は○件です。」
- [迷惑電話一括解除] の場合　：「現在登録されている電話番号をすべて解除しました。」

ご注意

- 迷惑電話解除は、共通短縮ダイヤル 795 に、あらかじめ 1443#（アナログ回線の場合は 144P3（P はポーズ））を登録してください。
- 迷惑電話一括解除は、共通短縮ダイヤル 794 に、あらかじめ 1449#（アナログ回線の場合は 144P9（P はポーズ））を登録してください。

迷惑電話おことわりサービスの効果を確認するには

1 契約している外線を捕捉する

2 迷惑電話効果確認 を押す

3 応答回数のガイダンスが流れてくる

- 「今月、メッセージ応答した回数は○○回(以上)です。前月、メッセージ応答した回数は○○回(以上)です。」と、応答回数のガイダンスが流れてきます。

ご注意

- 共通短縮ダイヤル 793 に、あらかじめ 1444#（アナログ回線の場合は 144P4（P はポーズ））を登録してください。

FF キーに迷惑電話おことわりサービスの設定をするには

1 スピーカ を押す

2 文字設定/転送 を押す

3 設定したい FF キーを押す

4 設定する「設定番号」を押す

迷惑電話おことわり　：＊ 8 3 3
迷惑電話解除　：＊ 8 3 4
迷惑電話一括解除　：＊ 8 3 5
迷惑電話効果確認　：＊ 8 3 6

5 保留 を押す

6 スピーカ を押す

お知らせ

- 電話をかけてきた相手の利用回線が非通知契約や184を付けてダイヤルしてきた場合にも登録することができます。ただし、一部のPHSや国際電話などでご利用になれない場合があります。
- 迷惑電話おことわりサービスには、最大登録数6件の「迷惑電話おことわりサービス6」と最大登録数30件の「迷惑電話おことわりサービス30」があります。契約した最大登録数を超えると、古い順に解除されて新たに登録されます。
- ダイヤルQ2回線、アナログ回線ダイヤルインサービスの場合は、「迷惑電話おことわりサービス」はご利用できません。
- ISDN回線でダイヤルイン、i・ナンバー、代表取扱サービスの場合は、発信者通知を行う必要があります。
- 「迷惑電話おことわりサービス」に登録した電話番号を確認することはできません。
- 共通短縮ダイヤル番号793～796を使用しますので、3ケタで設定されている必要があります。取付け時設定

回線サービス編

発信者番号通知（基本サービス）

電話をかけた相手の電話機に、発信者電話番号を通知するサービスです。相手の電話機が電話(アナログ)回線の場合には、相手がナンバー・ディスプレイを契約している場合のみ電話番号を通知します。

ISDN回線でお使いの場合にご利用になれる機能です。

電話をかけたとき

取付け時設定

TELEMORE-IPから電話をかけたとき、相手の電話機に電話番号が通知されます。

発信者番号の通知について

NTTに申し込んだ方法により、操作が異なります。

・**「通常通知」を選択している場合**
　通常のかけ方で、発信者の電話番号を通知します。相手の電話番号の前に「184」をつけてダイヤルすると、その通話に限り電話番号を通知しないようにします。

・**「通常非通知」を選択している場合**
　通常のかけ方では発信者の電話番号を通知しません。相手の電話番号の前に「186」をつけてダイヤルすると、その通話に限り電話番号を通知することができます。

通知方法の変更は、NTTへの申し込みが必要になります。

電話（アナログ）回線でお使いの場合は
● 同じ方法で発信者番号を通知／非通知することができます。

お知らせ

● **TELEMORE-IP**側がダイヤルイン契約をしていれば、電話をかけたときにダイヤルイン番号を通知することもできます。（ISDN回線でお使いの場合のみ利用できます）取付け時設定

電話がかかってきたとき

取付け時設定

NTTとナンバー・ディスプレイを契約しなくても、ISDN回線の相手から発信者の電話番号が通知されてかかってきたときは、着信音とともにかけてきた相手の電話番号が表示されます。相手を確認してから電話を受けることができます。電話に応答すると相手の電話番号の表示は消えます。

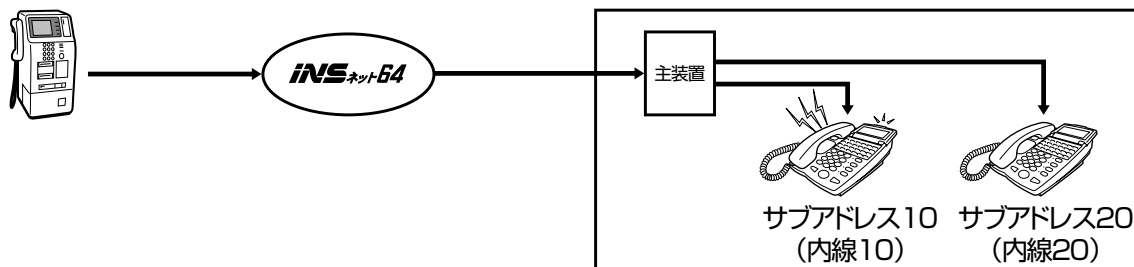
電話がかかってきたときの表示については、134ページ中央の表内の「ナンバー・ディスプレイ　契約無し」の行と<外線からかかってきたとき>の表示例を参照してください。
電話(アナログ)回線の相手から、発信者の電話番号が通知されてかかってきたときは、**TELEMORE-IP**の着信回線がナンバー・ディスプレイを契約している場合のみ、表示されます。

お知らせ

● 長い電話番号が通知された場合、表示可能なケタ数まで表示します。
● **TELEMORE-IP**に接続される単独電話機、停電中の停電用電話機には、電話をかけた相手の電話番号は表示されません。
● 発信者の電話番号が通知されない場合には表示されません。

サブアドレス通知（基本サービス） ISDN

電話番号のあとに内線番号を押すことによって、外線から特定の内線電話機を直接呼び出すことができます。
ただし、電話(アナログ)回線から**TELEMORE-IP**の内線電話機を呼び出すことはできません。

（例）　外線から03-5370-5470(契約者回線番号)の内線番号10の電話機を直接呼び出す

外線から特定の内線電話機を呼び出す

1 外線から契約者回線番号（例：03-5370-5470）をダイヤルする

- サブアドレスを通知できる電話機から電話をかけてください。

2 [サブアドレス] を押す

- この操作は電話機によって異なります。

3 サブアドレス番号（例：[1][0]）を押す

4 [発信] を押す

- この操作は電話機によって異なります。

TELEMORE-IPから外線の特定の内線電話機を呼び出す（サブアドレス発信）

（例）**TELEMORE-IP**からISDN回線 03−1234−5678(契約者回線番号)の内線番号10の電話機を呼び出す

1 受話器を取る → **2** [発信] を押す → **3** 03−1234−5678をダイヤルする → **4** [＊] を押す → **5** サブアドレス番号（例：[1][0]）を押す → **6** [＃] を押す

お知らせ

- 手順**6**で[＃]を押さなくても、設定した時間(取付け時の設定は6秒)が経過すると、自動的に発信します。取付け時設定

お知らせ

- このサービスは、相手の電話機が電話(アナログ)回線の場合は利用できません。
- サブアドレス番号は19ケタまで入力できます。

フレックスホン 着信転送

NTTのフレックスホン(着信転送機能)を利用して外線着信を自動転送することができます。この機能を利用するには、NTTと契約が必要です。
フレックスホンの着信転送には一般着信、個別着信、ダイヤルイングループ着信の3種類の転送方法があります。転送先の指定は指定電話機(➡10ページ)で行います。

自動転送(着信転送)

一般着信

- 外線からかかってきた電話を、あらかじめ設定しておいた外線の転送先へ自動的に転送します。
- 転送先が応答すると、転送アナウンスが流れて、転送された電話であることをお伝えします。取付け時設定
- この機能は本システムの自動転送(一般着信)(➡147ページ)とほぼ同じです。
- 転送先の電話番号の設定は、147ページの操作を行ってください。システム
- 外線から転送先を設定／変更するには、148ページの操作を行ってください。

個別着信

- 外線から個別の電話機にかかってきた電話(サブアドレスやダイヤルイン、ｉ・ナンバー等)を、あらかじめ設定しておいた外線の転送先へ自動的に転送します。または、着信転送(一般着信)と同じ転送先へ自動的に転送することもできます。取付け時設定
- 転送先が応答すると、転送アナウンスが流れて、転送された電話であることをお伝えします。取付け時設定
- この機能は本システムの自動転送(個別着信)(➡149ページ)とほぼ同じです。
- 転送先の電話番号の設定は、149ページの操作を行ってください。システム
- 着信転送(個別着信)するように設定するには、150ページの操作を行ってください。

ダイヤルイングループ着信

- 外線からダイヤルイン契約番号(➡133ページ)またはｉ・ナンバーの契約番号(➡143ページ)でかかってきた電話を、あらかじめ設定しておいた外線の転送先へ自動的に転送します。または、着信転送(一般着信)と同じ転送先へ自動的に転送することもできます。取付け時設定
- 転送先が応答すると、転送アナウンスが流れて、転送された電話であることをお伝えします。取付け時設定
- この機能は本システムの自動転送(ダイヤルイングループ着信)(➡151ページ)とほぼ同じです。
- 転送先の電話番号の設定は、151ページの操作を行ってください。システム
- 外線から転送先を設定／変更するには、153ページの操作を行ってください。

お知らせ

- 相手の方が本システムに電話をかけたときの通話料金は電話をかけた相手の方のご負担、本システムから転送先への通話料金は本システム側のご負担となります。(転送先がフリーダイヤルの場合を除く)
- NTT側のサービス変更により変わることがあるため、詳しくはNTTにお問い合わせください。

フレックスホン コールウェイティング（付加サービス）

通話中に電話がかかってきたときに、通話中の相手を保留にしてかかってきた相手と通話することができます。

取付け時設定

この機能を使うためには、NTTと通信中着信通知とフレックスホン（コールウェイテイング機能）の契約が必要です。

通話を切り換える

通話中に「プッ、プッ」と聞こえたら、以下の操作を行ってください。

1 キャンセル フック を押す

- 通話を保留にして、かかってきた相手との通話に切り換わります。

2 通話を切り換えるには、キャンセル フック を押す

- 通話中の相手を保留にして、保留中の相手との通話に切り換わります。

お知らせ

- FFキーに 切換 を設定しておくと、フック を押す代わりに 切換 を押しても通話を切り換えることができます。
  FFキーに 切換 を設定する方法は、下記をお読みください。

FFキーに 切換 を設定するには

1 スピーカ を押す → **2** 文字 設定／転送 を押す → **3** 設定したいFFキーを押す →
4 短縮 # 4 を押す → **5** 保留 を押す → **6** スピーカ を押す

フレックスホン 通信中転送（付加サービス）

外線の相手と通話中に、別の外線の相手に転送することができます。取付け時設定
この機能を使うためには、NTTとフレックスホン（通信中転送機能）の契約が必要です。

外線からの電話を、外線の相手に転送する

1 通話中に 切換 を押す
- 通話中の相手を保留します。

2 転送先の電話番号をダイヤルする

3 # を押す

4 相手が応答したら、転送する旨をお知らせする

5 外線転送 を押す
- 電話が転送されます。
- 「ツー」という音が聞こえたら、転送完了です。

6

お知らせ

- 切換 を設定していないときは、手順**1**で フック を押しても操作できます。ただし、フック で通話を終了して、続けて電話をかける操作ができなくなります。取付け時設定
 FFキーに 外線転送 を設定する方法は、下記をお読みください。切換 の設定は141ページをお読みください。
- 手順**1**～**3**の代わりに、自動保留（➡102ページ）を登録した短縮ダイヤル、またはワンタッチボタンを押して操作することもできます。
- 転送先の人が応答しないときは、切換 または フック （➡141ページ）を押すと通話に戻ります。
- 転送できるのは、かかってきた電話のみです。

FF キーに 外線転送 を設定するには

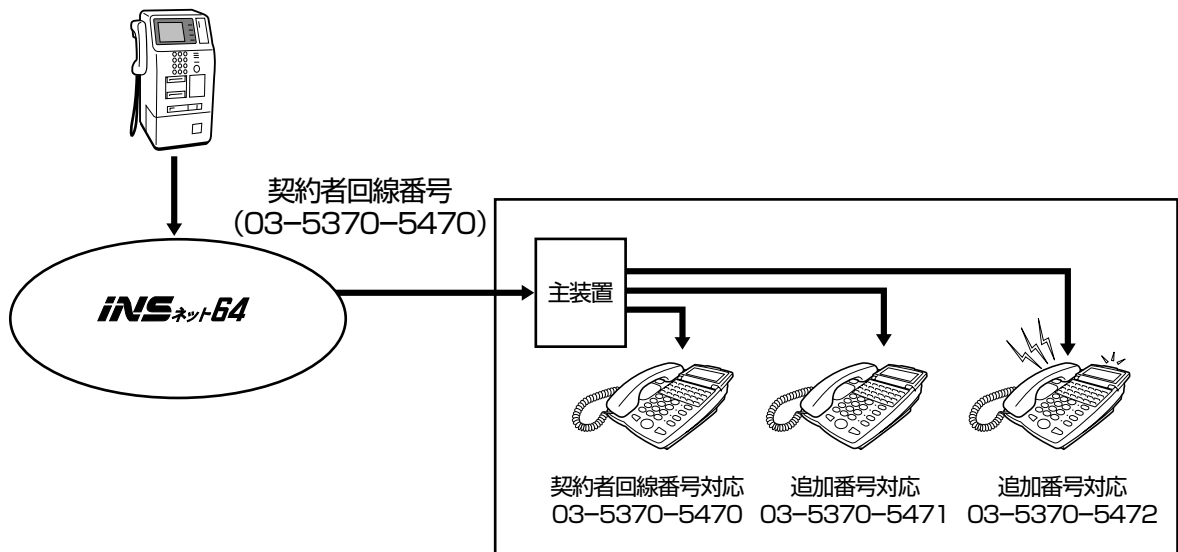
1 スピーカ を押す ➜ **2** 文字 設定/転送 を押す ➜ **3** 設定したい FF キーを押す ➜ **4** 短縮 # 1 を押す ➜ **5** 保留 を押す ➜ **6** スピーカ を押す

i・ナンバー (付加サービス)

ISDN

契約者回線番号とは別の電話番号を追加できます。外線から、**TELEMORE-IP**の内線電話機を呼び出す場合、契約者回線番号と追加した電話番号に対応する電話機をそれぞれに設定し、その電話番号をダイヤルして直接内線電話機を呼び出すことができます。
この機能を利用するためには、NTTとの契約が必要です。
(代表サービス、ダイヤルインとの同時契約はご利用になれません。)

(例) 外線から契約者回線番号03-5370-5470のダイヤルイン契約番号03-5370-5472の電話機を呼び出す

外線から 03–5370–5472 をダイヤルする

● 契約者回線番号03-5370-5470を通して、追加番号03-5370-5472に電話がかかります。
(同時にご利用いただけるのは、2回線分までとなります。)

お知らせ

● i・ナンバーは、電話番号を最大3個(契約者回線番号を含む)契約することができます。
代表取扱、ダイヤルインサービスとの併用はできません。

● 取付け時の設定により、以下の機能を利用することができます。取付け時設定

・電話番号ごとに特定の内線電話機を呼び出すことができます。

・電話番号ごとに着信音を設定できます。(最大9種類)

・i・ナンバーボタン着信
電話番号ごとに着信させる外線ボタンを設定することができます。
ファクス着信用の外線ボタンを設定すると、外線ボタンのランプでファクスが使用中かどうかを確認することができます。また、電話機ごとに発信用として使用する外線ボタンを指定することができます。(→外線捕捉優先指定)

・i・ナンバーによるダイヤルイングループ着信機能
電話番号ごとに複数の電話機を呼び出すことができます。
ダイヤルイングループ着信機能を利用し、電話番号ごとに、複数の電話機を呼び出す(ダイヤルイングループ)ことができます。
ダイヤルイングループは最大8グループまで設定できます。
ダイヤルイングループごとに転送先電話番号を設定し、着信転送(フレックスフォン(付加サービス)、局線間転送)を行うこともできます。
※ ダイヤルイングループ機能を利用するため、ダイヤルイングループによる着信転送機能については、151〜153ページを参照してください。

多彩な外線着信の転送機能

本システムは、NTTの付加サービス(フレックスホン)の着信転送機能の契約をしなくても、多彩な転送機能を使うことができます。(➡144〜162ページ)。ただし、転送先へ発信するために、着信用とは別のISDN回線の空きチャネルが必要です。
また、フレックスホンを利用した転送機能も使えます(➡140〜142ページ)。

外線着信の自動転送について

自動転送(一般着信) ISDN (➡147ページ)

● どんな着信を転送するの?
会社にかかってきた電話を転送します。
例: 営業時間後の電話を自宅に転送。

● どういうときに転送するの?
設定すると自動的に、昼間・夜間モードごとに転送します。

自動転送(個別着信) ISDN (➡149ページ)

● どんな着信を転送するの?
個別の電話機にかかってきた電話を転送します。
例: 外出中に自分あてにかかってきた電話のみを携帯電話等に転送。

● どういうときに転送するの?
外出する前に設定すると、自動的に転送します。

この機能を使うには、どの電話機にかかってきた電話を転送するか、あらかじめ設定する必要があります。 取付け時設定

自動転送(ダイヤルイングループ着信) ISDN (➡151ページ)

● どんな着信を転送するの?
ダイヤルイン契約番号やi・ナンバーの契約番号でかかってきた電話を転送します。
例: 部や課などのグループにかかってきた電話を、別の営業所に転送。

● どういうときに転送するの?
設定すると自動的に転送します。

お知らせ

- すべての転送機能に関して、相手の方が本システムに電話をかけたときの通話料金は電話をかけた相手の方のご負担、本システムから転送先への通話料金は本システム側のご負担となります。
- 転送先の設定は、指定電話機(➡10ページ)から行います。
  転送中は、FFキーに設定した外線転送ボタン(➡142ページ)が点灯します。
- 着信転送(局線間転送)使用中、またはISDN回線の空きチャネルがない場合は転送されずに一般の外線着信に切り換わります
- 転送先が一定時間内に応答しないと、転送されずに一般の外線着信に切り換わります。 取付け時設定
- 自動転送されてから、一定の時間(お買い上げ時の設定は30分)が経過すると、転送先に長時間通話防止のための警告音が聞こえ、約30秒後に自動的に電話が切れます。 取付け時設定
  また、取付け時の設定により、自動転送にかかった料金の合計を確認することもできます。 取付け時設定
- 転送先により、雑音が入る場合があります。
- 転送電話中の外線に割り込んで通話することはできません。

多彩な転送機能

さらにこんなに便利に転送される

外線着信の自動転送は以下の転送機能と組み合わせて使うことができます

ステップ転送 （➡156ページ）

社内に誰かいるときは社内で電話を受け、いないときだけ外出先に転送したい場合などに使います。

ダブル鳴音転送
（➡160ページ）

社内と着信先の両方で着信音を鳴らすことができます。どちらか先に電話をとった方が電話に出ることができます。できるだけお待たせしないで電話を受けたいときなどに使います。

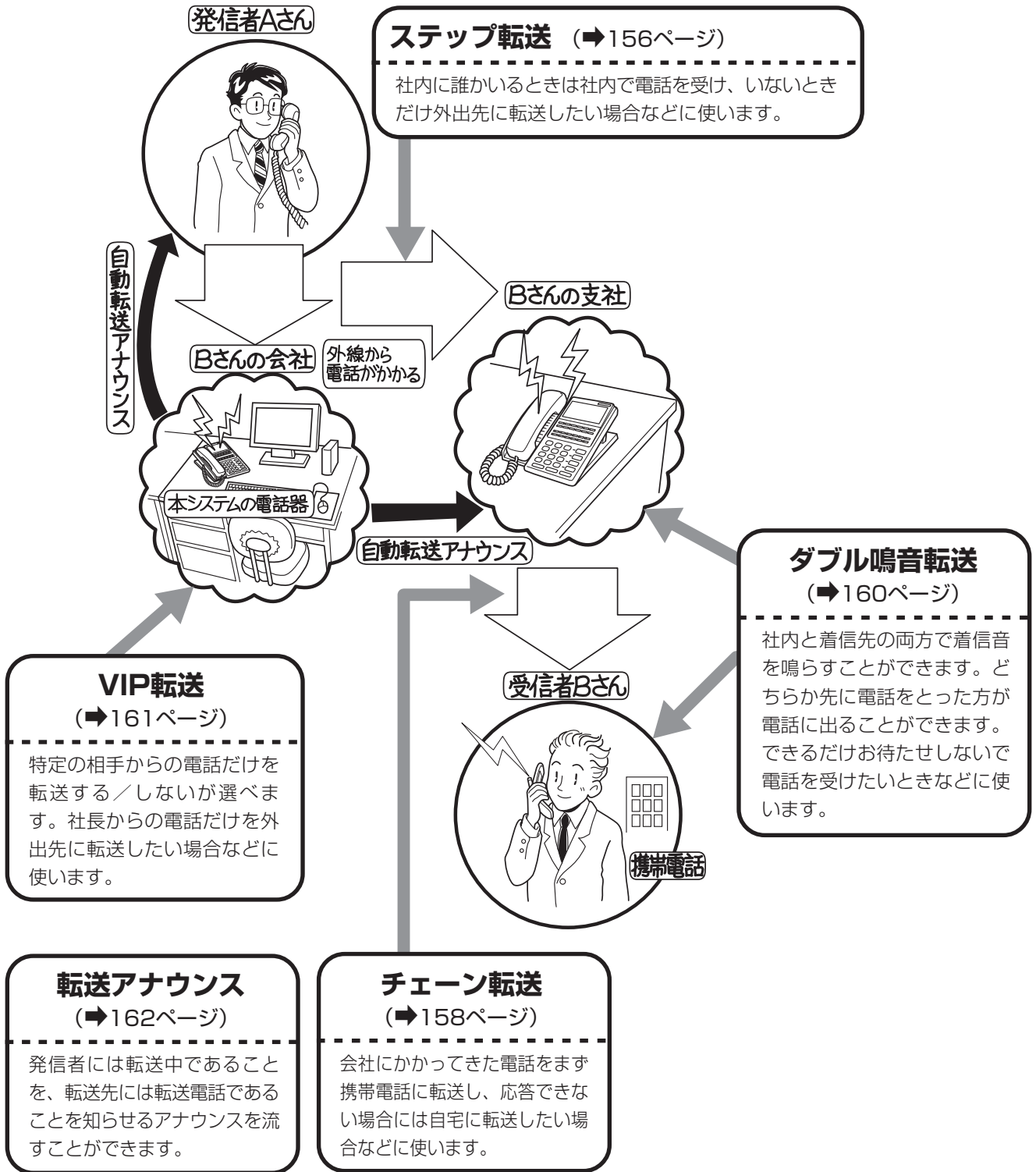
VIP転送
（➡161ページ）

特定の相手からの電話だけを転送する／しないが選べます。社長からの電話だけを外出先に転送したい場合などに使います。

転送アナウンス
（➡162ページ）

発信者には転送中であることを、転送先には転送電話であることを知らせるアナウンスを流すことができます。

チェーン転送
（➡158ページ）

会社にかかってきた電話をまず携帯電話に転送し、応答できない場合には自宅に転送したい場合などに使います。

手動による転送もできます

通話中転送 （➡163ページ）

外線の相手と通話中に、別の外線から電話がかかってきたときは
手動で別の外線の相手に転送できます。

通話中手動転送 （➡164ページ）

通話中に外線から着信があっても応答できないときは、手動で別の外線に転送できます。

お知らせ

- ISDN回線のときのみ転送することができます。
- 転送先へ発信するためには、着信用とは別のISDN回線の空きチャネルが必要です。
- この機能を利用するためには、NTTとのフレックスホン(着信転送機能)契約は不要です。
- 転送中は、他の回線で電話を転送することはできません。
- 転送先によって、通話中に雑音が入ることがあります。
- 転送電話中の外線に割り込んで通話することはできません。
- 組み合わせ可能な転送機能は以下のとおりです。

		VIP転送	チェーン転送	転送アナウンス
自動転送	即時転送	○	○	○
	ステップ転送	○	○	○
	ダブル鳴音転送	○	○	×
通話中手動転送		×	○	○

転送番号通知（任意番号通知）について ISDN

転送先に通知する発信者番号を登録することができます。取付け時設定

お知らせ

- ISDN回線を2本以上使用している場合、またはｉ・ナンバー、ダイヤルインサービスを利用している場合のみ使用できます。
- 登録できる発信者番号は、実際にお客様が契約している電話番号に限ります。

自動転送する

ISDN

外線 自動転送（一般着信）

外線にかかってきた電話を自動的にあらかじめ設定しておいた外線の転送先に転送することができます。

取付け時設定

自動転送先の電話番号を設定する

システム

転送先の設定は、指定電話機(➡10ページ)から行います。
本システムの昼間／夜間／夜間(1)／夜間(2)モードごとに転送先を設定することができます。
転送の設定／解除は、指定電話機の夜間切替の設定によります。(➡123ページ)

1 待ち受け中に
スピーカ を押す

2 文字設定／転送 を押す

3 2 0 を押す

4 夜間モード番号（1 ～ 4）を押す

1：昼間モード
2：夜間モード
3：夜間(1)モード
4：夜間(2)モード

5 ＊ を押す

6 転送先の電話番号を押す

- 最大24ケタまで入力できます。

7 登録メニュー／決定 保留 を押す

8 スピーカ を押す

設定した転送先電話番号を確認するには

手順**2**で 文字設定／転送 の代わりに 確認／会議 を押して、手順**3**～**5**の操作を行うと、設定した電話番号が表示されます。
電話番号を確認したら、スピーカ を押して元の表示に戻してください。

転送しないようにするには

解除は指定電話機の夜間切替の設定によります。夜間切替で設定されている場合に、転送されないようにするには手順**6**を抜いて操作します。登録されていた転送先の電話番号が消去され、転送されなくなります。

操作のヒント

- それぞれのモードで自動転送するように設定した場合は、電話機の表示部に漢字表示付電話機、数字表示タイプ電話機では「転送」、カナ表示付電話機、大型表示付電話機では「テンソウ」と表示されます。
- 転送先電話番号には、0 ～ 9 、＊ ＃ 短縮 が入力できます。
- 着信転送先番号設定を短縮番号へ登録することができます。(➡109 ページ)
- FF キーに着信転送先番号設定が登録された短縮番号を設定すれば、FF キーで転送先を設定することもできます。(➡81 ページ)

お知らせ

- 自動転送(一般着信)をする／しないは、昼間／夜間／夜間(1)／夜間(2)ごとに取付け時に設定します。取付け時設定
- 転送するためには、着信用とは別のISDN回線の空きチャネルが必要です。
- 手順**6**の前に外線捕捉特番を入力することもできます。取付け時設定

外線から転送先を設定／変更する

外線から転送先を変更するには、転送先の電話番号を入力する方法と、電話をかけた電話機を転送先にする方法の2種類があります。

1 外線から本システムに電話をかける
- サブアドレスを通知できる電話機からかけてください。
- 電話をかけた電話機を転送先にするときは、発信者の電話番号が通知できる電話機からかけてください。

2 [サブアドレス] を押す
- この操作はお使いの電話機によって異なります。

3 サブアドレス設定変更パスワード（4ケタ）を押す

転送先の電話番号を入力する方法

4 [2][0]を押す

5 夜間モード番号（[1]～[4]）を押す

[1]：昼間モード　[2]：夜間モード　[3]：夜間モード（1）　[4]：夜間モード（2）

6 [＊] を押す

7 転送先の電話番号を押す
- 最大11ケタまで入力できます。

8 [発信] を押す
- この操作はお使いの電話機によって異なります。
- 「プルル」という呼出し音が聞こえます。「ツーツーツー」という音が聞こえた場合は、転送先の設定／変更がされていません。受話器を戻して手順**1**からやり直してください。

9 受話器を戻す

電話をかけた電話機を転送先にする方法

4 [2][1]を押す

5 夜間モード番号（[1]～[4]）を押す

6 [発信] を押す
- この操作はお使いの電話機によって異なります。
- 「プルル」という呼出し音が聞こえます。

7 受話器を戻す

転送しないようにするには

手順**7**を抜いて操作します。登録されていた転送先の電話番号が消去され、転送されなくなります。

お知らせ

- サブアドレス変更パスワードは4ケタの数字で、取付け時に設定します。[取付け時設定]
- サブアドレス変更パスワードを設定しないと、転送先の設定／変更はできません。
- この操作は電話(アナログ)回線、携帯電話からは行えません。
- この機能はサブアドレス通知サービスを利用した機能です。
- [発信]を押したあと、「プルル」ではなく「ツーツーツー」という音が聞こえた場合は、転送先の設定／変更がされていません。受話器を戻して手順 **1** からやり直してください。

外線 自動転送（個別着信）

外線から個別に電話機にかかってきた電話(サブアドレスやダイヤルイン、ｉ・ナンバーなど)を、あらかじめ設定しておいた外線の転送先へ、自動的に転送します。または、自動転送(一般着信)と同じ転送先へ自動的に転送することもできます。取付け時設定

転送先の電話番号を設定する　システム

転送先の設定は、指定電話機（➡10ページ）から行います。
実際に転送するかどうかは、各電話機で設定します。

1 待ち受け中に
スピーカ を押す

2 文字 設定／転送 を押す

3 1 0 を押す

4 設定する電話機の内線番号を押す

5 転送先の電話番号を押す
- 最大24ケタまで入力できます。

6 登録メニュー／決定 保留 を押す

7 スピーカ を押す

お知らせ

- 手順**5**の前に外線捕捉特番を入力することもできます。取付け時設定

設定した転送先電話番号を確認するには

1 待ち受け中に
スピーカ を押す
2 文字 設定／転送 を押す
3 1 0 を押す
4 設定する電話機の内線番号を押す
- 転送先の電話番号を確認します。

5 スピーカ を押す

転送を解除するには

手順**5**を抜いて操作します。登録されていた転送先の電話番号が消去され、転送されなくなります。

着信転送（個別着信）するようにセットする

セットを行う電話機は、取付け時に設定しておく必要があります。取付け時設定
席を離れたり、外出するときなどに、各電話機にかかってきた外線からの電話を、設定した（設定方法は前ページをご参照ください）転送先の電話番号へ自動転送するようにセットします。

待ち受け中に

1 スピーカ を押す

2 ＊ を押す

3 9 2 を押す

4 ＃ を押す

- 不在ランプが点灯します。

5 スピーカ を押す

転送を解除するには

手順**4**で ＃ の代わりに ＊ を押します。

- 不在ランプが消灯します。

ご注意

- 自動転送（個別着信）は、不在転送（➡74ページ）、不在設定（➡75ページ）と同時に設定できません。

操作のヒント

- 自動転送（個別着信）を設定中は、不在設定ランプが点灯します。
- 自動転送（個別着信）は、外線から転送先を変更することはできません。

外線

自動転送（ダイヤルイングループ着信）

外線からダイヤルイン契約番号(➡133ページ)、またはｉ・ナンバーの契約番号(➡143ページ)でかかってきた電話を、あらかじめダイヤルイングループごとに設定しておいた外線の転送先へ、自動的に転送します。または、自動転送(一般着信)と同じ転送先へ自動的に転送することもできます。 取付け時設定

転送先の電話番号を設定する　システム

転送先の設定は、指定電話機(➡10ページ)から行います。

1 待ち受け中に
スピーカ を押す

2 文字設定／転送 を押す

3 3 0 を押す

4 ダイヤルイングループ番号（1 ～ 8）を押す
- ダイヤルイングループ番号はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

5 ＊ を押す

6 転送先の電話番号を押す
- 最大24ケタまで入力できます。

7 登録メニュー／決定 保留 を押す

8 スピーカ を押す

お知らせ

- 手順**6**の前に外線捕捉特番を入力することもできます。 取付け時設定

転送を解除するには

手順**6**を抜いて操作します。登録されていた転送先の電話番号が消去され、転送されなくなります。

設定した転送先電話番号を確認するには

1 待ち受け中に
（スピーカ）を押す

2 （確認/会議）を押す

3 （3）（0）を押す

4 ダイヤルイングループ番号（（1）〜（8））を押す
- ダイヤルイングループ番号はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

5 （＊）を押す
- 転送先の電話番号が表示されます。

6 （スピーカ）を押す

お知らせ

- サブアドレス着信、ダイヤルインサービスやｉ・ナンバーサービスによる個別の電話機への着信も、一般着信と同じ転送先へ転送することができます。
- 自動転送（ダイヤルイングループ着信）をする／しないは取付け時に設定します。取付け時設定

外線から転送先を設定／変更する

外線から転送先を変更するには、転送先の電話番号を入力する方法と、転送先にしたい電話機に電話をかけることで設定する方法の2種類があります。

1 外線から本システムに電話をかける

- サブアドレスを通知できる電話機からかけてください。
- 電話をかけた電話機を転送先にするときは、発信者の電話番号が通知できる電話機からかけてください。

2 サブアドレス を押す

- この操作はお使いの電話機によって異なります。

3 サブアドレス設定変更パスワード（4ケタ）を押す

転送先の電話番号を入力する方法

4 3 0 を押す

5 ダイヤルイングループ番号 （1～ 8）を押す

- ダイヤルイングループ番号はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

6 ＊ を押す

7 転送先の電話番号を押す

- 最大11ケタまで入力できます。

8 発信 を押す

- この操作はお使いの電話機によって異なります。
- 「プルル」という呼出し音が聞こえます。「ツーツーツー」という音が聞こえた場合は、転送先の設定／変更がされていません。受話器を戻して手順**1**からやり直してください。

9 受話器を戻す

電話をかけた電話機を転送先にする方法

4 3 1 を押す

5 ダイヤルイングループ番号 （1～ 8）を押す

6 発信 を押す

- この操作はお使いの電話機によって異なります。
- 「プルル」という呼出し音が聞こえます。「ツーツーツー」という音が聞こえた場合は、転送先の設定／変更がされていません。受話器を戻して手順**1**からやり直してください。

7 受話器を戻す

転送しないようにするには

手順**7**を抜いて操作します。登録されていた転送先の電話番号が消去され、転送されなくなります。

お知らせ

- サブアドレス変更パスワードは4ケタの数字で、取付け時に設定します。取付け時設定
- サブアドレス変更パスワードを設定しないと、転送先の設定／変更はできません。
- この操作はアナログ回線、携帯電話からは行えません。
- 発信を押したあと、「プルル」ではなく「ツーツーツー」という音が聞こえた場合は、転送先の設定／変更がされていません。受話器を戻して手順 **1** からやり直してください。

自動転送する

外線 外線から自動転送設定を設定／解除する（転送リモート設定） ISDN 取付け時設定

外線着信転送の自動転送（一般着信）または自動転送（ダイヤルイングループ）を、外線から設定／解除することができます。あらかじめ設定した発信者番号の電話機から、発信者番号を通知してダイヤルインまたはi・ナンバーで電話をかけることで設定／解除します。お使いになるにはFFキーに自動転送（一般着信）または自動転送（ダイヤルイングループ）を設定しておく必要があります。

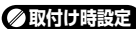
1 あらかじめ設定した発信者番号の外線から、自動転送（一般着信）または自動転送（ダイヤルイングループ）設定用の電話番号にかける

- 解除されている場合は、転送するよう設定され確認音（プップップップー）が聞こえます。設定されると、内線電話機に設定された「自動転送」ランプが点灯します。
- 設定されている場合は、転送しないよう解除され確認音（プー）が聞こえます。解除されると、内線電話機に設定された「自動転送」ランプが消灯します。

FF キーに自動転送（一般着信）用の [自動転送] を設定するには

1 [スピーカ] [文字 設定／転送] を押す → 2 設定したい FF キーを押す →
3 [＊] [6] [4] [0] を押す → 4 [保留] [スピーカ] を押す

FF キーに自動転送（ダイヤルイングループ着信）用の [自動転送] を設定するには

1 [スピーカ] [文字 設定／転送] を押す → 2 設定したい FF キーを押す →
3 [＊] [6] [4] [1] ～ [8] を押す → 4 [保留] [スピーカ] を押す

（[1] ～ [8]：ダイヤルイングループ番号）

社内で自動転送設定を設定／解除する

FFキーに設定した自動転送(一般着信)または自動転送(ダイヤルイングループ)のFFキーを使って、社内で簡単に自動転送設定の設定／解除ができます。

1 待ち受け中に設定または解除したい、自動転送（一般着信）または自動転送（ダイヤルイングループ）用の 自動転送 を押す

- 解除されている場合は、転送するよう設定され「自動転送」ランプが点灯します。
- 設定されている場合は、転送しないよう解除され「自動転送」ランプが消灯します。

回線サービス編

お知らせ

- 転送リモート設定用外線の電話番号と設定する電話機の番号は、あらかじめ設定しておきます。 取付け時設定
- NTTとナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。電話(アナログ)回線では利用できません。
- 外線から電話をかけて設定をするときは、発信側の回線が電話(アナログ)回線の場合でもナンバー・ディスプレイサービスの契約がされていれば利用できます。

外線

ステップ転送（自動転送） ISDN

一定時間応答しない場合に外線に転送する

外線から電話がかかってきたとき、一定時間応答しない場合、あらかじめ設定しておいた外線に転送します。着信音が鳴っている間は、社内の電話機で応答することができます。

転送するまでの時間を設定する システム

転送するまでの時間は、指定電話機(➡10ページ)から行います。この設定により外線からの電話を自動転送(一般着信、個別着信、ダイヤルイングループ着信)するタイミングが設定されます。

待ち受け中に

1 スピーカ を押す

2 文字 設定/転送 を押す

3 4 0 を押す

4 転送するまでの時間（0 ～ 4）を押す

0：0秒（お買い上げ時の設定）←通常の自動転送
1：5秒
2：10秒
3：15秒
4：20秒

5 登録メニュー/決定 保留 を押す

6 スピーカ を押す

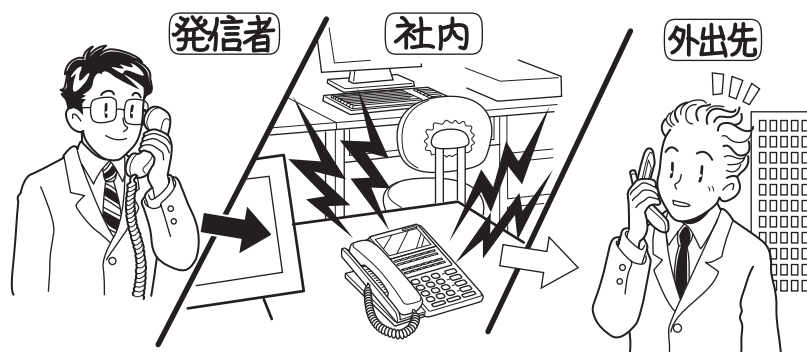
設定した内容を確認するには

1 待ち受け中に
(スピーカ) を押す

2 確認／会議 を押す

3 (4)(0)を押す

4 設定した内容を確認する

5 (スピーカ) を押す

社内に誰かいるときは社内で電話を受け、いないときだけ外出先に転送したい場合などに使います。

操作のヒント

● 外線からかかってきたら、即、転送したい場合は、 (0) （0秒）を選びます。

お知らせ

● 着信転送（ダイヤルイングループ着信）をする／しないは取付け時に設定します。 取付け時設定

外線

チェーン転送（自動転送） ISDN

2カ所の転送先へ順番に転送する システム

外線から電話がかかってきたとき、あらかじめ設定しておいた最初の転送先が一定時間（お買い上げ時は10秒）応答しない場合、またはお話し中の場合、もう1つの転送先に転送します。会社にかかってきた電話をまず携帯電話に転送し、応答しない場合には自宅に転送する、という使い方ができます。

チェーン転送先の電話番号を設定する

転送先の設定は指定電話機（➡10ページ）から行います。1つ目の転送先の設定は、自動転送の一般着信（➡147ページ）、個別着信（➡149ページ）、ダイヤルイングループ着信（➡151ページ）で設定します。

	一般着信	個別着信	ダイヤルイングループ着信
1	待ち受け中に スピーカ を押す		
2	文字 設定／転送 を押す		
3	2 1 を押す	1 1 を押す	3 1 を押す
4	夜間モード番号（1 ～ 4）を押す 1 ：昼間モード 2 ：夜間モード 3 ：夜間(1)モード 4 ：夜間(2)モード	転送先の内線番号を押す	ダイヤルイングループ番号（1 ～ 8）を押す • ダイヤルイングループ番号はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
5	＊ を押す	⬇	＊ を押す
6	チェーン転送先（2つめの転送先）の電話番号を押す • 最大24ケタまで入力できます。		
7	登録メニュー／決定 保留 を押す		
8	スピーカ を押す		

設定した内容を確認するには

手順**2**で 文字 設定/転送 の代わりに 確認/会議 を押して、手順**1**～**5**（個別着信は手順**1**～**4**）の操作を行うと、設定した内容が表示されます。確認したら、スピーカ を押すと元の表示に戻ります。

転送を解除するには

手順**6**を抜いて操作します。登録されていたチェーン転送先の電話番号が消去され、転送されなくなります。

ご注意

- 外線からチェーン転送先の電話番号を設定することはできません。

操作のヒント

- 転送中は使用外線ランプすべてが赤色点灯となります。
- ２つ目の転送先で着信が受け付けられなかった場合（お話し中など）、一般着信またはダイヤルイングループ着信に切り替わり、最初にかかってきた内線が呼びだされます。
- 最初の転送先が応答しない場合に２つ目の転送先に転送する時間（5～20秒）を設定できます。取付け時設定

外線　ダブル鳴音転送（転送中内線鳴音）（自動転送）ISDN

外線へ転送中に内線電話機も同時に鳴らす　取付け時設定

外線から電話がかかってきたとき、あらかじめ設定しておいた転送先に転送しますが、転送中も内線電話機を鳴らすことができます。内線電話機と転送先のどちらか先に電話をとった方が電話を受けることができます。

社内に人がいるかわからないとき、社内と外出先の両方で着信音を鳴らし、できるだけお待たせしないで電話を受けたいときなどに使います。

ご注意

- ダブル鳴音転送が設定されている場合、自動転送中アナウンスは動作しません。

操作のヒント

- 外線転送先への転送が行えない場合、内線のみの着信となります。
- 外線転送先が一定時間（取付け時設定：20 秒～ 120 秒）不応答の場合、転送先への回線は切断されます。またこの場合、個別着信のときは一般着信に切り替えます。一般着信、ダイヤルイングループ着信のときは、転送先への回線は切断されますが、内線への着信音は継続します。
- いずれかの電話機が着信に応答した場合、着信は停止します。
- ステップ転送が設定されている場合、内線にかかってきた電話は一定時間後に他の外線に転送しますが、着信した内線はそのまま継続して着信音は鳴り続けます。

お知らせ

- ダブル鳴音転送機能を使う／使わないは、取付け時に設定します。取付け時設定

外線　VIP 転送（自動転送）　ISDN

特定の発信者からの電話だけを転送する　取付け時設定

外線から電話がかかってきたとき、特定の相手からの電話だけを、あらかじめ設定しておいた転送先に転送します。または、特定の相手からの電話だけを転送しないようにすることもできます。
電話がかかってきたときに転送する、または転送しない電話番号は、共通短縮ダイヤルの登録で設定します。外線から発信者番号が通知されて電話がかかってきたとき、その発信者番号によって転送されたり、されなかったりします。

ISDN回線にかかってきた電話で、発信者番号と共通短縮ダイヤルに登録された番号が一致した場合、
その発信者からの電話を転送する／しないを設定することができます。

また、かかってきた電話が番号を通知していない場合は、転送しないという設定もできます。

操作のヒント

- サブアドレス着信、ダイヤルインサービスやｉ・ナンバーサービスによる個別の電話機への着信も一般着信と同じ転送先へ転送することができます。
- チェーン転送、ダブル鳴音転送との組み合わせもできます。

お知らせ

- VIP転送機能を使う／使わないは、取付け時に設定します。

外線 転送アナウンス ISDN

転送元と転送先に転送中のメッセージを流す

自動転送中に、発信者と転送先の相手へ、転送中であることを音声メッセージで伝えます。オプションの通話録音ユニットをお使いの場合にご利用できる機能です。(➡170ページ)

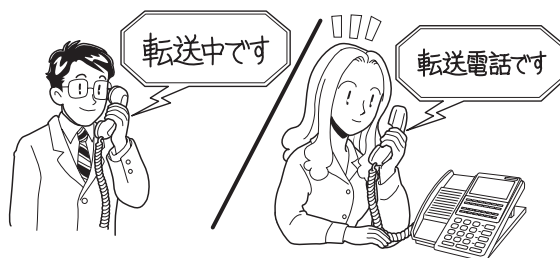
転送中メッセージの種類

転送中メッセージは次の3種類です。

転送元メッセージ：
かけてきた相手に転送中であることを知らせるアナウンスを流します。

転送先メッセージ：
転送先が応答したとき、転送電話であることを知らせるアナウンスを流します。

転送切断メッセージ：
転送が成功しなかったとき、かけてきた相手に転送できなかったことを伝えます。

転送元メッセージの回数は、1回、2回、ループ（繰り返し）の指定ができます。取付け時設定

転送中メッセージの録音

転送元メッセージ、転送先メッセージ、転送切断メッセージにはそれぞれ固定メッセージと録音メッセージを使用することができます。
録音メッセージが録音されていない場合は、固定メッセージが流れます。録音メッセージが録音されているときは、録音メッセージが優先されます。

●固定メッセージの内容

転送元メッセージ：
「お電話ありがとうございます。ただいまおつなぎしておりますので、もうしばらくそのままでお待ちください」

転送先メッセージ：
「転送電話です。転送します。」

転送切断メッセージ：
「恐れ入りますが、おつなぎできませんでしたので、後ほどおかけ直しください。」

各メッセージの録音方法は、「応答メッセージを録音する」（➡176ページ）を参照してください。

ご注意

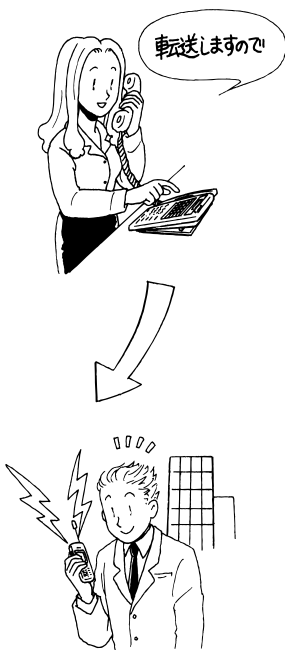
- 付加サービスによる着信転送（フレックスホン）では動作しません。
- 手動転送では動作しません。ただし、「通話中手動転送」（➡164ページ）の場合は動作します。
- 転送元メッセージを設定した場合、ダブル鳴音転送は使用できません。

着信転送（局線間転送） ISDN

NTTとフレックスホン（着信転送機能）契約をしていない場合はこの操作で転送することができます。
転送先へ発信するためには、着信用とは別のISDN回線の空きチャネルが必要です。

手動転送

取付け時の設定により、電話に出たときに簡単な操作で携帯電話やPHSなどに転送することができます。取付け時設定

1 通話中に 登録メニュー／決定 保留 を押す

2 発信 を押す

3 転送先の電話番号をダイヤルする

4 ＃ を押す

- 相手が応答したら、転送する旨を連絡します。

5 FF キーに設定した 外線転送 を押す

- 外線転送ボタンを設定していない場合は、 文字 設定／転送 を押します。
- 通話が転送されます。
- 外線転送ランプが点灯します。

6

- 「プー」という音を確認してから受話器を戻してください。

お知らせ

- 手順**5**の 外線転送 の設定のしかたは、142ページをお読みください。
- 手順**1**〜**4**の代わりに、自動保留（➡102ページ）を登録した短縮ダイヤル、またはワンタッチボタンを押して操作することもできます。
- 手動転送されてから、一定の時間（お買い上げ時の設定は30分）が経過すると、転送先に長時間通話防止のための警告音が聞こえ、約30秒後に自動的に電話が切れます。取付け時設定
- 相手の方が**TELEMORE-IP**に電話をかけたときの通話料金は電話をかけた相手の方のご負担、**TELEMORE-IP**から転送先への通話料金は**TELEMORE-IP**側のご負担となります。
- FFキーに設定した外線転送ボタンのランプが点灯しているときは転送できません。
- ISDN回線のときのみ転送することができます。
- 転送中は、他の回線で電話を転送することはできません。
- 転送先によって、通話中に雑音が入る場合があります。
- 転送電話中の外線に割り込んで通話することはできません。

外線

通話中手動転送

ISDN

着信中に手動で転送する

取付け時設定

外線から着信があっても、通話中で応答できない場合には、簡単な操作で他の外線へ転送することができます。この機能は、転送先電話番号をあらかじめ設定しておく必要があります。

1 呼び出し中に 短縮 ＃ 5 を押す

- この「通話中手動転送」の操作はFFキーに設定できます。ボタンひとつでこの操作ができるようになります。（➡81ページ）

2 あらかじめ設定した転送先へ転送される

- 転送先設定はシステム電話機での操作となります。
- 設定の方法は、自動転送の個別着信の設定（➡149ページ）を参照。
- 転送先が通話中の場合は、通常の着信に戻ります。

FF キーに 着信中手動転送 を設定しておくと便利です

1 スピーカ 文字 設定／転送 を押す

2 設定したいFFキーを押す

3 短縮 ＃ 5 を押す

4 登録メニュー／決定 保留 スピーカ を押す

操作のヒント

- 転送先が一定時間（取付け時設定：20 秒～ 120 秒）不応答の場合、転送を取り消し、通常の着信に戻ります。
- 転送先の電話番号の確認方法は、自動転送の個別着信の設定（➡149 ページ）参照。

お知らせ

- ステップ転送が設定されている場合、ステップ転送が起動する前に本操作による転送が行われた場合、ステップ転送は解除されます。
- 転送アナウンス（➡162ページ）は動作します。
- ダブル鳴音転送（➡160ページ）は動作しません。
- FFキーに設定した外線転送ボタンのランプが点灯しているときは転送できません。
- 転送中は、他の回線で電話を転送することはできません。
- 転送電話中の外線に割り込んで通話することはできません。
- 手動転送をする場合、取付け時に設定します。取付け時設定

外線から昼間/夜間モードを切り換える

外線から電話をかけて昼間/夜間モード(➡123ページ)を切り換えることができます。

1 外線から TELEMORE-IP に電話をかける

- サブアドレスを通知できる電話機から電話をかけてください。

2 サブアドレス を押す

- この操作は、お使いの電話機によって異なります。

3 サブアドレス設定変更パスワード(4ケタ)を入力する

4 ＊ を押す

5 切換番号を押す

8 0 :夜間モード
8 1 :夜間モード(1)
8 2 :夜間モード(2)
8 3 :昼間モード

6 発信 を押す

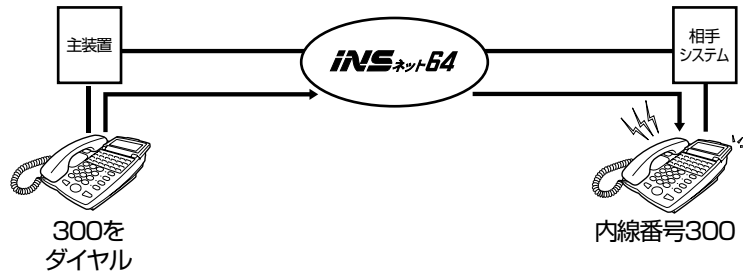
- この操作は、お使いの電話機によって異なります。
- 呼出音(プルル)が聞こえ、設定が変更されたことを確認します。

7

お知らせ

- サブアドレス設定変更パスワードは4ケタの数字で、取付け時に設定します。取付け時設定
- サブアドレス設定変更パスワードを設定しないと、夜間/昼間モードの切り換えはできません。取付け時設定
- 電話(アナログ)回線、携帯電話からはこの操作はできません。

ISDN クローズドナンバリング

ISDN回線でのサブアドレス着信機能を利用して、内線番号を押すだけで簡単に相手のシステムの内線電話機を呼び出すことができます。

1

● 受話器を置いたまま電話をかけるには、 モニター を押します。

2 内線番号をダイヤルする

● 自動的にISDN回線でサブアドレス発信が行われます。

お知らせ

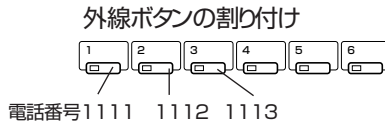
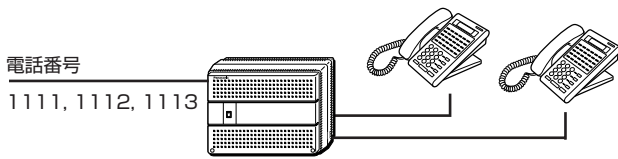
● ISDN回線クローズドナンバリングのケタ数は、自システムの内線番号のケタ数と同じになります。
● 内線番号の1ケタ目の番号が、相手のシステムの内線番号の1ケタ目と重複しないようにしてください。
● 相手のシステムの電話番号をあらかじめ設定しておく必要があります。
● ISDN回線の空きチャンネルがないと呼び出すことができません。
● この機能を使うためには、相手のシステムがサブアドレス着信できる必要があります。
相手のシステムがサブアドレス着信できない場合、相手のシステムでは個別の電話機は呼び出されず、通常の外線着信となります。

ダイヤルイン／ｉ・ナンバー(付加サービス) ISDN

外線 バーチャルラインキー 取付け時設定

外線ボタンの割り付け

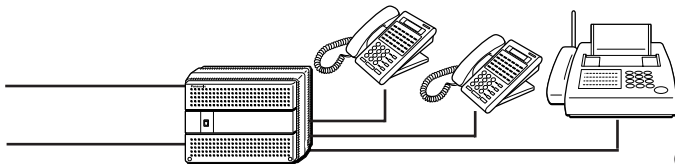
電話番号ごとに着信する電話機を分けられます。

例：INS回線を1回線収容（i・ナンバー契約で3つの電話番号を使用）の場合。

● 電話番号ごとに各外線ボタンに割り付けています。見かけ上、3つの外線を使用しているように見えます。

ただし、同時に着信可能なのは2チャネルです。

着信する外線数の制限

特定の電話番号だけを特定の電話機(例：ファクス)に着信させることができます。

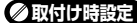
例：INSを2回線収容（1回線はダイヤルイン契約で、全部で3つの電話番号を使用）の場合。

● 電話番号1111と1112は、最大3着信が可能（外線ボタン1～3）。

電話番号1113は、外線ボタン4のみ着信可能（ファクス受信用など）。

ただし、同時に着信可能なのは4チャネルです。

ご注意

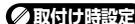
● 電話（アナログ）回線の収容状況により、外線ボタンの数が制限されることがあります。

お知らせ

● 外線ボタンの割り付けは、すべての電話機共通です。
発信時には、使用した外線ボタンに対応した発信者番号を通知します。

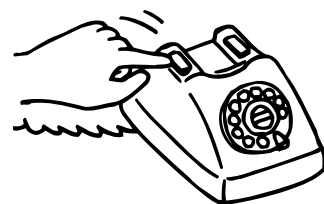
● 電話機ごとに発信用として使用する外線ボタンを指定することもできます。(外線捕捉優先指定)

単独電話機を使う

デザインテレホン、留守番電話機、黒電話機などを接続することができます。ご利用になる電話機の種類によって操作が異なります。
呼出音は、デザインテレホン、留守番電話機、コードレス電話機等の種類により、外線からかかってきた呼出音と内線・ドアホンからの呼出音の区別ができない場合があります。

ダイヤル式回線で使うときの操作

機能		操作
外線へ電話をかける		⇨ 0 ⇨ 電話番号
外線を受ける		
保留(外線・内線)		(通話中に) フッキング※ ⇨ ⇨(保留状態) ⇨ ⇨ (通話)
共通短縮ダイヤルでかける		⇨ 9 7 ⇨ 共通短縮ダイヤル 0 0 ～ 7 9 (または000～799) 取付け時設定
転送(外線のみ)		(通話中に)フッキング※ ⇨ 内線番号 ⇨ 連絡 ⇨
特定の外線を使ってかける		⇨ 9 3 ⇨ 外線番号 0 1 ～ 0 8 ⇨ 電話番号
特定の外線を受ける 保留中の外線に応答する		⇨ 9 3 ⇨ 外線番号 0 1 ～ 0 8
内線を個別に呼び出す	信号音	⇨ 内線番号
	音 声	⇨ 内線番号 ⇨ 1
内線を受ける		
内線代理応答		⇨ 9 3 9 3
一斉・グループ呼出 外部スピーカ	呼 出	⇨ 9 3 4 ⇨呼出番号(0 ～ 4 、 9)
	応 答	⇨ 9 3 5 0
ドアホンに応答		
ドアホンを呼び出す	ドアホンA	⇨ 9 1
	ドアホンB	⇨ 9 2
電気錠を解除する		(ドアホン通話中) ⇨ 3
外部スイッチを動かす		⇨ 9 3 ⇨ 6 1 ⇨
着信転送(個別着信)を設定する		⇨ 9 3 9 2 0
着信転送(個別着信)を解除する		⇨ 9 3 9 2 1

ISDN回線へかける場合、電話番号をダイヤルしたあとに設定時間(お買い上げ時は6秒)が経過すると、自動的に電話番号が発信されます。

※ フッキングとは、受話器の下にあるフックスイッチを約0.5秒押してから離す操作です。フックボタンのある機種はフックボタンを約0.5秒押してから離しても構いません。フッキングの時間は取付け時に設定します。 取付け時設定

お知らせ

- ダイヤル式電話機で、フッキングする代わりにかかってきた外線通話を保留・転送する場合は、フッキングの代わりに 1 をダイヤルするように設定することもできます。 取付け時設定
- フッキングで保留にしてから受話器を戻すと、すぐに着信音が鳴ります。

プッシュ回線で使うときの操作

機　　能		操　　作
外線へ電話をかける		⇨ 0 ⇨ 電話番号 ⇨ #
外線を受ける		
保留（外線･内線）		（通話中に）フッキング※ ⇨ ⇨（保留状態）⇨ ⇨（通話）
共通短縮ダイヤルでかける		⇨ 9 7 ⇨ 共通短縮ダイヤル 0 0 ～ 7 9（または000～799） 取付け時設定
転送（外線のみ）		（通話中に）フッキング※ ⇨ 内線番号 ⇨ 連絡 ⇨
特定の外線を使ってかける		⇨ ＊ ⇨ 外線番号 0 1 ～ 0 8 ⇨ 電話番号 ⇨ #
特定の外線を受ける 保留中の外線に応答する		⇨ ＊ ⇨ 外線番号 0 1 ～ 0 8
内線を個別に呼び出す	信号音	⇨ 内線番号
	音　声	⇨ 内線番号 ⇨ 1
内線を受ける		
内線代理応答		⇨ ＊ ＊
一斉･グループ呼出 外部スピーカ	呼　出	⇨ # ⇨呼出番号（0 ～ 4、9）
	応　答	⇨ # #
ドアホンに応答		
ドアホンを呼び出す	ドアホンA	⇨ 9 1
	ドアホンB	⇨ 9 2
電気錠を解除する		（ドアホン通話中）⇨ フッキング※
外部スイッチを動かす		⇨ ＊ ⇨ 6 1 ⇨
着信転送（個別着信）を設定する		⇨ ＊ 9 2 #
着信転送（個別着信）を解除する		⇨ ＊ 9 2 ＊

単独電話機をお使いのときは

- NTTのキャッチホンサービスはご利用になれません。
- 構内交換機、ビル電話の端末としてお使いの場合は、保留・転送は**TELEMORE-IP**システム内のみで可能です。
- 市販のコードレス電話機は、システムに1台のみ接続できます。
- ドアホンおよび外部スピーカの通話音量は、デジタル多機能電話機より少し小さくなります。
- ダイヤル式電話機器から、サブアドレス発信（➡139ページ）はご利用になれません。

プッシュホン式電話機をお使いのときは

- プッシュホン外線へ発信したとき、通話料金計算・発信規制が条件によって行われないことがあります。
- プッシュホン式単独電話機から0発信で外線発信する場合は、0発信後に、必ず外線からの発信音を確認してからダイヤルしてください。
- プッシュホン式単独電話機の再ダイヤル機能をお使いの方は、プッシュホン式単独電話機を使って外線発信を行った場合、ダイヤル抜けが発生する場合があります。単独電話機の再ダイヤルはご利用にならないでください。

通話録音ユニットを使う

オプションの通話録音ユニットをお買い求めいただきますと、不在のときに電話をかけてきた相手の用件を録音することなど、いろいろな機能を利用することができます。

外線 通話録音ユニットについて

通話録音ユニットでできること

通話録音ユニットにより、次の機能を利用することができます。

● 留守番電話機能（➡171ページ）
留守番電話機能（留守録機能）は、次の2つのモードから選択して利用することができます。取付け時設定
・留守録モード　：電話をかけてきた相手に用件の録音を促し、メッセージを録音します。
・留守専用モード：留守であることを相手に伝え、回線を切断します。

● 通話録音機能（➡174ページ）
通話中に話の内容を録音することができます。

● リモート機能（➡175ページ）
外出先から、留守番電話や通話録音したメッセージを聞くことができます。

● 転送アナウンス機能（➡162ページ）
外線への自動転送時に、かけてきた相手や転送先に、転送である旨を音声ガイダンスで伝えることができます。

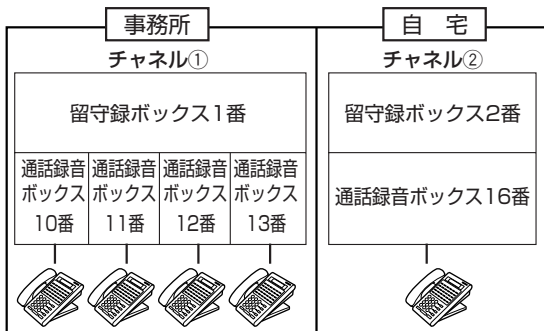
● 迷惑電話防止機能（➡66ページ）
電話番号を通知しない相手や電話番号を登録した相手からの電話に対してメッセージを流すことができます。

● 応答ガイダンス録音機能（➡176ページ）
システム固定のガイダンス以外に、オリジナルの応答ガイダンスの録音／再生ができます。

チャネルとボックスについて

● チャネルについて
通話録音ユニットには、最大6つのチャネルがあります。それぞれのチャネルに対して、次の(1)～(5)のいずれかを選択設定することにより、選択した機能を利用することができます。取付け時設定
(1)留守録・通話録音、(2)転送時にかけてきた相手へメッセージ送出、(3)転送時に転送先へメッセージ送出、(4)迷惑電話防止メッセージ送出、(5)全機能共通

● ボックスについて
「留守録・通話録音」を利用する場合に、録音メッセージの記憶場所として、ボックス番号を電話機ごとに（留守録用のボックスと通話録音用のボックスをそれぞれ）指定します。取付け時設定
・異なる電話機で、同一のボックスを指定して利用することができます。
・チャネルごとに、留守録に1ボックス、通話録音用に6ボックス利用することができます。
・録音可能容量は、留守録・通話録音合わせて、1チャネルで最大約60分、または100件です。

通話録音ユニットの使用例

● 事務所用：留守録機能と、4台の電話機個別に専用の通話録音機能を設定。
● 自宅用　：1台の電話機に留守録と通話録音機能。

	チャネル①	チャネル②
留守録ボックス	1個 （番号：1番）	1個 （番号：2番）
通話録音ボックス	最大6個 （番号：10番～15番）	最大6個 （番号：16番～21番）

このボックスは複数の電話機ごとに割り当てているので、個人専用の通話録音ボックスになります。

ご注意

● 「留守録・通話録音」を利用する場合に、1チャネルで同時に利用できるのは、留守録、または通話録音のいずれかの1通話で、先に動作した方が優先となります。それぞれの機能を常に利用可能とするには、留守録、および通話録音で使用するボックスをチャネルごとに指定する必要があります。

● 転送時にかけてきた相手にガイダンスを送出し、かつ、転送先にガイダンスを送出する場合（転送アナウンス）、2つのチャネルを専有します。

外線

社内の電話機で留守録をセットする

留守番電話をセットすることにより、不在のときに電話をかけてきた相手の方の用件を録音することができます。

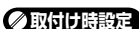
留守録モードをセットする

1 待ち受け中に 留守 を押す

10月19日 WED 17:55
10
留守

- 留守ボタンが赤色点灯し、応答ガイダンスが聞こえます。
- 漢字表示付電話機では「留守」と表示されます。
- 応答ガイダンスは自由に録音することができます（➡176ページ）。
- 応答ガイダンスを録音していない場合は、次のような固定ガイダンスが流れます。
  「ただいま留守にしております。ご用件をピーという音の後にお話ください」

留守番電話を解除する

1 点灯している 留守 を押す

10月19日 WED 17:55
10

- 漢字表示付電話機で表示されていた「留守」の表示が消えます。
- 留守ボタンが消灯し、「留守を解除しました」というガイダンスが流れます。

ご注意

- 用件の録音が満杯（最大60分または100件まで）の場合、留守録はセットできません。
  「これ以上録音できません」というガイダンスが流れます。留守専用モードとして使うこともできます。取付け時設定

お知らせ

- 本機能を利用するには、FFキーにあらかじめ 留守 機能を設定しておく必要があります。取付け時設定
- お買い上げ時は外線着信後、即時に留守録モードになりますが、留守録モードになるまでの待ち時間（10～70秒）が設定できます。取付け時設定
- 留守録をセットしていない状態で、約90秒応答しない場合、自動的に留守専用モードで応答します。
- 一般着信で複数の着信電話機が留守録設定されている場合は、内線番号の小さい電話機で留守録ボックス指定されているボックスに録音されます。
- 留守録が着信に応答するのは、留守録モードがセットされている留守ボタンが割り付けられている電話機が着信鳴音した場合です。

留守専用モードをセットする

1 待ち受け中に 留守専用 を押す

10月19日 WED 17:55 10 留守

- 留守ボタンが赤色点灯し、留守専用ガイダンスが聞こえます。
- 漢字表示付電話機では「留守」と表示されます。
- 留守専用ガイダンスは自由に録音することができます。
- 留守専用ガイダンスを録音していない場合は、次のような固定ガイダンスが流れます。
  「ただいま留守にしております。おそれいりますが、後ほどおかけ直しください。」

操作のヒント

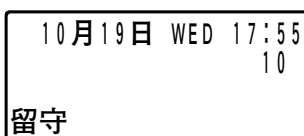
- 設定により留守専用モードにすることができます。
- 「留守専用モード」は、不在中にかかってきた電話の相手に、留守であることを伝え、回線を切断します。
- 留守専用応答ガイダンスは自由に録音することができます（➡176ページ）。
- 留守専用応答ガイダンスを録音していない場合は、次のような固定ガイダンスが流れます。
  「ただいま留守にしております。おそれいりますが、後ほどおかけ直しください」

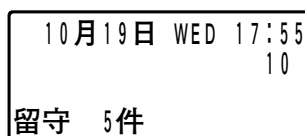
外線

留守録の用件を再生する

留守録の用件を再生

留守録に用件録音がある場合、電話の表示部に未再生（留守録の聞き取りをしていない）の件数が表示されます。
留守録の録音内容がある場合、留守再生ボタンが赤色点灯します。

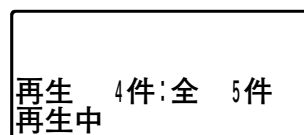
10月19日 WED 17:55
10
留守

（未再生メッセージがないときの表示）

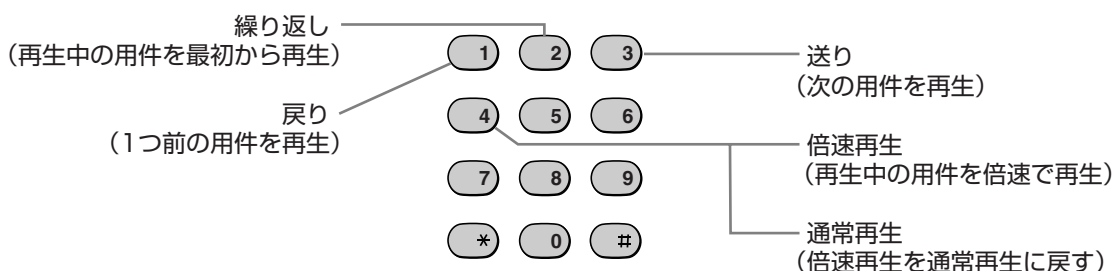
10月19日 WED 17:55
10
留守　5件

（未再生メッセージがあるときの表示）

1 受話器を取って 留守再生 を押す（または スピーカ を押す）

再生　4件:全　5件
再生中

（メッセージ再生中の表示）

- 留守録再生ボタンが緑色点滅し、電話機の表示部には「再生中」と表示されます。
- 「用件 n 再生します」というガイダンスが流れた後に、未再生の古い用件から再生されます。
- 再生・未再生にかかわらず、古い用件から再生することもできます。 取付け時設定

2 再生中の電話機のボタンで操作をする

- 再生中に電話機のボタンを使って、繰り返し再生などの操作ができます。ボタンの機能の割り当てを以下に示します。

5 ＃：消去 （再生中の用件を消去）

5 0 ＃ パスワード（4ケタ）：一括消去 （ボックスの用件を全消去）

お知らせ

- タイムスタンプ送出中に 2 を押すと、1つ前の用件を再生します。
- 一括消去のパスワード(4ケタ)は取付時設定です。
- 本機能を利用するには、FFキーにあらかじめ 留守再生 機能を設定しておく必要があります。
- 倍速再生は、通常再生の1.5倍の速度で再生します。

外線

通話を録音／再生する

通話中に話の内容を録音することができます。重要な会話や、間違えやすい複雑な注文などを記録に残しておくと便利です。

通話を録音する

1 外線通話中に 通話録音 を押す

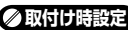
- 通話録音ボタンを押したときから録音が始まります。
- 通話録音ボタンが緑色に点滅します。

2 終了するには 通話録音 を押す

- 通話録音が終了します。
- 以下の方法でも録音を終了できます。
  - ・受話器を置いて電話を切る。
  - ・スピーカ を押して電話を切る。

ご注意

- 通話録音ボタンが赤色点灯の場合は、留守録または通話録音が使用中のため、通話録音を行うことはできません。
- 外線通話中以外（内線通話中、ドアホン通話中など）では通話録音はできません。会議通話中にも通話録音はできません。
  音声メモリが満杯になった場合は、通話録音を終了します。
- 通話録音中に保留をすると、保留した時点で通話録音は終了します。通話に戻ったときに、再度通話録音ボタンを押してください。
- 会議通話にすると、通話録音は終了します。

通話録音を再生する

通話録音の内容がある場合、電話の表示部に通話録音のメッセージ件数が表示されます。

```
10月19日 WED 17:55

         通録  5件
```

- 録音内容がある場合、通録再生ボタンが赤色点灯しています。録音満杯の場合は、赤色点滅します。

1 受話器を取って 通録再生 を押す（または スピーカ を押す）

- 通話録音再生ボタンが緑色点滅し、電話機の表示部には「再生中」と表示され、再生・未再生にかかわらず、古い用件から再生します。
- 未再生の古い用件から再生することもできます。取付け時設定
- 「n件のメッセージを再生します」というガイダンスが流れます。（ n は番号）

2 再生中の電話機のボタンで操作をする

- 再生中に電話機のボタンを使って、繰り返し再生などの操作ができます。（ボタンの機能の割り当ては173ページ）

お知らせ

- 通話録音はチャネルごと（最大6チャネル有り）に最大60分または最大100件（応答メッセージを含む）まで可能です。
- 音声メモリ内には通話録音用のボックスが1チャネルごとに6ボックス、全部で最大6チャネル計36ボックスあります。チャネル1はボックス番号10～15、チャネル2はボックス番号16～21のように各チャネルごとに6ボックスづつ使用できます（初期設定）。
  このボックス番号は、外出先からリモート操作で録音内容を再生するときに必要になります。
- 通話録音ボックスは録音可能時間（初期設定：5分）を設定することができます。（無制限、1～5分）
  この録音可能時間を経過すると通話録音は終了します。

外線

外出先から留守録のセット／再生をする（外線リモート）

1 外出先から電話をかける

2 留守録がセットされているとき、すぐに 留守録の応答ガイダンスが流れる

- 応答ガイダンスが流れるまでの時間は変更することができます。取付け時設定

2 留守録がセットされていないとき、90秒後に 留守専用の応答ガイダンスが流れる

3 応答メッセージが流れている間に ＃＃ を押す

- 「暗証番号をどうぞ」の音声ガイダンスが流れます。

4 外線アクセス時パスワード を押す 取付け時設定

- パスワードを間違えると「ピー」が聞こえ、再度入力を促します。3回間違えると回線を切断します。
- パスワードを入力すると「リモート操作を開始します」の音声ガイダンスが流れます。

5 音声ガイダンスが流れる

「留守セット、留守解除は0、留守録の再生は6、通話録音の再生はボックス番号をどうぞ」

- 音声ガイダンスが流れてから15秒操作をしない場合は、「リモート操作を終了します」のガイダンスが流れ、リモート操作を終了します。

留守録をセット／解除するには

6 0 を押す

- 留守録解除のときには、セットされます。「留守をセットしました」の音声ガイダンスが流れます。
- 留守録セットのときには、解除されます。「留守を解除しました」の音声ガイダンスが流れます。
- 留守録解除のときには、手順**5**に戻り、音声ガイダンスが再度流れます。電話を切るとリモート操作は終了します。

用件を再生するには

6 6 を押す

- 音声ガイダンスが流れ、再生を始めます。「ｎ件のメッセージを再生します」
- 通話録音の再生を行うときは ボックス番号 (「通話を録音する」(➡174ページ))を押します。
- 再生中に電話機のボタンを使って、繰り返し再生などの操作ができます。詳細は「留守録の用件を再生する」(➡173ページ)の手順**2**を参照してください。

7 電話を切り、終了する

お知らせ

- サブアドレス機能を利用して、留守録のセット／解除を行うこともできます。
  - 〈留守録をセットする〉 1. サブアドレスに「パスワード＋留守セット特番(＊65)＋内線番号」を指定して電話をかける。
    2. 留守録がセットされ、応答メッセージが聞こえます。
  - 〈留守録を解除する〉 1. サブアドレスに「パスワード＋留守解除特番(＊66)＋内線番号」を指定して電話をかける。
    2. 留守録が解除されます(留守録は応答せず、呼出し音のままです)。

操作のヒント

- 外線リモートは、プッシュホン信号を送出できる電話機から電話をかけてください。

外線 応答メッセージを録音する

留守録に自分の応答メッセージを録音して流すことができます。また、応答メッセージを録音しなくても、固定のメッセージをお使いになれます。

応答メッセージの録音

1 受話器を取る

2 留守 を押す

- 「録音は1、再生は2、消去は3をどうぞ」のガイダンスが流れます。

3 1 (録音)を押す

- 「メッセージ番号をどうぞ。ピッ」のガイダンスが流れます。
- 15秒以上何も押さない場合、終了します。

4 メッセージ番号を押す

- 「メッセージをピーという音の後にお話しください」のガイダンスが流れます。
- 15秒以上何も押さない場合、終了します。

メッセージ番号

1：応答メッセージ
2：留守専用
3：転送元
4：転送先
5：転送の切断

5 メッセージを録音する

- 1分経過すると、自動的に録音を終了します。
- 応答メッセージの例
「はい、○○社です。本日の営業は終了いたしました。ご用件のある方は、メッセージを入れてください」

6 留守 を押して終了する

応答メッセージの再生

1 受話器を取る

2 留守 を押す

- 「録音は1、再生は2、消去は3をどうぞ」のガイダンスが流れます。
- 15秒以上何も押さない場合、終了します。

3 2 (再生)を押す

4 メッセージ番号を押す

- 応答メッセージが再生されます。
- メッセージがない場合は、「メッセージはありません」のガイダンスが流れます。

応答メッセージの消去

1 受話器を取る

2 留守 を押す

- 「録音は1、再生は2、消去は3をどうぞ」のガイダンスが流れます。

3 3 (消去)を押す

4 メッセージ番号を押す

- 「メッセージを消去します。ピッ」のガイダンスが流れ、メッセージが消去されます。
- 音声ガイダンスが流れ、確認音「ピピッ」が鳴っている間に、5 # を押すと消去はキャンセルされます。
- メッセージがない場合は、「メッセージがありません」のガイダンスが流れ、手順**2**の音声ガイダンスに戻ります。

お知らせ

- ガイダンスが流れている間に、15秒以上何も押さない場合、それぞれの操作は終了し、話中音(ツーツーツー)となります。

外線

留守録機能ボタンの登録

留守録用の機能ボタン(留守ボタン、留守専用ボタン、通録ボタン、通録再生ボタン)はあらかじめFFキーに登録しておきます。

留守 を登録する

1 スピーカ 文字設定/転送 を押す

2 設定したいFFキーを押す

3 * 6 3 を押す

4 登録メニュー/決定 保留 スピーカ を押す

- 製品に添付されるシールをボタンに貼ってお使いください。

留守再生 を登録する

1 スピーカ 文字設定/転送 を押す

2 設定したいFFキーを押す

3 * 6 9 1 を押す

4 登録メニュー/決定 保留 スピーカ を押す

- 製品に添付されるシールをボタンに貼ってお使いください。

留守専用 を登録する

1 スピーカ 文字設定/転送 を押す

2 設定したいワンタッチボタンを押す

3 短縮 * # * 6 9 3 を押す

4 登録メニュー/決定 保留 スピーカ を押す

- 製品に添付されるシールをボタンに貼ってお使いください。

通話録音 を登録する

1 スピーカ 文字設定/転送 を押す

2 設定したいFFキーを押す

3 * 6 9 0 を押す

4 登録メニュー/決定 保留 スピーカ を押す

- 製品に添付されるシールをボタンに貼ってお使いください。

通録再生 を登録する

1 スピーカ 文字設定/転送 を押す

2 設定したいFFキーを押す

3 * 6 9 2 を押す

4 登録メニュー/決定 保留 スピーカ を押す

- 製品に添付されるシールをボタンに貼ってお使いください。

外部スピーカを使って呼び出す

すべての電話機から外部スピーカを使って呼び出すことができます。アンプ、外部スピーカが必要です。外部スピーカにハンズフリー応答用ドアホンで応答する場合は、ドアホン/構内放送ユニットとハンズフリー応答用ドアホンが必要です。

1 （または スピーカ を押す）

2 # を押す

3 9 を押す

4 送話口に向かって話す

- 構内放送されます。

外部スピーカに電話機で応答するには

1

2 # # を押す

ドアホンで応答するには

1 ドアホンに向かって話す

呼び出した方の声を外部スピーカで聞きながらお話しできます。

ファクスを接続する

ファクスを内線に収容している場合

ファクスを内線に収容すると、ファクス専用の特定の電話番号を用意しなくてもファクスを利用できます。システムに3台まで収容できます。 取付け時設定
ファクスからの着信を内線のファクスに転送してファクスを受けることができます。転送には、自動転送と手動転送の2種類があります。

ファクスを受ける（自動転送）

ファクスからの着信を自動に内線ファクスへ転送します。一般の電話機では着信しません。

ISDN 回線をお使いの場合は（お買い上げ時の設定）

着信時に、発信側から伝達能力がファクスであると通知された場合、自動的に内線に収容されたファクスへ転送されます。ISDN回線、F網*からかかってきた場合に利用できます。

1 ファクスから ISDN 回線に着信する

2 内線に収容されたファクスへ自動転送する

- 一般着信、個別着信のどちらでも転送できます。ただし、個別着信の着信先が特定のファクスの場合には、この機能は動作しません。
- ファクスが収容されていないとき、またはファクスが通信中のときは、かけてきた相手の方にはお話し中の音（ツーツーツー）が聞こえます。

電話（アナログ）回線または ISDN 回線 取付け時設定 でお使いの場合は

ISDN回線、F網※、電話（アナログ）回線からかかってきた場合に利用できます。

1 あらかじめ指定された電話（アナログ）回線またはISDN回線（システムで最大 1 回線のみ）に着信する

2 **TELEMORE-IP** が応答する

- 約10秒以内にファクス信号（CNG信号）を検出した場合は、ファクスへ自動転送します。
- 約10秒以内にファクス信号（CNG信号）を検出しなかった場合は、内線電話機を呼び出します。内線電話機で応答し、相手がファクスの場合は、手動転送の操作で転送してください。
- 一定時間内に電話機で応答しないと、自動的に回線を切ります。

お知らせ

- 電話がかかってから呼び出されるまで、約15秒（ISDN回線の場合は10秒）かかるため、通常よりも電話をかけた相手の方をお待たせすることになります。また、すでに自動応答しているため、実際に電話に出る前から相手の方には通話料金がかかります。

※：F網（ファクシミリ通信網サービス）は、NTTのファクシミリ専用ネットワークです。いろいろなサービスをご利用になれるほか、通信費も節約できます。この機能をご利用になるには、NTTとの契約が必要です。サービスの詳細については、NTTにお問い合わせください。

ファクスを受ける（手動転送）

ISDN回線、F網、電話(アナログ)回線からかかってきた場合に利用できます。
ISDN回線、電話(アナログ)回線のどちらでお使いの場合も同じ方法で転送することができます。

1 電話で応答したら、ファクスへの着信だった場合に、
を押す

2

ファクスを送る

ISDN回線、電話(アナログ)回線のどちらでお使いの場合も同じ方法で送ることができます。

- 発信は、外線へ電話をかける操作で行ってください。(➡24ページ)
  空外線自動捕捉(➡62ページ)を設定すると、電話番号をダイヤルするだけで発信できます。設定により、0発信グループ(➡188ページ)と重複させることも分離させることもできます。

お知らせ

- 手順**1**の 短縮 9 ＊ は、FFキーに登録しておくこともできます。(➡81ページ)
- 不在時のファクスへの着信は、夜間切換(➡123ページ)、不在転送(➡74ページ)などでファクスが自動応答するように設定できます。
- ファクスに転送後、一定時間内にファクスに応答しないときは自動的に回線を切ります。

ファクスを外線に収容している場合 電話（アナログ）回線

ファクスを外線に収容するときは、電話(アナログ)回線を使用してください。
ファクスを使用していないときに、その外線から電話をかけることができます。ファクスはシステムに2台まで収容できます。FAX/DI制御機能付アナログ外線増設ユニットが必要です。 取付け時設定

ファクスを受ける／送る

ファクスへの着信は、ファクスが自動応答します。
- ファクス操作については、ファクスに添付された取扱説明書をお読みください。
- ファクス使用中は、ファクスが収容されている外線の外線ランプが赤色に点灯します。
  ファクスが収容されている外線で通話中は、ファクスの発信・発着はできません。

電話をかける

1 ファクスが収容されている外線ボタンを押す

2 ダイヤルする
- ファクスが使用中のときはご利用になれません。

ドアホンからの呼び出しに応答する

ドアホンからの呼び出しに各電話機で応答することができます。
ドアホンとドアホン/構内放送ユニットが必要です。ドアホンはシステムに2台まで接続することができます。
取付け時設定

1 着信音が鳴る

- 着信ランプが点滅し、内線ランプが点灯します。

2 （または スピーカ を押す）

- 玄関子機の方とお話しください。

ドアホンの着信音が鳴らない電話機で応答するには

1 他の電話機から着信音が鳴る

2 （受話器を上げる）

3 [9][1]または[9][2]を押す

ドアホン呼出が同一グループの他の電話機に設定されている場合は、手順**3**で[＊][＊]を押しても応答できます。

お知らせ

- 着信音が鳴ってから約15秒後に内線ランプが消えます。内線ランプが消えたら、手順**2**のあとに[9][1]（ドアホンAの場合）または[9][2]（ドアホンBの場合）を押して応答してください。
- ドアホンと通話中に別のドアホンから呼び出しがあると、着信音が鳴ります。受話器を戻してから[9][1]（ドアホンAの場合）または[9][2]（ドアホンBの場合）を押して応答してください。
- ドアホンとの通話は保留、転送することができません。
- ドアホンA（[9][1]）、ドアホンB（[9][2]）を呼び出すこともできます。
- 通話中にドアホンから呼び出しがあると話中時着信音が鳴ります。取付け時設定

《ドアホンの着信音と呼出番号》

	ドアホンA	ドアホンB
着信音	ピンポン（2回）	ピンポン（3回）
呼出番号	[9][1]	[9][2]

電気錠を解錠する / 外部スイッチを動かす

電気錠を解錠する

取付け時設定

電話機から電気錠を解錠することができます。
ドアホン/構内放送ユニットが必要です。

1 ドアホンと通話中に ＊ 6 7（電気錠 A の場合）または ＊ 6 8（電気錠 B の場合）を押す

- 電気錠が解錠されます。

お知らせ

- 施錠するには、電気錠を解錠する操作と同じ操作を行ってください。
- ＊ 6 7 または ＊ 6 8 をFFキーに設定すると、FFキーのランプが下記のように点灯します。

電気錠	FFランプ
施錠中	消灯
解錠中	赤色に点灯

外部スイッチ（多目的リレー）を動かす

取付け時設定

電話機から外部スイッチを動かし、電灯などをつけることができます。
ドアホン/構内放送ユニットが必要です。

1 スピーカ を押す

2 ＊ を押す

3 6 1 を押す

- 外部スイッチが動きます。

お知らせ

- 外部スイッチを停止するときも同じ操作を行ないます。

ヘッドセットを使う

取付け時設定

受話器の代わりに市販のヘッドセットを使うと、受話器を置いたままで通話できます。ヘッドセットを使う前に、電話機をヘッドセットモードに切り替えてください。

1 （スピーカ）を押す

2 （＊）を押す

3 （7）（0）を押す

4 （スピーカ）を押す

お知らせ

- ヘッドセットモードを解除するときも、同じ操作を行います。
- ヘッドセットを使うときは、電話機本体から受話器コードを抜き、ヘッドセットを接続します。
- 受話器は元の位置に置いたままにします。
- 外線から電話がかかってきたときは、（スピーカ）を押して応答してください。
  通話中に（スピーカ）を押すと、終話となります。
- 使用可能なヘッドセットにつきましては、販売店にご相談ください。

簡易プリンターで印字する

通話料金などのデータをシステム電話機から印字することができます。印字するには、簡易プリンターと通話記録出力ユニットが必要です。

1 スピーカ を押す

2 ＊ を押す

3 9 9 を押す

4 スピーカ を押す

印字を中止するには

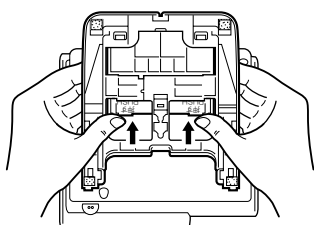
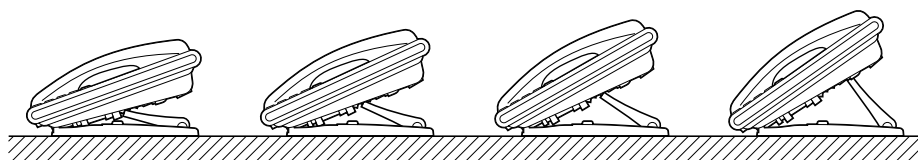
1 スピーカ を押す
2 ＊ 9 ＊ を押す
3 スピーカ を押す

お知らせ

- 印字されたデータは、NTTで集計した料金等の内容と同一とは限りません。集計結果に差異が生じた場合でも、公式データとしてはNTTに提出・申し立てすることはできません。
- 簡易プリンターはRS-232Cのシリアルポートを持つプリンターを使用してください。

電話機の角度を調節する／キーシートの使いかた

電話機の角度を調節する

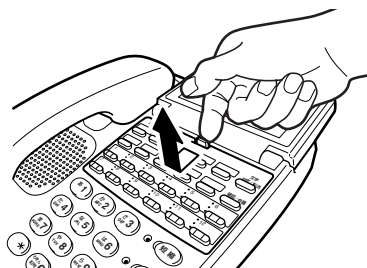
押す の部分を押し上げて、角度を調節してください。下記のように調節できます。

電話機底面

お知らせ

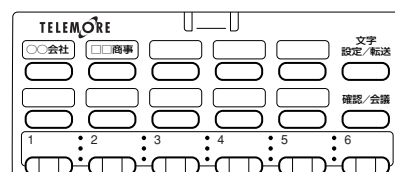
● 上記以外の角度に無理に広げようとしないでください。破損の原因となります。

キーシートの使いかた

キーシートに、電話番号や短縮ダイヤルに登録した名前、設定した機能などを書き込んでおくと便利です。

1 キーシートを取り外す

- カバー上部のツメを指で押し下げ、カバーとキーシートを取り外します。

2 書き込む

- FFキー、ワンタッチボタンの上のスペースに、登録した名前や機能を書き込みます。

3 取り付ける

- キーシートとカバーをを元の位置に置きます。
- カバー上部を、ツメがカチッと音がするまで押し込みます。

その他のオプション接続

状態表示盤を外線表示盤として使う場合

状態表示盤のランプに外線を割り付け、その外線の状態をランプ表示することができます。 取付け時設定

外線の状態とランプ表示の関係は、次のようになります。

外線の状態	ランプ表示	備　考
空き	消灯	
使用中	赤色で点灯	
着信中	赤色で早い点滅	スピーカから鳴動音が聞こえます
保留中	赤色で遅い点滅	

● 着信時に着信鳴動させることができます。着信鳴動パターンの選択も可能です。

電話機を壁掛けにする

壁掛け用品を壁に取り付けると、電話機を壁に掛けてお使いになれます。

雑防形ハンドセット

電話機の受話器を雑防形ハンドセットに取り換えると、騒音の大きい場所でも、より明瞭に通話できます。

アダプターアンプ

アダプターアンプを取り付けると、電話機スピーカの音を拡声して聞くことができます。

センサ接続

防犯スイッチ等のセンサを接続すると、センサが動作したときに電話機から警報音が鳴ります。なお、熱センサ、煙センサ、ガスセンサには接続できません。

お知らせ

● 上記のオプションをお使いになりたい場合は、販売店にご相談ください。

取付け時に設定する事項

詳細については、販売店にご相談ください。

回線選択制御

かけた電話番号の先頭ダイヤル(最大16ケタ)に対応して、あらかじめ設定した外線を選んで電話をかけることができます。

長時間通話警報

外線へ電話をかけたとき、相手の方が応答してから最初は2分30秒後、以降は3分ごとに警告音(ピー)が聞こえます。
構内交換機に接続している場合は、電話番号の最後のケタをダイヤルしてから15秒または30秒後から数えます。
設定により、着信ランプを点滅させることもできます。

外線着信警報

0〜60秒まで、10秒ごとに設定することができます。設定すると、設定した時間内に電話に出ないと、着信音がメロディ保留音に変わり、早く出るように警告します。

外線スライド着信

0〜60秒まで、10秒ごとに設定することができます。設定すると、設定した時間内に電話に出ないと、指定した電話機にも着信音が鳴ります。夜間/昼間別、外線別に設定できます。

保留再呼出

0、20、30、40、60、90、120、150、180秒の中から設定できます。(単独電話機は0秒固定)
設定すると、外線を保留したあとに一定時間を過ぎると、保留警告音(プルル)が聞こえ、着信ランプが点滅します。
受話器を取っていたり、通話中のときには保留警告音は鳴りません。

話中時着信

外線または内線通話中の電話機に対して、外線、内線、ドアホン、センサーから呼出があった場合、話中時着信音が鳴ります。着信音の種類については、下の表をご覧ください。
話中時着信音は小さい音で鳴るので、通話の妨げにはなりません。

呼び出しの種類	話中時着信音
外線	プープー
内線	
ドアホン	プップップッ、プップップッ
センサー	

0 発信グループ

外線を用途別に分けて使用するための設定です。電話機から0をダイヤルしたとき、または 発信 、空外線自動捕捉(➡62ページ)で捕捉できる外線の指定です。

保留音

外線保留時に流す保留音(内部保留音)を、6種類の曲の中から選んで設定することができます。

- 瞳がほほえむから
- HERE COMES THE SUN
- ハイ・ホー
- 未来予想図Ⅱ
- I NEED TO BE IN LOVE
- パッヘルベルのカノン

外部保留音

外線保留時に流す保留音を、外部保留音(外部に接続した装置から流す)に設定することができます。
外線ごとに、保留時に流す保留音を内部保留音にするか、外部保留音にするかを選択することもできます。ただし、ISDN回線の同一回線で、チャネルごとに保留音の種類を選んで設定することはできません。

サービスクラスと各種規制

各電話機ごとに優先順位(準甲、甲、準特甲、特甲、超特甲)をつけ、市内や市外などへの発信を制限するように設定できます。

クラス	特定ダイヤル	市外	特定市外	市内	PBX内線
準甲	×	×	×	×	○
甲	×	×	×	○	○
準特甲	×	○	×	○	○
特甲	△	○	○	○	○
超特甲	○	○	○	○	○

○:発信可能
△:取付け時の設定により発信可能
×:発信不可能

〈特定市外発信規制〉
0 × の2ケタを規制します。発信規制解除市外局番とNCCアクセスダイヤルを除く、準特甲に適用されます。

〈共通短縮ダイヤル発信規制解除〉
共通短縮ダイヤルで電話をかけるときは、規制が解除されます。

〈10規制〉
1 0 0 〜 1 0 9 のダイヤルを規制します。甲、準特甲に適用します。

〈外線発信規制〉
電話機ごとに発信可能な外線を設定できます。

〈特定ダイヤル規制〉
最大6ケタのダイヤルに対する発信規制が20種類設定できます。
構内交換機に接続されている場合は、外線発信番号を除いたダイヤルに適用されます。お買い上げ時は * と # が設定されています。この設定を特甲以下のサービスクラスで適用するか、準特甲以下に適用するかを設定できます。

夜間着信切換

夜間または休日などに、外線からの電話を宿直室や守衛室などの特定の場所で受信したいときなど、外線を指定した電話機に集中することができます。

外線別着信音切換

外線別に着信音を設定することができます。
　着信音(1)　トレモロ音
　着信音(2)　メロディ保留音

外線個別着信

外線が着信した場合に、着信音が鳴る電話機を電話機および外線ごとに設定できます。

内線番号のケタ数

各電話機に対して1ケタ、2ケタ、または3ケタの内線番号を任意に設定できます。1ケタでは1〜8、2ケタでは10〜89、3ケタでは100〜899までの番号を設定できます。ただし、設定できるケタ数は1種類です。電話機の設定台数が9台以上の場合、2ケタまたは3ケタで設定してください。

無鳴動着信自動応答

着信音が鳴らない電話機でも、着信ランプの点滅だけで着信をお知らせすることができます。受話器を取って応答できます。オフィスなどで静かな環境にしたいときなどに便利です。

保留中着信ランプ表示

外線を保留にしている間、着信ランプを点滅させることができます。

内線留守番電話(単独電話機)機接続

内線のデジタル多機能電話機から内線の留守番電話機にプッシュ信号を送り、留守番電話機のリモコン操作等ができます。

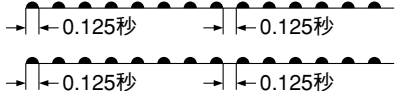
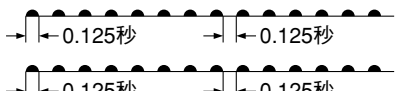
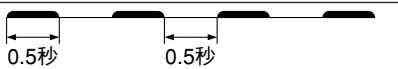
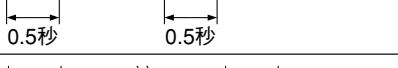
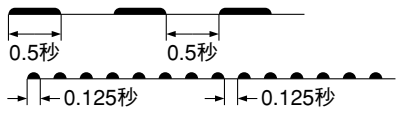
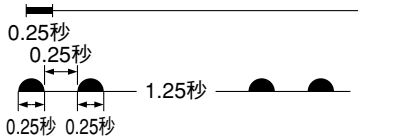
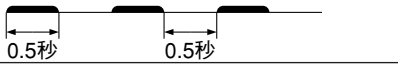
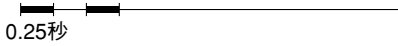
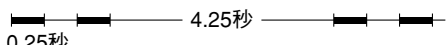
システム電話機フリー設定

共通短縮ダイヤルの設定、日付時刻の設定などができるシステム電話機を自由に設定することができます。ただし、単独電話機はシステム電話機として設定できません。

ワンキーダイヤル変換

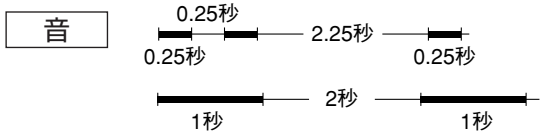
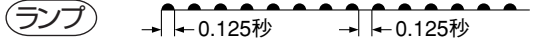
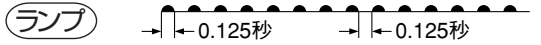
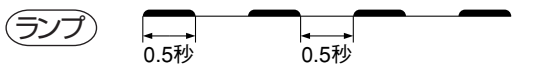
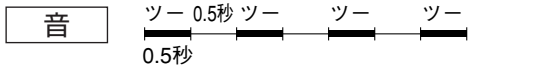
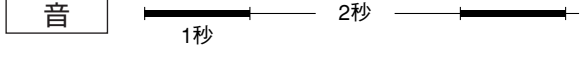
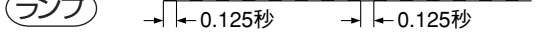
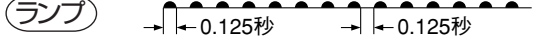
デジタル多機能電話機から 1 〜 8 のうち1つのボタンを押すだけで、内線を呼び出したり、外線を捕捉することができます。

電話（アナログ）回線でお使いの場合の設定事項

自動ポーズ

ビル電話、構内交換機の端末に接続した場合、ビル電話・構内交換機の外線発信番号、または特番のあとにポーズを入れることができます。1ケタ目、2ケタ目、3ケタ目、4ケタ目のあとに自動的にポーズを入れることができます。

音とランプ表示

デジタル多機能電話機の場合

外線

★印は 取付け時設定 が必要です。

項目		時間幅	備考
電話がかかってきたとき	通常	音 着信周期/設定周期 ランプ 0.125秒 0.125秒 ランプ 0.125秒 0.125秒	設定着信音★ (➡193ページ) 着信ランプ 外線ランプ 赤色
	ダイヤルイン着信 i・ナンバー着信 サブアドレス着信 転送着信	音 着信周期/設定周期 ランプ 0.125秒 0.125秒 ランプ 0.125秒 0.125秒	設定着信音★ (➡193ページ) 着信ランプ 外線ランプ 緑色
通話中	自分が使っているとき	ランプ 1.62秒 0.125秒 0.125秒	外線ランプ 緑色
	他人が使っているとき	ランプ	外線ランプ 赤色
保留	保留した電話機	ランプ 0.5秒 0.5秒	外線ランプ 緑色
	他の電話機	ランプ 0.5秒 0.5秒	外線ランプ 赤色
	保留再呼出 (保留した電話機)	音 0.5秒 2.5秒 ランプ 0.5秒 0.5秒 ランプ 0.125秒 0.125秒	着信ランプ 外線ランプ 緑色
話中時着信		音 2秒 1秒 ランプ 0.125秒 0.125秒	着信ランプ
長時間通話警報		音 0.25秒 ランプ 0.25秒 1.25秒 0.25秒 0.25秒	1 kHz 着信ランプ
外線着信警報		音 メロディ	・瞳がほほえむから★ ・HERE COMES THE SUN★ ・ハイ・ホー★ ・未来予想図Ⅱ★ ・I NEED TO BE IN LOVE★ ・パッヘルベルのカノン★
保留中着信ランプ表示		ランプ 0.5秒 0.5秒	着信ランプ★
網保留終話 通話中転送失敗		音 0.25秒	
通話中着信通知		音 4.25秒 0.25秒	

デジタル多機能電話機の場合

内線・共通

★印は 取付け時設定 が必要です。

項目		時間幅		備考
内線通話	信号音呼出	音	0.25秒 2.25秒 0.25秒 0.25秒	トレモロ音★
			1秒 2秒 1秒	I-TONE(500 Hz)★
		ランプ	0.125秒 0.125秒	着信ランプ
		ランプ	0.125秒 0.125秒	内線ランプ
	音声呼出	音	プー 0.5秒 ※着信ランプは信号音呼出と同じ。内線ランプは点灯。	I-TONE(500 Hz)
内線通話中		ランプ		内線ランプ
内線保留		ランプ	0.5秒 0.5秒	内線ランプ
内線発信音(DT)		音	プー	連続音 (432 Hzまたは 496 Hzから選択)★
内線呼出確認音(RBT)		音	1秒 2秒	トレモロ音
内線話中音(BT)		音	ツー 0.5秒 ツー ツー ツー 0.5秒	432 Hzまたは 496 Hzから選択★
内線話中時着信		音	1秒 2秒	
		ランプ	0.125秒 0.125秒	着信ランプ
		ランプ	0.125秒 0.125秒	内線ランプ
トークバック	マイク設定ON	ランプ		トークバックランプ
	マイク作動中	ランプ	0.25秒 0.25秒	トークバックランプ
モニタランプ	プリセット中	ランプ	0.125秒 0.125秒 1.75秒	モニターランプ 赤色
	プリセット以外	ランプ		モニターランプ 赤色
不在転送・不在設定		ランプ		不在ランプ
着信ランプオフフック点灯		ランプ		(オフフックおよび モニター受話中)★

デジタル多機能電話機の場合

FF キー（局線ボタン以外）

項目		時間幅	備考
留守録	留守録設定あり	ランプ	FFキー 赤色
	用件満杯	ランプ 0.5秒 0.5秒	FFキー 赤色
留守録再生	用件あり	ランプ	FFキー 赤色
	用件満杯	ランプ 0.5秒 0.5秒	FFキー 赤色
	留守録再生中	ランプ 0.5秒 0.5秒	FFキー 緑色
通話録音	通話録音使用中	ランプ	FFキー 赤色
	通話録音中	ランプ 0.5秒 0.5秒	FFキー 緑色
通話録音再生	録音内容あり	ランプ	FFキー 赤色
	用件満杯	ランプ 0.5秒 0.5秒	FFキー 赤色
	録音再生中	ランプ 0.5秒 0.5秒	FFキー 緑色

設定着信音の種類

着信音は4種類の周波数があり、下記のパターンと組み合わせることができます。（合計36種類）

着信音パターン 低 ←→ 高				時間幅	備考
0				音 0.5秒 2.5秒	・パターン0は保留再呼出のみ設定可能 ・4種類の周波数を左記の9種類のパターンで鳴らすことができます。
1	9	17	25	音 1秒 2秒	
2	10	18	26	音 0.25秒 2.25秒	
3	11	19	27	音 0.25秒 1秒 1秒	
4	12	20	28	音 0.25秒 1.75秒	
5	13	21	29	音 0.25秒	
6	14	22	30	音 2秒 1秒	
7	15	23	31	音 1秒 0.25秒	
8	16	24	32	音 連続	

オプション使用時

項　　目	時　間　幅	備　　考
ドアホン着信	音　ピンポン(2回)またはピンポン(3回) ランプ　0.5秒　0.5秒	着信ランプ
ドアホン話中着信	音　0.25秒 0.25秒 0.25秒　1.75秒 ランプ　0.5秒　0.5秒	着信ランプ
センサ着信	音　ピーポー、ピーポー ランプ　0.25秒　0.25秒	・条件によってはセンサ話中着信と同じ音になることがあります。 着信ランプ
センサ話中着信	音　0.25秒 0.25秒 0.25秒 ランプ　0.25秒　0.25秒	着信ランプ

単独電話機の場合

項　　目	時　間　幅	備　　考
電話がかかってきたとき 保留再呼出(外線)	音　1秒　2秒	
内線・ドアホン着信 保留再呼出(内線)	音　0.25秒　0.25秒　2.25秒　0.25秒	

停電のときは

停電時は

オプションの内蔵バッテリーにより、約3分間は動作可能です。
オプションの停電切替アダプター、または外付けバッテリーをお使いいただきますと、停電時にも電話がお使いになれます。

別売の停電切替アダプターをお使いの場合は

停電時でも、停電用の電話機に切り換えてお使いいただけます。

停電時対応する外線の回線種別	停電切替アダプター	停電用の電話機
ISDN回線	ISDN用停電用の切替アダプター（WX-IPFXADP）	停電用電話機※、または単独電話機
電話（アナログ）回線	4回線以上でお使いの場合は電話（アナログ）回線用の停電切替アダプター（WX-PFXADP）が必要です。	停電用電話機※

停電用の電話機の使いかた　：電話をかけるときは、受話器を取ってからダイヤルしてください。
●ISDN回線でお使いの場合は、電話番号のあとに(#)をダイヤルしてください。
　電話を受けるときは、受話器を取るとお話しできます。
※「接続できる電話機の種類」の表（➡12ページ）をご覧ください。

お知らせ

● 停電用の電話機として単独電話機をお使いになる場合は、**TELEMORE-IP**の外線の回線種別と電話機の回線種別が合わないと通話できないことがあります。詳しくは販売店にご相談ください。

オプションの外付けバッテリーをお使いの場合は

約2時間の動作が可能です。

製品名（品番）	備　考
● 外付けバッテリー（蓄電池）（PE12V-7.2F1） ● 外付けバッテリーケース（WX-BATTCASE(Li)）	・バッテリーバックアップにより、**約2時間**使用できます。（条件：全ての電話機ですべての機能を使用している場合） ・外付けバッテリーを使用する場合は、主装置の内蔵バッテリーは不要です。

停電時の動作

停　電　時	停電用の電話機以外	停電用の電話（停電用電話機・単独電話機）
バッテリーバックアップ中 ● 内蔵バッテリーで約3分間 ● 外付けバッテリーをお使いの場合は約2時間	・すべての電話機で通常通りの使用が可能です。 ・通話中などの操作は継続します。	
上記バッテリーバックアップ動作が終了後	・使用できません。 ・バッテリーバックアップ中での通話は切れます。	・外線をかける、受けるのみができます。 ・バッテリーバックアップ中での通話は切れます。 ・停電時に対応した外線で、発信／着信応答ができます。 ・通話中に停電が復旧すると、通話が切れます。（電話（アナログ）回線のみ）

お知らせ

● 蓄電池（内蔵バッテリー、外付けバッテリー）は約3年に1度の交換が必要です。（有償）
　交換につきましては、販売店にご相談ください。

困ったときは

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。
それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

こ ん な と き は	ここを確認してください	操 作	参照ページ
電話をかけられない 電話を受けられない	各機器間の接続ケーブルが外れていませんか？	モジュラージャックを正しく接続してください。	15
	ドント・ディスターブ(DND)や、不在転送、フレックスホン(着信転送)、局線間転送(着信転送−自動転送)等の自動転送を設定していませんか？	設定を解除すれば、電話を受けられます。	75 74 140 147
表示が出ない	表示のコントラストの調節が適当ですか？	通話していない状態で 確認/会議 と 音量/検索 で調節してください。(カナ表示付電話機、大型表示付電話機のみ可能)	23
着信音が鳴らない	電話機の着信音量が最小になっていませんか？	音量調節をしてください。	22
転送できない	転送先がハンズフリー応答の設定をしていませんか？	転送先がハンズフリー応答中は転送できません。転送先の人に受話器を取ってもらってから 文字 設定/転送 を押してください。	63
FFキーに設定できない	外線用に設定されたキーに設定しようとしていませんか？	左記のキーは、取付け時設定で固定となります。変更したい場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	81
再ダイヤルボタンを押しても再ダイヤルできない	外線がすべてお話し中になっていませんか？	外線が空きしだい、再度操作し直してください。	—
保留できない	ハンズフリー応答をしていませんか？	オンフックして、ハンズフリー応答を解除してください。	63
一斉・グループ呼出ができない	保留中、または通話中ですか？	保留または通話を終えてから操作し直してください。	73
	グループ呼出番号を設定していますか？	取付け時の設定です。確認してください。	73

こ　ん　な　と　き　は	ここを確認してください	操　　　　作	参照ページ
共通短縮ダイヤル等を登録できない	共通短縮ダイヤル、内線電話帳等は、システム電話機で操作していますか？	システム電話機以外では登録することができません。	100
名前が登録できない	登録可能な文字数を超えていませんか？	それぞれの登録可能な文字数を超えると入力できません。 新規に名前を登録するときや、名前を変更するときは、フック または クリア再ダイヤル を押して、文字を消去してから入力してください。	100 〜 120
電話番号が登録できない	登録可能なケタ数を超えていませんか？	それぞれの登録可能なケタ数以内で登録してください。 フック を押して番号を消去してから入力してください。	100 〜 120
名前を入力中に入力モードを変更できない	登録可能な名前の文字数を超えていませんか？	フック または クリア再ダイヤル を押して、表示されている文字を消去してから入力モードを変更してください。	100 101
共通短縮ダイヤルに名前を登録しているのに電話がかかってきても名前表示されない	PBXアクセスダイヤルの後に電話番号が市外局番なしで登録されていませんか？	PBXアクセスダイヤルの後に市外局番から電話番号を登録してください。	19 20
共通短縮ダイヤルや内線電話帳に名前を登録したのに、電話帳で名前を検索できない	名前の前にスペースが入っていませんか？	スペースを入れないで登録してください。	101
システムが使えない	主装置の電源スイッチのランプが点灯していますか？	ランプが消えている場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。	—

仕様

仕様

電源			AC 100 V±10 V　50/60 Hz
外線収容数			INS64　：最大4チャネル（8Bチャネル/DSU内蔵） アナログ：最大8チャネル 合計　　：最大8チャネル （INS64　1本はアナログ2本に相当）
電話機数 <（　）内は単独電話機数>			24台（3台）合計で最大27台
通話路方式			ノンブロッキング時分割交換方式
配線方式			2線スター（無極性）
主装置		寸　法	（幅）約 530 mm ×（奥行）約 142 mm ×（高さ）約 340 mm
		質　量	約 5.8 kg（初実装時）、約 7.8 kg（フル実装時）
デジタル多機能電話機	漢字表示	寸　法	（幅）約 186 mm ×（奥行）約 245 mm ×（高さ）約 100 mm
		質　量	約 870 g
	カナ表示 数字表示	寸　法	（幅）約 187 mm ×（奥行）約 228 mm ×（高さ）約 100 mm
		質　量	約 820 g
	大形表示	寸　法	（幅）約 187 mm ×（奥行）約 228 mm ×（高さ）約 100 mm
		質　量	約 840 g
消費電力			約 140 W
環境条件			周囲温度：0℃〜40℃　相対湿度：80 %以下（ただし結露しないこと）

アフターサービスについて

● この商品には保証書があります。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

なお、以下の記載内容について特にご確認ください。

- 設置されている電話機の台数が記載されていること
- お買い求めの日が記載されていること
- お客様のご住所とお名前が記載されていること
- 販売店の住所と名前が記載されていること

● 保証期間はお買い求めの日から 1 年間です。

なお保証期間中でも有料になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

● アフターサービスはお買い求めの販売店、もしくは工事店が行います。

万一の故障の修理、移動、増設、移設はすべてお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

● 修理はお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

修理はお買い求めの販売店、もしくは工事店にまずご相談ください。

販売店へのご相談ができない場合には、岩崎通信機お客様相談センタへご相談ください。

＜お客様ご相談センタ：0120-186102＞

修理により商品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料：故障した製品を正常に修復するための作業にかかる費用です。
部品代：修理に使用した部品代金です。
出張料：製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。

ただし、商品の機能が維持できるかお電話で判断できない場合にはご希望により出張し、判断させていただきます。その結果、修理しても商品の機能が維持できないとした場合でも有料となる場合がありますのでご了承ください。

- **補修用部品の保有期間について**

  本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後、7 年を目安に保有しています。この期間中は原則として修理をお受けいたします。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い求めの販売店、もしくは工事店にお問い合わせください。

- **電子情報の消去について**

  お客様または第三者等が本商品のお取り扱いを誤ったとき、本商品のメモリなどが静電気ノイズの影響を受けたとき、また故障修理などのときに、まれに記憶内容が変化および消失することがあります。重要な内容は必ず控えを取っておいてください。記憶内容が変化および消失したことによる損害については、弊社に重大な過失、故意がない限り、弊社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

さくいん

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

英数字

ご不明の点がございましたら、岩崎通信機お客様ご相談センタへお気軽にご相談ください。

<お客様ご相談センタ：0120-186102>

創造と豊かな対話のために

IWATSU 岩崎通信機株式会社

通信営業本部　〒168-8501　東京都杉並区久我山1-7-41

お客様メモ

お買い求めになった年月日、店名等をご記入ください。
修理を依頼される時やお問い合わせのときに大変便利です。

設置年月日	年　　　月　　　日
設置店名 住所 電話番号	

TML 128931